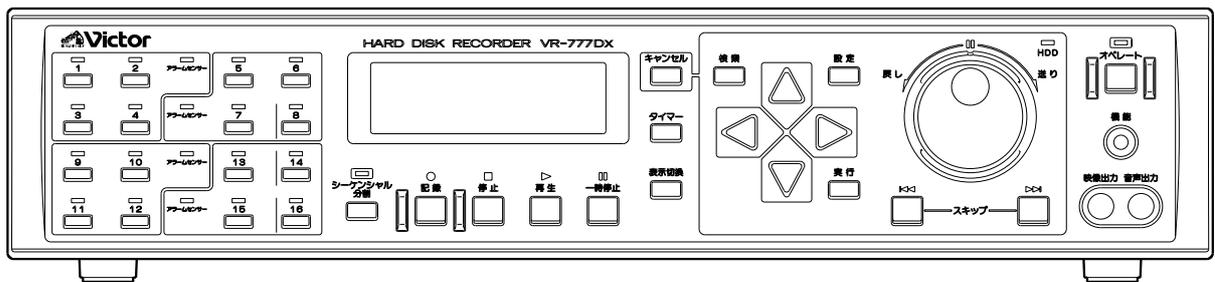


ハードディスクレコーダー

型名 **VR-777DX**

取扱説明書



お買い上げありがとうございます。
 ご使用前にこの「取扱説明書」と「インストールマニュアル」および別冊の「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
 特に、「安全上のご注意」は必ずお読みいただき安全にお使いください。
 お読みになったあとは、保証書と一緒に大切に保管し、必要なときお読みください。
 製造番号は品質管理上重要なものです。お買い上げの際は本機の上面後部に製造番号が正しく記されているか、またその製造番号と保証書に記載されている製造番号が一致しているかお確かめください。

私たちは環境・資源をたいせつにしています。
 再生紙(100%)を使用しています。

目次

はじめに

目次	2
おもな特長	3
正しくお使いいただくためのご注意	4
各部の名称とはたらき	5

設置と準備

システム接続例(16台のカメラをつなぐ)	12
システム接続例(リモコンをつなぐ)	13
ラックに取り付ける	14
電源を入れる/切る	14
日付・時刻を設定する	15
オンスクリーン表示について	17

メニューについて

メニューの流れ	18
メニューの設定を変える	20

ふだんの使い方

カメラのライブ映像を見る	
・モニターを [EE OUT] 端子につなぐ場合	30
・モニターを [VIDEO OUT] 端子につなぐ場合	31
・1画面自動切り換え表示の切り換え時間を設定するには	32
・4分割画面自動切り換え表示の切り換え時間を設定するには	33
カメラ映像を記録する	
・通常記録をする	34
・繰り返し記録をする(ループ記録)	35
記録した映像を見る	
・記録した映像を再生する	36
・記録した映像を分割画面で見る	37
・見たい日時の映像を探す(日時検索)	38
・見たいアラーム、もしくはセンサーの映像を探す(アラーム/センサー検索)	39
・再生スピードを変える(ジョグ・シャトル再生)	40
・記録映像をスキップして見る	41
・静止画を拡大して見る(再生静止画ズーム)	42
プログラムタイマーで記録予約する	
・週間タイマー(毎週設定)	44
・週間タイマー(毎日設定)	46
・週間タイマー(曜日・時間設定)	48
・日付け指定タイマー	50
・記録予約を取り消す	52
・記録予約を変更する	52

便利な機能

ハードディスクのメンテナンス	53
・ハードディスクのデータを検査する(オートスキャンディスク)	53
・ハードディスクのデータを検査する(マニュアルスキャンディスク)	54
データベースの再構築	55
ハードディスクを初期化する(フォーマット)	56
ハードディスクをミラーリング設定する	57
停電復帰記録のリストを見る	58
2台以上のVR-777を使って連続で記録を行う	59
外部からの制御信号で記録を始める	59
ハードディスクの増設	60
ハードディスク異常時システム復旧機能	61
DVD-RAMにコピーする	62
外部からのアラーム/センサー信号で記録を始める	64
モーションディテクト機能を使う	66
モーションディテクトのチェックモードおよび設定のガイダンス	68

停電復帰後に記録をつづける	69
ハードディスク修復機能	69
カメラチャンネル画面ごとにタイトルをつける	70

パソコンに接続して使う

Webブラウザとは(☞ 72 ページ)	
こんなことができます	72
Webブラウザを正しくお使いいただくためのご注意	73
準備の流れ	74
Webブラウザ接続と準備(☞ 75 ページ)	
LANケーブルでつなぐ	75
VR-777のネットワーク設定をする	76
パソコンのネットワーク設定をする	
・Windows XPの場合	77
・Windows 2000の場合	78
ネットワーク接続(ログイン)する	80
Webブラウザふだんの使い方(☞ 81 ページ)	
カメラチャンネル画面にタイトルをつける	81
プログラムタイマーで記録予約する	
・設定画面について	82
・毎週決められた時間に記録を始める	83
・毎日決められた時間に記録を始める	84
・決められた曜日、決められた時間に記録を始める	85
・日付けを指定して記録を始める	86
VR-777をプログラムタイマースタンバイにする	87
タイマー解除後の記録動作を確認する	88
プログラムタイマーの記録予約を変更/取り消しをする	89
見たい日時の映像を探す(イベント検索)	
・アラーム/センサー記録を探す	90
・日時を指定して探す	91
・期間を指定して探す	92
Webブラウザ便利な機能(☞ 93 ページ)	
VR-777へのアクセスを制限する	93
VR-777の記録映像ファイルへのアクセスを制限する	94
パソコンからVR-777のネットワーク設定を変える	95
オープンソースソフトウェア情報の表示	95
アラーム/センサー入力時のメール発報設定をする	96
複数のVR-777の時刻をあわせる(NTPサーバ登録)	98
検索したイベントの映像見る(簡易ビューア)	100
VR-777の本体設定値をファイルに保存する	102
VR-777の本体設定値をアップロードする	104

解説

トラブル時の対応	
・エラーコードまたはオンスクリーン表示の出るトラブル	106
・その他のトラブル	107
・Webブラウザ使用時のトラブル	108
Webブラウザ用語解説	111
記録のしくみ	
・通常記録について	112
・ループ記録について	113
・プリセンサー記録について	114
スキップジャンプについて	115
記録時間について	116
RS-232C接続について	116

その他

保証とアフターサービスについて	117
仕様	118

はじめに

このたびはハードディスクレコーダーVR-777DXを お買い上げいただきありがとうございます。

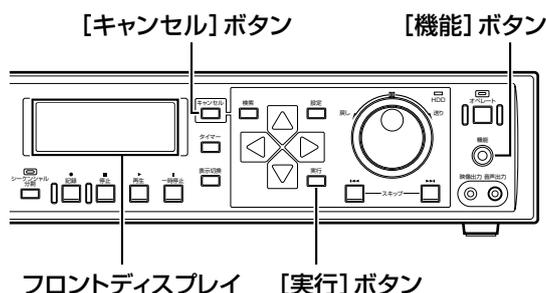
本書では、以降のページで機種名の表記を“VR-777”としています。

おもな特長

- ✓ **320 GB 大容量ハードディスク内蔵**
 - ✓ **16チャンネル同時480イメージ記録**
480イメージ/sの記録が可能です。
 - ✓ **記録同時再生モード**
記録中であっても再生やジョグ・シャトル再生、スキップ再生が可能です。
 - ✓ **4分割/16分割表示モニター**
16チャンネルの入力映像を4分割/16分割画面で30コマ/秒モニター表示が可能です。
 - ✓ **ダイレクト画面サーチ**
呼び出したい日時・アラーム位置を、すばやく検索できます。
 - ✓ **停電復帰記録**
記録中に停電が発生した場合、停電復帰後に停電前の記録モードで自動的に記録を開始します。
 - ✓ **タイマー記録機能**
毎日、毎週のタイマー記録を8プログラムまで設定できます。
 - ✓ **アラーム/センサー記録機能**
記録中にアラーム信号が入ると、メニューで設定したアラーム記録モードへ自動で切り換わります。
 - ✓ **16チャンネル非同期カメラ入力対応**
非同期の16台のカメラ映像を同時に、記録・再生が可能です。
 - ✓ **RS-232C コントロール可能**
システムコントロールユニット SW-2200(別売)、リモートコントロールユニット RM-P2200(別売)を接続することで、VR-777の動作を外部から制御するリモートコントロールシステムを実現します。
RM-P2200からは、再生、停止、一時停止、サーチ、スキップ、検索、分割画面の表示などを行うことができます。詳細はVR-777に添付のCD-ROM(VR-777 PLAYER)の中の「RMP2200CONTROL.pdf」をご覧ください。
- 制御がおこなえるのは、シリアルナンバープレートの機種名がSW-2200 (A) および、RM-P2200 (A) の商品のみです。(A) が付いていない商品につきましては、有料にてソフトのバージョンアップをおこないますので、お買い上げの販売店にお問い合わせください。
- ✓ **ネットワーク対応**
LAN接続したパソコンで、記録画像を見ることができます。またパソコンでのタイトル設定、タイマープログラム設定も可能です。
- ✓ **モーションディテクト機能**
設定したエリア内映像の“動き”を自動検出し、アラーム記録を開始させることができます。
- ✓ **電子透かし機能**
データを映像に埋め込むことで、改ざん、検出に対するデータコピー情報の完全性が確保できます。
- ✓ **アラームメール発報機能**
アラーム(もしくはセンサー)入力時に、任意のパソコンへメールを発報することができます。

オペレーションロックのしかた

VR-777は、誤って電源を切ってしまうたり、いたずらにより記録されてしまうなどを、未然に防止するシークレットオペレーションロックを採用しています。オペレーションロックによって禁止する操作は“すべて”または“記録停止”のどちらかをメニューで選択できます。(☞23ページ「オペロック設定」)



このページは防犯上、切り取って保管されることをおすすめします。

■オペレーションロックをする

[機能]と[実行]を同時に押す

- その時の動作のままロックされ、キー操作ができなくなります。(RM-P2200、Webブラウザからのコントロールはロックされません)
- フロントディスプレイに“LOCK”が表示されます。

■オペレーションロックを解除する

[機能]と[キャンセル]を同時に押す

- オペレーションロックが解除されます。

はじめに (つづき)

正しくお使いいただくためのご注意

■ 付属の電源コードは、本機以外の機器で使用しないでください。

誤って使用すると、発熱し、火災、やけどの原因となることがあります。

- 次のような場所では保管または使用しないでください。誤動作や故障原因になります。
 - ・ 許容動作温度(5℃～40℃)範囲外の極端に暑いところや寒いところ
 - ・ 許容動作湿度(30%～80%)範囲外の湿気の多いところ
 - ・ 変圧器やモーターなど強い磁気を発生するところ
 - ・ トランシーバーや携帯電話など電波を発生する機器の近く
 - ・ ほこりや砂の多いところ
 - ・ 振動の激しいところ
 - ・ つゆつき(結露)の発生しやすいところ
 - ・ 放射線やX線、および腐食性ガスの発生するところ
- 機器内部の温度上昇を防ぐため、機器を重ねて使用しないでください。
- 本機を立てて使用しないでください。
- ショックを与えないようていねいにお取り扱いください。
- 本機の上にモニターテレビなどの重いものをのせないでください。動作不良をおこす恐れがあります。
- 本機はやわらかい布でふいてください。シンナーやベンジンでふきますと表面が溶けたり、くもったりします。よごれがひどいときは、中性洗剤を水でうすめてふき、あとでからぶきしてください。
- 輸送するときは、ショックを与えないようにしてください。特にオペレートON中は移動しないでください。オペレートOFFまたは、電源コードを抜いた状態で移動してください。

- オペレートOFFした後、15秒間は、本機を動かしたり、衝撃を与えたりしないでください。ハードディスク故障の原因になることがあります。
- 本機はオープンソースのソフトウェアを一部使用しています。これらは本機のご使用には影響はありません。ソフトウェアライセンスに関する情報の表示については本取扱説明書の95ページをご参照ください。
- この製品はクラスA情報技術装置です。住宅環境で使用する場合は、電波障害を発生させる恐れがあります。その際、この製品の利用者は、適切な手段を講ずることが必要とされることがあります。
- ハードディスクのフォーマット、切断処理、ミラーリング設定、ミラーリングの解除などの処理をしているときに停電が発生すると、UPSを接続している場合でも、その後の運用に支障が生じることがあります。
- ハードディスクは消耗品です。10,000時間のご使用を目安にメンテナンスしてください。(25℃環境での使用時)メンテナンスの計画、費用などのご相談は、ご購入先の販売店、または別紙のサービス窓口案内をご覧ください。最寄りのビクターサービスセンターをお願いします。
- 本機に記録されたデータが多くなると、検索に時間がかかる場合がありますが、故障ではありません。
- 万一本機およびハードディスクドライブ等の不具合により、正常に記録できなかったり、再生できなかった場合、その内容の補償についてはご容赦ください。
- テレビ放送や録画(録音)物などから、記録したものは、個人として楽しむほかは、著作権上権利者に無断で使用できません。
- ハードディスクの交換、ファームソフトのバージョンアップ等の場合は、記録された画像が消去されますのでご注意ください。
- 分割画面のとき、映像の境目(黒く見える部分)の幅が、入力信号によって異なって見えます。これは本機の特性であり、故障ではありません。
- 節電のため長時間使用しないときは電源を切ってください。

この取扱説明書の見かた

■ 本文中の記号の見かた

ご注意 操作上の注意が書かれています。

メモ 機能や使用上の制限など、参考になる内容が書かれています。

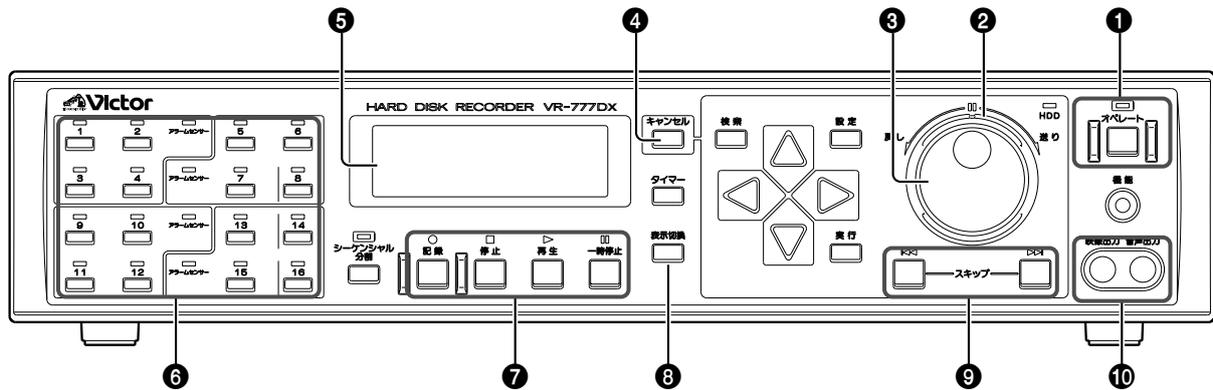
 参考ページや参照項目を示しています。

■ 操作手順中のボタン名称については [] で囲っています。

例 メニューボタン → [メニュー]

※ 本書に記載されている他社製品名は、一般に各社の商標、または登録商標です。本書では™、®、©などのマークは省略してあります。

各部の名称とはたらき（前面）



① [オペレート] オペレートボタン・オペレート表示灯

電源を切る場合には、約2秒長押しし、オペレートOFFの状態にします。

☞14ページ「電源を入れる／切る」

② シャトルダイヤル

再生時や、静止画再生時に回すと、再生スピードを可変できます。

☞40ページ「再生スピードを変える」

③ ジョグダイヤル

再生時や、静止画再生時に回すと、コマ送り再生ができます。メニュー画面表示時には、設定値を選ぶのはたらきをします。

☞40ページ「再生スピードを変える」

④ [キャンセル] キャンセルボタン

・プログラムタイマー設定、記録予約を取り消すときに使います。

☞52ページ「記録予約を取り消す」

・アラームやワーニングが発生したときに、アラームやワーニング表示の消灯や、ブザーを停止するときに押します。

⑤ フロントディスプレイ

デジタルビデオレコーダーの動作状態や設定内容などを表示します。

☞10ページ「フロントディスプレイ」

⑥ カメラ選択ボタン・表示灯

前面の【映像出力】端子⑩や背面の【VIDEO OUT】端子⑳(☞7ページ)から出力するカメラチャンネルを選択します。選択したチャンネルは表示灯が緑色に点灯します。アラーム入力があったチャンネルの表示灯は赤色に点灯します。アラーム入力があったチャンネルを選択した場合はオレンジ色に点灯します。カメラが接続されていないチャンネルの表示灯は緑色に点滅します。アラーム入力があり、カメラが接続されていない場合はオレンジ色に点滅します。

また、記録映像の再生時は、4分割画面表示と1画面表示の切り換えを行います。

☞21ページ「本体表示設定画面」→「入力信号異常表示」

☞37ページ「記録した映像を分割画面で見る」

⑦ 操作ボタン

・[記録] 記録ボタン

停止中や再生中にこのボタンを押すと記録が始まります。記録モードは、メニュー画面で設定します。

☞34ページ「カメラ映像を記録する」

・[停止] 停止ボタン

動作を停止するときに押します。また、記録同時再生モードのときに押し、再生を停止し、通常記録モードへ切り換わります。

・[再生] 再生ボタン

このボタンを押すと、再生を開始します。

・停止状態で押した場合：前回の再生を終了した地点から、再生を開始します。

・記録中に押した場合：記録をしながら再生します。(記録同時再生)

☞36ページ「記録した映像を見る」

メモ

・オペレートON直後の再生は、最新記録の直前からの再生か、記録が終了した点での一時停止になります。

・[一時停止] 一時停止ボタン

再生時にこのボタンを押すと静止画再生状態になります。

⑧ [表示切換] フロントディスプレイパネル表示切り換えボタン

ボタンを押すごとに時計、日付け、ハードディスク残容量、記録設定内容(記録画質、記録コマ数、音声)と、表示を切り換えます。

☞11ページ「フロントディスプレイ」

⑨ [スキップ] スキップサーチボタン

停止中にボタンを押すとハードディスク先頭の記録開始点が記録終了点にジャンプします。

再生中にこのボタンを押すと、スキップジャンプを開始します。スキップジャンプには次の種類があります。

・タイムジャンプ：ボタンを押すと、指定時間分ジャンプします。

・イベントジャンプ：ボタンを押すとイベントの開始地点へジャンプします。

・アラームジャンプ：ボタンを押すとアラーム記録の開始地点へジャンプします。

☞115ページ「スキップジャンプについて」

⑩ [映像出力] [音声出力] 映像出力／音声出力端子(RCA)

再生時に、記録されている映像及び音声を出力します。

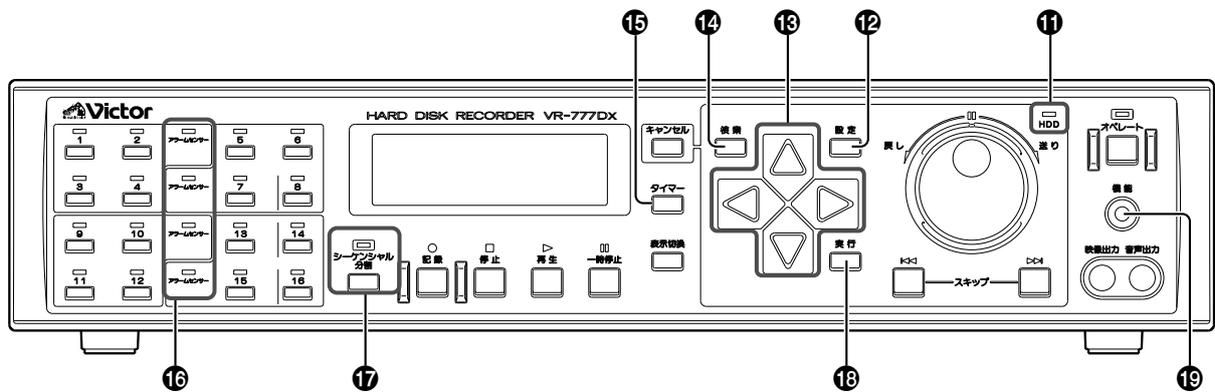
記録時、停止時は入力される映像及び音声を出力します。

メモ

・再生時の音声出力は、「入力記録設定」の[記録コマ数](☞22ページ)を“5秒に1コマ”“10秒に1コマ”に設定して記録された映像では、音声出力されません。

はじめに (つづき)

各部の名称とはたらき (前面)



11 [HDD] 表示灯

内蔵ハードディスクが動作中に点灯します。

12 [設定] 設定ボタン

メニュー画面を表示するときや、メニュー画面から通常画面に戻るときに、このボタンを押します。

☞20 ページ「メニューの設定を変える」

13 カーソル移動ボタン

メニュー画面表示時、検索画面表示時に、カーソルを移動させるときに、このボタンを押します。通常動作時は、日付け、タイトルなどのオンスクリーン表示位置を変更します。

☞17 ページ「オンスクリーン表示について」

14 [検索] 検索メニュー表示ボタン

検索メニューを表示するためのボタンです。アラーム検索や、日時検索をするときに押します。

もう1度押すと、通常画面に戻ります。

☞38 ページ「見たい日時の映像を探す」

15 [タイマー] タイマー記録スタンバイボタン

プログラムタイマー設定後、スタンバイ状態にするときに押します。もう一度押すと、スタンバイ状態を解除します。プログラムタイマーが設定されていない場合に押すと、ブザー音が鳴り、フロントディスプレイの「TIMER」表示が点滅します。

☞44 ページ「プログラムタイマーで記録予約する」

16 [アラームセンサー] アラームセンサー表示灯

アラーム記録スタンバイ中または、センサー記録スタンバイ中のブロック(4入力ごと)が緑色に点灯します。

17 [シーケンシャル分割] シーケンシャル/分割画面表示切り換えボタン・表示灯

このボタンを押すたびに次のように表示が変わります。

「16分割画面」→「1画面自動切り換え」→「4分割画面自動切り換え」

4分割画面、16分割画面が表示されているとき、表示灯はオレンジ色に点灯し、1画面自動切り換え表示、4画面自動切り換え表示のときは緑色に点灯します。再生中は機能しません。

☞31 ページ「モニターを[VIDEO OUT]端子につなぐ場合」

18 [実行] 実行ボタン

アラーム検索や日時検索、およびハードディスクのスキャンディスクやフォーマットを実行するときなどに押します。

☞38 ページ「見たい日時の映像を探す」

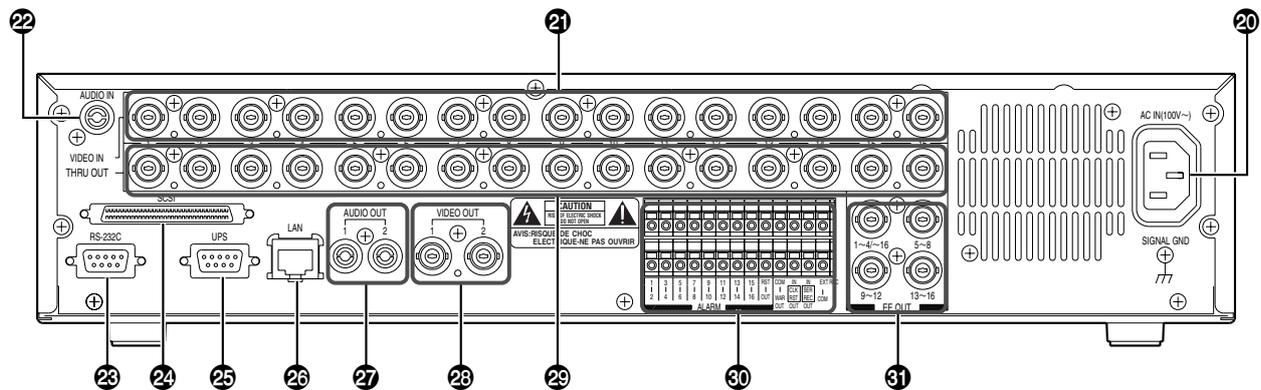
☞56 ページ「ハードディスクを初期化する(フォーマット)」

19 [機能] 機能ボタン

このボタンを押しながら[停止]を押すことで、時計の“秒”を合わせることができます。ただし、記録中はリセットできません。

- ・秒の値が29秒以下のとき、分の値はそのまま秒の値が00秒にリセットされます。
- ・秒の値が30秒以上のとき、分の値が繰り上がり秒の値が00秒にリセットされます。

各部の名称とはたらき（背面）



20 [AC IN(100 V ~)] 電源入力端子

付属の電源コードでAC 100 Vのコンセントに接続します。接続すると、自動的に本体の電源が入ります。
 ☞14 ページ「電源を入れる／切る」

21 [VIDEO IN] カメラ映像信号入力端子(BNC)

ビデオカメラ(別売)の映像出力端子と接続します。

22 [AUDIO IN] 音声入力端子(RCA)

音声記録したい機器のオーディオ出力端子と接続します。

23 [RS-232C] リモート端子(D-sub 9 ピン)

システムコントロールユニット SW-2200(別売)などを接続することで、VR-777を外部からコントロールできます。

24 [SCSI] SCSI 端子(68 ピン Ultra Wide SCSI)

増設用ハードディスクドライブ(別売)、およびDVD-RAMドライブ(別売)を接続します。

25 [UPS] 無停電電源装置制御端子(D-sub 9 ピン)

無停電電源装置の通信制御端子と接続します。詳しくはお買い上げの販売店にお問い合わせください。

26 [LAN] LAN 接続端子(100 Base-T)

LAN ケーブルでイントラネットなどのネットワークに接続します。
 ☞75 ページ「LAN ケーブルでつなぐ」

27 [AUDIO OUT 1, 2] 音声出力端子 1, 2(RCA)

停止時、記録時は、入力される音声が出力されます。再生時は、記録された音声が出力されます。ただし、次のようなときは音声が出力されません。

- ・メニュースイッチ [記録コマ数] を"5秒に1コマ"、"10秒に1コマ"で記録したときの再生。
- ・静止画再生時や、×1以外のサーチ時、コマ送り再生のとき。
- ・メニュー[入力記録設定]画面の [音声記録] を"切"で記録したときの再生。
- ・再生時にメニューまたは検索メニューを表示しているとき。

28 [VIDEO OUT 1, 2]映像出力端子 1, 2(BNC)

前面の [カメラ選択] 6 で選択した画像が出力されます。

29 [THRU OUT] カメラ映像出力端子(BNC)

各 [VIDEO IN] 端子 21 に対応したカメラ映像信号を出力します。モニターテレビなどにつなぎます。(自動終端)

30 信号入出力端子

外部アラーム／センサーの信号や、外部機器からの信号を受けVR-777を動作させたり、また信号を出力することにより外部機器を動作させたりします。

☞8 ページ「各部の名称とはたらき(信号入出力端子)」

31 [EE OUT](BNC)

[VIDEO IN] 端子 21 につないだカメラのライブ映像を、4分割画面として出力します。

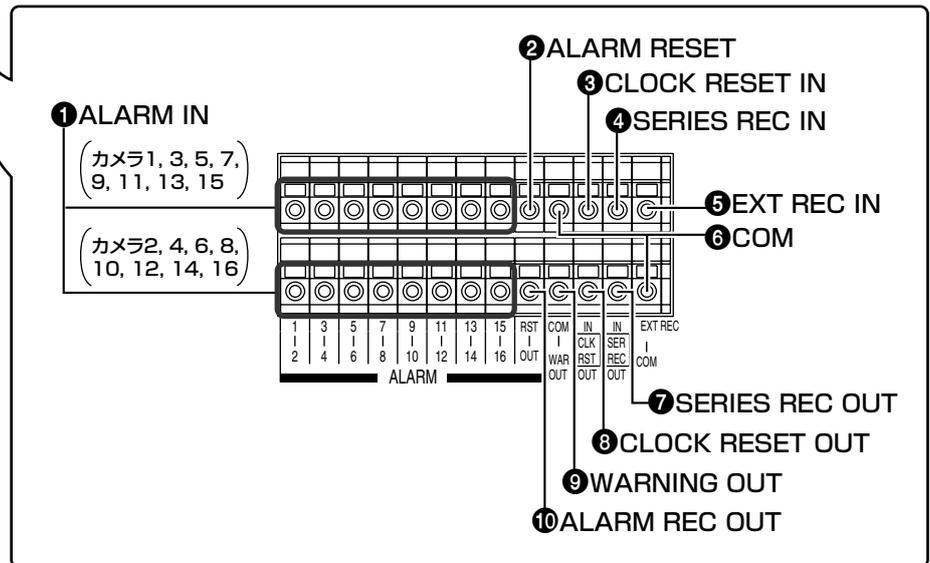
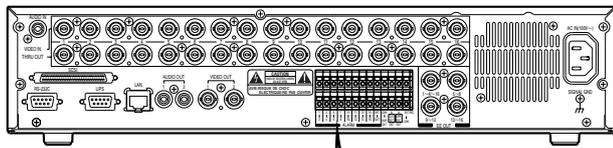
[1 ~ 4/ ~ 16] 端子は16分割画面の映像を出力することもできます。

☞30 ページ「モニターを[EE OUT]端子につなぐ場合」

はじめに (つづき)

各部の名称とはたらき (信号入出力端子)

(背面)



① [ALARM IN] アラーム信号入力端子 (1 ~ 16 チャンネルに対応)

アラーム記録およびセンサー記録を開始させるための信号入力端子です。

② [ALARM RESET] アラームリセット信号入力端子

アラーム記録中かセンサー記録中に、記録を停止させるための信号入力端子です。

③ [CLOCK RESET IN] クロックリセット信号入力端子

マスター時計または、他機器の「CLOCK RESET OUT」端子とつなぎます。クロックリセット信号を入力することによって、マスター 時計や他機器の時計に合わせることができ

ます。クロックリセット信号が入力されると、VR-777の時計は次のようにリセットされます。

- ・ 秒の値が29秒以下のとき、分の値はそのまま秒の値が00秒にリセットされます。
- ・ 秒の値が30秒以上のとき、分の値が繰り上がり秒の値が00秒にリセットされます。

☞59ページ「2台以上のVR-777を使って連続で記録を行う」

④ [SERIES REC IN] シリーズ記録信号入力端子

SERIES REC OUTの信号が入力されるとシリーズ記録を始めます。VR-777を複数台使用するとき、他のVR-777のシリーズ記録信号を受ける端子です。

☞59ページ「2台以上のVR-777を使って連続で記録を行う」

⑤ [EXT REC IN] 外部記録信号入力端子

「外部記録モード」が「トリガ」か「マニュアル」に設定されているとき、外部からの信号で自動記録を始めます。

☞24ページ「外部記録設定画面」

☞59ページ「外部からの制御信号で記録を始める」

⑥ [COM] 共通グランド端子

共通のグランド端子です。つなく機器の信号グランド端子とつなぎます。

⑦ [SERIES REC OUT] シリーズ記録信号出力端子

ハードディスクの残容量が1%以下になったときに信号を出力します。

ただし、次の場合は信号を出力しません。

- ・ メニュー項目「シリーズ記録設定」が「切」のとき。

☞24ページ「外部記録設定画面」

☞59ページ「2台以上のVR-777を使って連続で記録を行う」

⑧ [CLOCK RESET OUT] クロックリセット信号出力端子

クロックリセット信号を出力する端子です。次の場合に出

力します。

- ・ VR-777内部の時計が00:00または、12:00のとき。

☞59ページ「2台以上のVR-777を使って連続で記録を行う」

⑨ [WARNING OUT] ワーニング信号出力端子

ハードディスクの動作異常や、エラーが起きたときに信号を出力します。(☞106ページ)

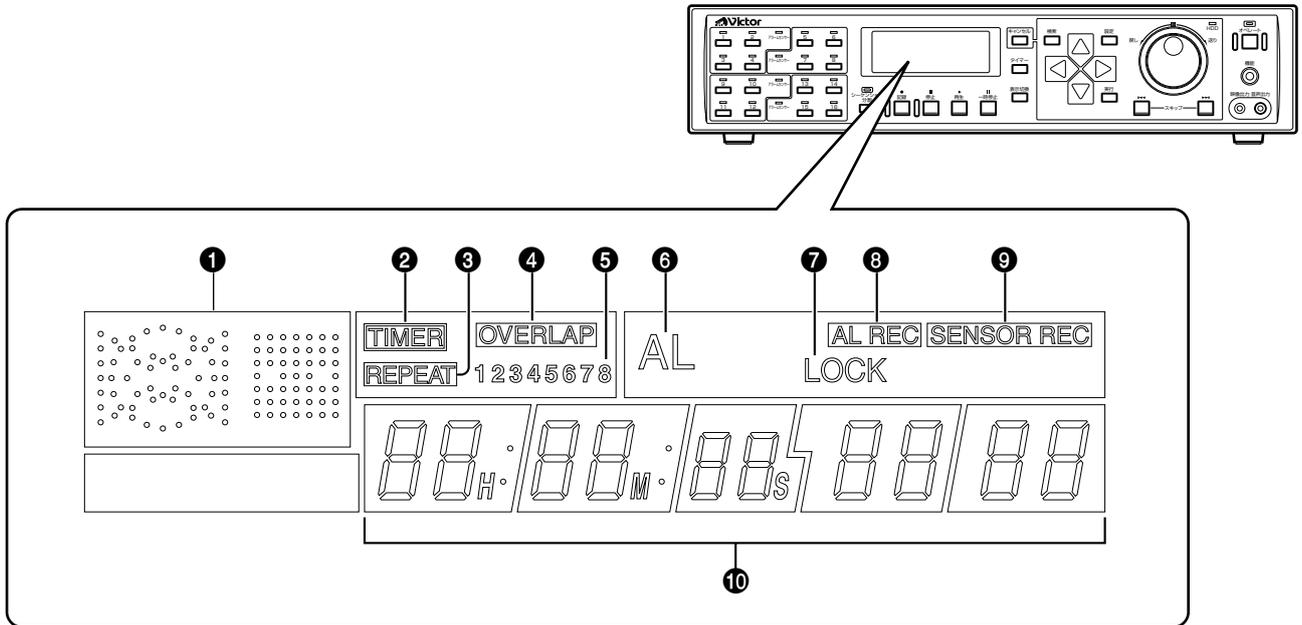
⑩ [ALARM REC OUT] アラーム記録信号出力端子

VR-777がアラーム記録か、センサー記録をしているときに、信号を出力します。

端子	信号レベル	備考
[CLOCK RESET IN] クロックリセット 入力	<p>High Voltage = 5 V Low Voltage = 0 V min.500 ms ※出力側のインピーダンスは 10 k Ω以下にしてください。</p>	接地入力(44 kΩ)
[CLOCK RESET OUT] クロックリセット 出力	<p>High Voltage = 5 V Low Voltage = 0 V 1 s</p>	オープンコレクタ
[ALARM IN] アラーム信号入力	<p>High Voltage = 5 V Low Voltage = 0 V min.400 ms ※出力側のインピーダンスは 10 k Ω以下にしてください。</p>	接地入力(44 kΩ)
[ALARM REC OUT] アラーム信号出力	<p>アラーム記録中 High Voltage = 12 V Low Voltage = 0 V</p>	High出力(4.7 kΩ)
[ALARM RESET] アラーム信号 リセット入力	<p>min.400 ms High Voltage = 5 ~ 12 V ※出力側のインピーダンスは 10 k Ω以下にしてください。</p>	High入力(44 kΩ)
[EXT REC IN] 外部自動記録 信号入力	<p>High Voltage = 5 V Low Voltage = 0 V min.400 ms ※出力側のインピーダンスは 10 k Ω以下にしてください。</p>	接地入力(44 kΩ)
[SERIES REC OUT] シリーズ記録 信号出力	<p>High Voltage = 5 V Low Voltage = 0 V 2.5 s ~ 3.0 s</p>	LOW出力(1 kΩ)
[SERIES REC IN] シリーズ記録 信号入力	<p>High Voltage = 5 V Low Voltage = 0 V 2.5 s以上 ※出力側のインピーダンスは 10 k Ω以下にしてください。</p>	接地入力(44 kΩ)
[WARNING OUT] ワーニング 信号出力	<p>ワーニング中 High Voltage = 12 V Low Voltage = 0 V</p>	High出力(4.7 kΩ)

はじめに (つづき)

各部の名称とはたらき (フロントディスプレイ)



① 動作モード表示

VR-777の動作状態を表示します。

○	記録モード 赤色で点灯します。
▷	再生モード
	一時停止モード
▷▷	早送り再生モード/スロー再生モード
◁◁	巻き戻し再生モード/スロー再生モード
▷	コマ送り再生モード ▷ が点滅します。
◁	コマ送り逆再生モード ◁ が点滅します。
▷○	記録同時再生モード ▷ と ○ が交互に点滅します。
○	記録同時再生一時停止モード と ○ が交互に点滅します。

② TIMER (タイマー) 表示

タイマー記録スタンバイのときや、タイマー記録しているときに点灯します。
☞44 ページ「プログラムタイマーで記録予約する」

③ REPEAT (リピート記録)表示

VR-777 がループ記録モードに設定されているときに表示します。
☞35 ページ「繰り返し記録をする」

④ OVERLAP (オーバーラップ)表示

週間タイマー設定の中で、タイマー記録の予約が重なっているときに表示します。

⑤ 週間タイマープログラム番号

週間タイマー記録のときに、実行しているプログラム番号を点滅表示します。タイマースタンバイ時は、設定されているタイマープログラムの番号を点灯表示します。タイマー記録が終わると消えます。

⑥ AL (アラーム) 表示

アラーム/センサー記録中に点灯表示します。アラーム/センサー記録が終わると点滅表示します。

⑦ LOCK (ロック) 表示

オペレーションロックがはたらいているときに表示します。

⑧ AL REC (アラーム記録) 表示

アラーム記録が設定されているときに表示します。
☞64 ページ「外部からのアラーム/センサー信号で記録を始める」

⑨ SENSOR REC (センサー記録) 表示

センサー記録スタンバイ中に表示します。
☞64 ページ「外部からのアラーム/センサー信号で記録を始める」

各部の名称とはたらき（フロントディスプレイ）

⑩ 表示カウンター／設定 表示

再生時、記録時のカウンター表示や、時計表示、残量表示など、前面の[表示切換]③(☞5ページ)を押すたびに表示モードを切り換えます。

■ 時計表示 例>12時34分56秒 3月1日

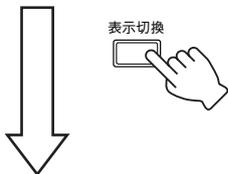


※再生時には、再生画面の記録時刻になりません。

■ 日付け表示 例>2003年3月1日



■ ハードディスク残量表示 例>残量 1234時間

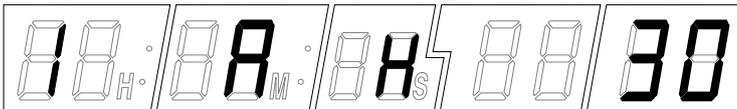


※通常記録中、タイマー記録中、アラーム記録中は入力ブロックそれぞれの記録条件を適用した残量を表示します。

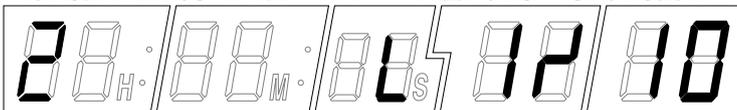
※記録停止中、タイマー記録停止中(記録しない設定をしたブロックも含む)は入力ブロックの通常記録時の記録条件が適用されます。

※タイマーモードで記録を行わないブロックがある場合は、正確な残量を表示しません。

■ 記録設定表示例>入力ブロック：1、音声記録：入、記録画質：高画質、記録コマ数：30

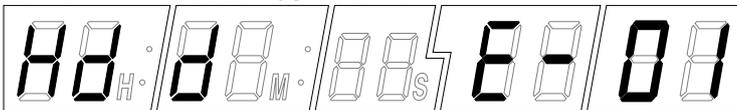


■ 記録設定表示例>入力ブロック：2、音声記録：切、記録画質：長時間、記録コマ数：1/10



※通常記録中、タイマー記録中、アラーム記録中は、入力ブロックそれぞれの記録条件が表示されます。ただし、記録停止中、タイマー記録停止中は、入力ブロックの通常記録時の記録条件が表示されます。また、再生中の場合は、再生している画像の記録条件が優先して表示されます。

■ エラーコードの表示 例>エラー01



☞106ページ「エラーコードまたはオンスクリーン表示の出るトラブル」

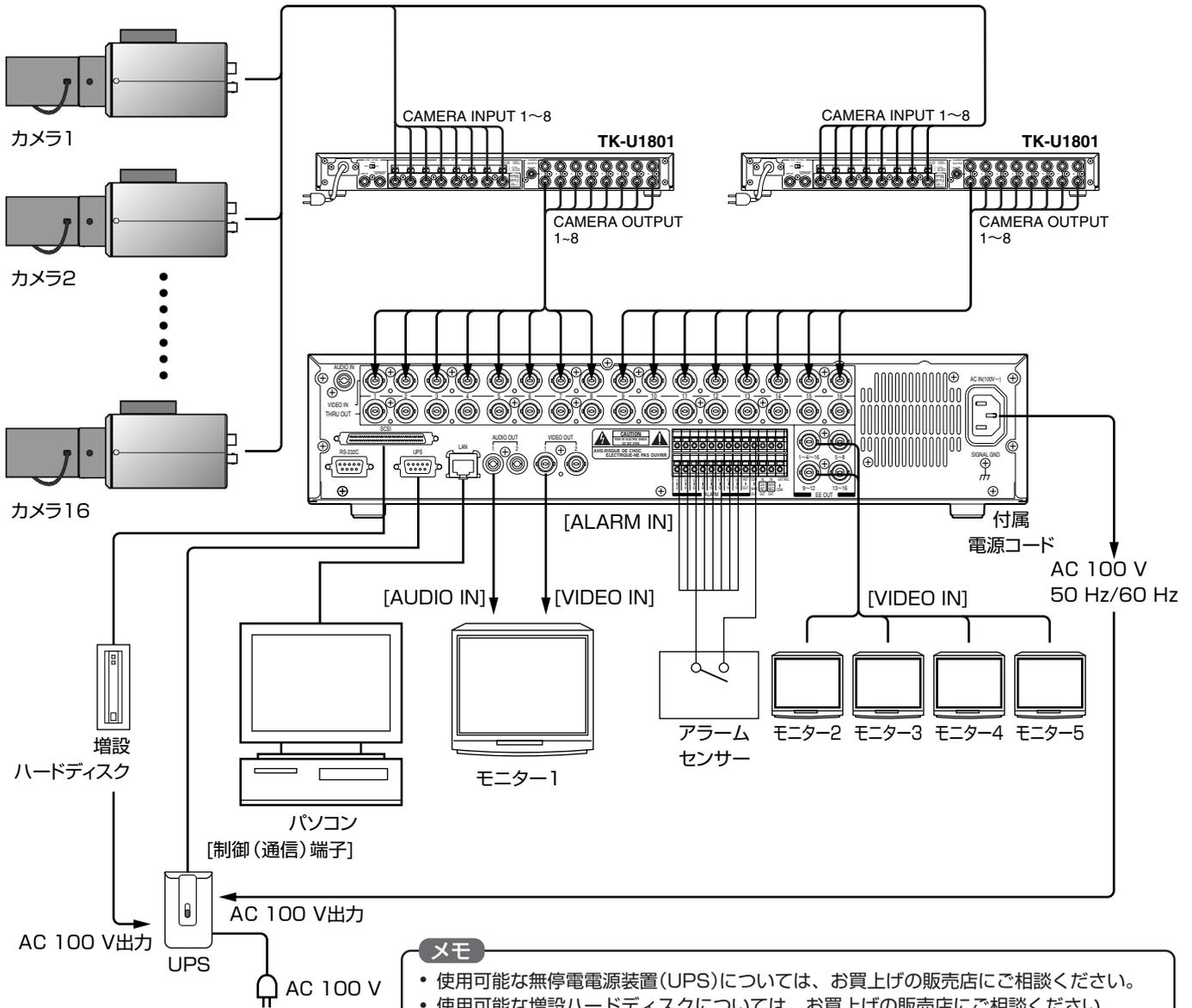
設置と準備

システム接続例（16台のカメラをつなぐ）

VR-777のスイッチャー機能を使用し、カメラを16台まで接続することができます。

<接続例>

- 16台のカメラをつなぎ、記録／再生を行う
- モニター1で記録映像の確認を行い、モニター2～モニター5でカメラのライブ映像を確認する
- アラームセンサーからの信号を受け、アラーム記録を行う



ご注意

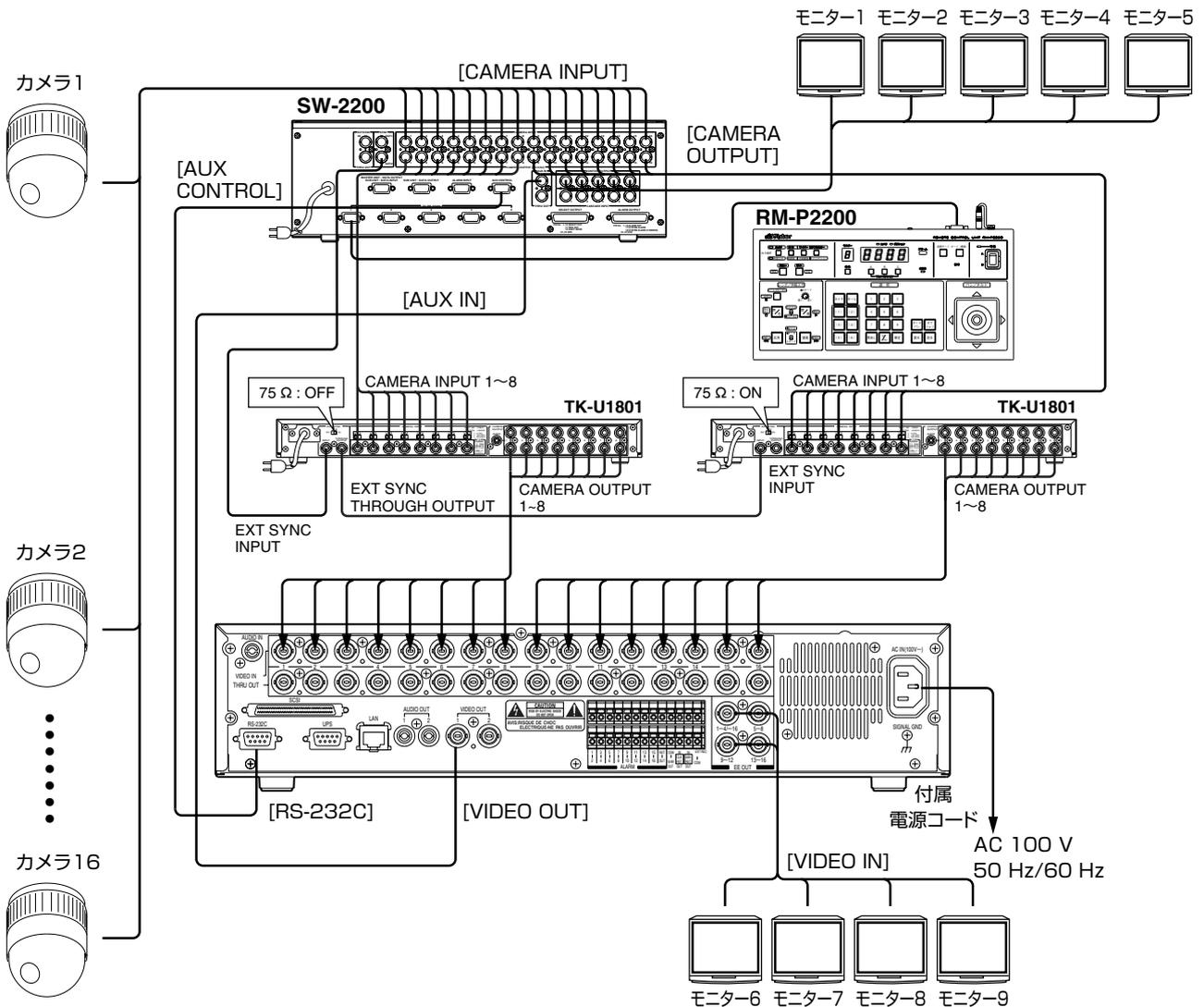
- CCUの[CAMERA INPUT]端子とVR-777の[VIDEO IN]は絶対に接続しないでください。VR-777の入力回路を破損させます。
- CCUと接続した場合など、映像信号の入力に異常があると“VIDEO IN ** 入力なし (E-03)”がオンスクリーン表示されます。(**にはカメラ番号が表示されます)この状態で記録を続けると異常発生カメラ、正常カメラともに正しく記録できない場合があります。メニューで異常が発生したチャンネルのカメラ記録を“切”にするか、すみやかに異常の原因を取り除いてください。
☞22ページ「入力記録設定」
- 接続はすべての機器の電源をOFFにしてから行なってください。
- カメラを接続しないチャンネルはメニューで入力記録を“切”にしてください。
☞22ページ「入力記録設定」
- THRU OUTにBNCコネクターを接続したとき、内蔵の75Ω終端がOPENになります。最終段の機器で75Ωを終端にしてください。
- VR-777以外の使用機器につきましては、それぞれの機器の「取扱説明書」をお読みのうえ、接続してください。
- パソコンとの接続は72ページ「パソコンに接続して使う」をご覧ください。

システム接続例（リモコンをつなぐ）

SW-2200 と RM-P2200 を接続することで、VR-777 の動作を RM-P2200 で制御することができます。

<接続例>

- 16台のカメラをつなぎ、記録／再生を行う
- モニター1で記録映像の確認を行い、モニター2～モニター5でカメラのライブ映像を確認する
- RM-P2200でVR-777のリモートコントロールを行う



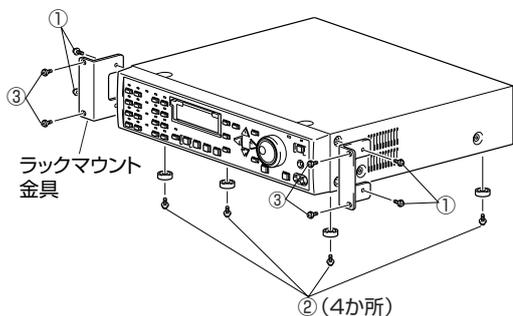
ご注意

- CCUの [CAMERA INPUT] 端子と VR-777 の [VIDEO IN] は絶対に接続しないでください。VR-777の入力回路を破損させます。
- CCUと接続した場合など、映像信号の入力に異常があると“VIDEO IN ** 入力なし (E-03)”がオンスクリーン表示されます。(**にはカメラ番号が表示されます)この状態で記録を続けると異常発生カメラ、正常カメラともに正しく記録できない場合があります。メニューで異常が発生したチャンネルのカメラ記録を“切”にするか、すみやかに異常の原因を取り除いてください。
☞22ページ「入力記録設定」
- 接続はすべての機器の電源をOFFにしてから行ってください。
- カメラを接続しないチャンネルはメニューで入力記録を“切”にしてください。☞22ページ「入力記録設定」
- VR-777とSW-2200をRS-232C接続する場合、アラーム端子の接続は必要ありません。アラーム信号はRS-232C端子からシリアル信号で入力されます。
- THRU OUTにBNCコネクターを接続したとき、内蔵の75Ω終端がOPENになります。最終段の機器で75Ωを終端にしてください。
- VR-777以外の使用機器につきましては、それぞれの機器の「取扱説明書」をお読みのうえ、接続してください。
- パソコンとの接続は72ページ「パソコンに接続して使う」をご覧ください。

設置と準備 (つづき)

ラックに取り付ける

付属のラックマウント金具を使用し、VR-777 を EIA ラックに取り付けます。



ご注意

- ラックマウントに取り付けた VR-777 の上に、物を置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下してけがや破損の原因になることがあります。
- VR-777 を 2 台以上ラックに取り付ける場合、かならず 1 ユニット以上離して取り付けてください。

1. ネジ①でラックマウント金具を取り付ける

- 付属のネジ(M4 × 10 mm)4 本で VR-777 の両側に固定します。

2. 底面の足(4か所)のネジ②を外す

- 必要に応じて足をとります。

3. ネジ③でラックに取り付ける

- 付属のネジ(M5 × 10 mm)4 本でラックに固定します。

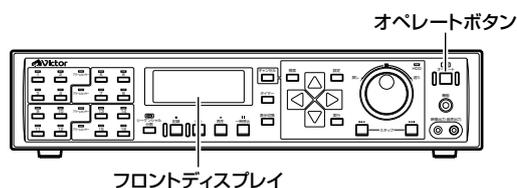
電源を入れる／切る

メモ

- ハードディスクを増設して使用する場合には、60 ページ「ハードディスクの増設」をご覧ください。
- システムチェック中の操作はできません。“しばらくお待ちください…” の表示が消えるまでお待ちください。

ご注意

- 本機の電源は、周辺機器の接続が完了してから入れてください。
- 起動中は、電源コードを絶対に抜かないでください。故障の原因となります。



メモ

- オペレート OFF 状態で、再度 [オペレート] ボタンを押すと、オペレート ON 状態になります。

ご注意

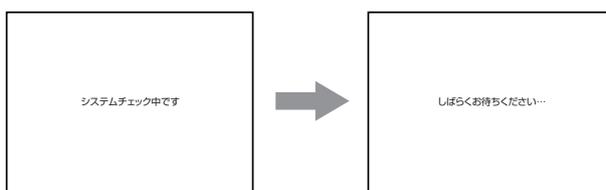
- 電源コードは、かならずオペレート OFF 状態のときに抜いてください。オペレート ON 状態で電源コードを抜くと、電源の再投入時にハードディスク修復機能が動作することがあり、記録を始めるまでに時間がかかります。(P.69 ページ)

■電源を入れる

1. 電源コードをつなぐ

- 付属の電源コードで AC 100 V 50 Hz/60 Hz のコンセントにつなぎます。
- 電源が入り、システムチェックが始まります。

〈モニター〉



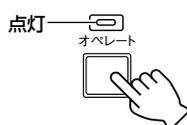
〈フロントディスプレイ〉



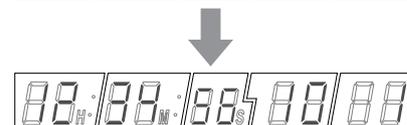
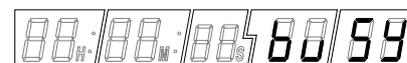
■電源を切る

1. [オペレート]を約2秒長押しする

- フロントディスプレイに「BUSY」と表示された後、暗い時刻表示になります。(オペレート OFF 状態)



〈フロントディスプレイ〉

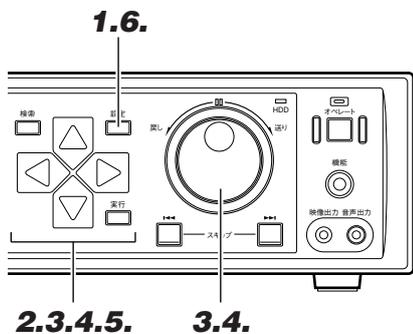


2. 電源コードを抜く

日付・時刻を設定する

モニター画面を見ながらオンスクリーンで合わせる

モニター画面上で、日付、時刻を設定します。

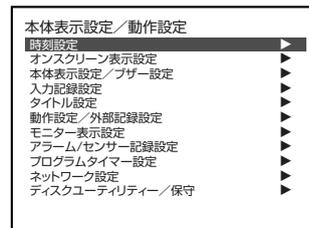


1. [設定]を押す

- モニターにメニュー画面を表示させます。



メニュー画面



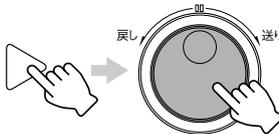
2. [▽]で「時刻設定」項目を選ぶ

- カーソルを合わせます。



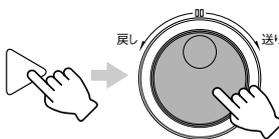
3. [▶]を押し「時刻設定」画面を表示させ、ジョグダイヤルを回して“年”を合わせる

- ジョグダイヤルを回すと数字が増減します。



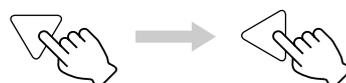
4. [▶]を押し、ジョグダイヤルを回して“月”を合わせる

- 4.の操作を繰り返し、“日”、“時”、“分”を合わせます。



5. [▽]を押し、“リターン”にカーソルを合わせる

- [◀]を押すとメニュー画面に戻ります。



6. [設定]を押して終了する

- 通常画面に戻ります。



ご注意

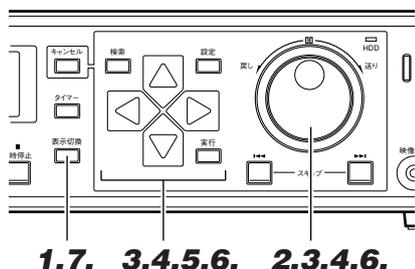
- ハードディスク内に記録データがある状態での日時変更はご注意ください。記録日時が重複・逆転すると、再生動作やスキップジャンプ、日時ダイレクトジャンプが正しく行われない場合があります。
- 記録中は設定できません。
- NTP サーバーの設定が有効な場合は設定できません。画面上に“NTP 起動中”と表示されます。
(☞98 ページ)

設置と準備 (つづき)

日付・時刻を設定する

フロントディスプレイで合わせる

VR-777のフロントディスプレイ上で、日付、時刻を設定します。



1. [表示切換]を2秒以上押す

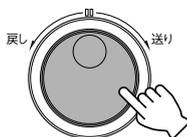
- フロントディスプレイに“年”が点滅表示されます。



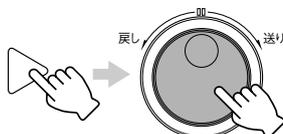
メモ

- VR-777が記録中は操作できません。
- NTPサーバーの設定が有効な場合は操作できません。フロントディスプレイに“NTP”と約5秒間点滅表示されます。

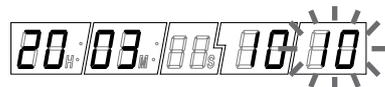
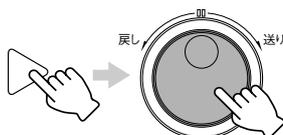
2. ジョグダイヤルを回して“年”を合わせる



3. [▶]を押し、点滅を“月”に合わせジョグダイヤルを回して合わせる



4. [▶]を押し、点滅を“日”に合わせジョグダイヤルを回して合わせる



メモ

“秒”を合わせるとき

- [機能] ボタンを押しながら[停止]を押すことで、時計の“秒”を合わせることができます。
- 秒の値が29秒以下のとき、分の値はそのまま秒の値が00秒にリセットされます。
- 秒の値が30秒以上のとき、分の値が繰り上がり秒の値が00秒にリセットされます。

ご注意

- ハードディスク内に記録データがある状態での日時変更はご注意ください。記録日時が重複すると、再生動作やスキップジャンプ、日時ダイレクトジャンプが正しく行われない場合があります。
- 記録中は設定できません。
- NTPサーバーの設定が有効な場合は設定できません。
(☞98ページ)

5. [▶]を押す

- フロントディスプレイに“時”、“分”が表示され、“時”のみ点滅表示されます。



6. “時”、“分”を合わせる

- 3. ~ 4. 同様の操作を繰り返し、“時”、“分”を設定します。



7. [表示切換]を押す

- 時計がスタートします。



オンスクリーン表示について

VR-777は、日付や時刻、アラーム(センサー)番号や動作状態などをモニター画面上にオンスクリーン表示させることができます。

オンスクリーン表示の位置を変える

<オンスクリーン表示>

年-月-日 曜日 時刻(24h表示)
2003-06-03 火 12:35:23
60% AL* 3
AL- (センサー) 検出(点滅して表示します)
再生方向 (動作状態表示)
アラーム(センサー)番号
カメラタイトル
駐車場

ハードディスク残量表示(0%になると点滅します)

- アラーム(センサー)番号表示には以下のものがあります。
AL- : 登録されている最大アラーム(センサー)番号
AL * : 再生映像のアラーム(センサー)番号
AL * P : 再生映像のプリセンサー番号
- オンスクリーン表示の内容はメニューの[オンスクリーン表示設定画面]で設定できます。(P.21 ページ)

メモ

- オンスクリーン表示位置調整モード時、[実行]ボタンを押すたびに“日付/時刻表示部”と“タイトル表示部”が交互に青バックになります。表示位置が変更できるのは青バックのときです。
- “日付/時刻表示部”と“タイトル表示部”が重なった場合、“日付/時刻表示部”が優先されます。

<4分割画面でのオンスクリーン表示位置調整>

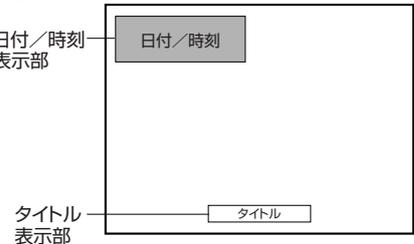
- ① 日付/時刻
- ② タイトル左上
- ③ タイトル右上
- ④ タイトル左下
- ⑤ タイトル右下

ワーニング表示エリア

- 4分割画面で表示されているとき、[実行]ボタン長押しすると上図の“オンスクリーン表示調整画面”になります。
- 手順1.~5.と同様に表示位置の調整をおこないます。
- [実行]ボタンを押すたびに、以下の順で青バックになります。
① 日付/時刻
② タイトル左上
③ タイトル右上
④ タイトル左下
⑤ タイトル右下
- ワーニング表示エリアには設定できません。
- 16分割画面のとき、カメラタイトルは表示されません。

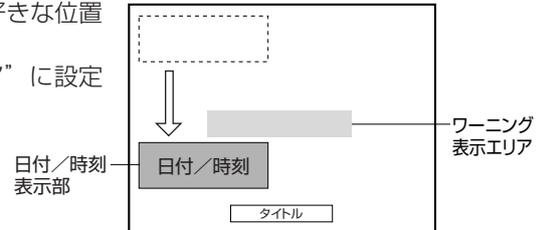
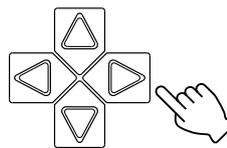
1. [実行]を長押しする

- オンスクリーン表示位置調整モードになります。
- “日付/時刻表示部”が青バックになります。



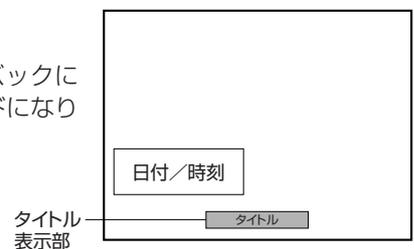
2. [△/▽/◀/▶]を押す

- 同時押しで斜め移動できます。
- “日付/時刻表示部”を好きな位置に設定できます。
- “ワーニング表示エリア”に設定することはできません。



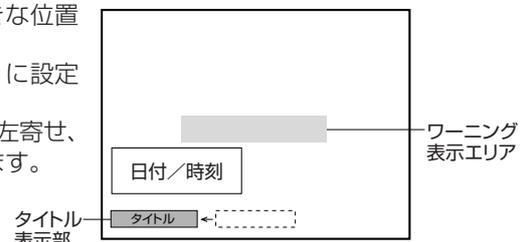
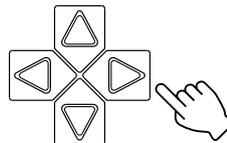
3. [実行]を押す

- “タイトル表示部”が青バックになり、表示位置調整モードになります。



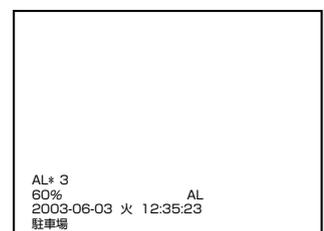
4. [△/▽/◀/▶]を押す

- 同時押しで斜め移動できます。
- “タイトル表示部”を好きな位置に設定できます。
- “ワーニング表示エリア”に設定することはできません。
- 表示文字は自動で右寄せ、左寄せ、またはセンタリングされます。



5. [キャンセル]を押す

- オンスクリーン表示位置が確定され、通常画面に戻ります。



メニューについて

メニューの流れ

メニュー画面

本体表示設定／動作設定	
時刻設定	▶
オンスクリーン表示設定	▶
本体表示設定／ブザー設定	▶
入力記録設定	▶
タイトル設定	▶
動作設定／外部記録設定	▶
モニター表示設定	▶
アラーム／センサー記録設定	▶
プログラムタイマー設定	▶
ネットワーク設定	▶
ディスクユーティリティ／保守	▶

時刻設定画面

時刻設定

年	月	日	時	分
2003	01	01	00	00

← : リターン

(☞ 15ページ)

タイトル設定画面

タイトル設定

1. 入力ブロック	1
2. カメラ1タイトル	(なし)
3. カメラ2タイトル	(なし)
4. カメラ3タイトル	(なし)
5. カメラ4タイトル	(なし)

← : リターン

(☞ 23ページ)

オンスクリーン表示設定画面

オンスクリーン表示設定

1. 日付／時刻表示	入
2. 再生モード表示	入
3. タイトル表示	入
4. アラーム／センサーカウント表示	入
5. 種類表示	入
6. アラーム／センサー検出表示	入
7. ワーニングメッセージ表示	入
8. メニュー表示背景設定	黒

(☞ 21ページ)

動作設定／外部記録設定画面

動作設定／外部記録設定

【動作設定】	
1. 停電復帰後記録	切
2. ループ記録	切
3. RS-232C接続	通常
4. 電子透かし画像	切
5. オペロック設定	すべて
【外部記録設定】	
1. 外部記録モード	切
2. シリーズ記録設定	切

(☞ 23, 24ページ)

本体表示設定／ブザー設定画面

本体表示設定／ブザー設定

【本体表示設定】	
1. アラーム／センサー動作表示	入
2. アラーム／センサー点滅	入
3. 入力シグナルキャンセルモニター	入
4. 入力信号異常表示	入
5. ワーニング表示	入
【ブザー設定】	
1. HDDエンド	切
2. アラーム／センサー	切
3. ワーニング	切

(☞ 21, 22ページ)

モニター表示設定画面

モニター表示設定

1. EE OUT1～4/～16	4分
2. 1画面シグナル設定	▶
3. 分割画面自動切替設定	
ブロック 1	1秒
ブロック 2	1秒
ブロック 3	1秒
ブロック 4	1秒
4. アラーム／センサー表示切替	切
5. 分割画面ポータ設定	切

(☞ 24ページ)

入力記録設定画面

入力記録設定

1. 入力ブロック	1
2. カメラ 1	入
3. カメラ 2	入
4. カメラ 3	入
5. カメラ 4	入
6. 記録コマ数	1秒に30コマ
7. 記録画質	N
8. 音声記録	入
残り記録時間	約 **時間

(☞ 22ページ)

アラーム／センサー記録設定画面

アラーム／センサー記録設定

1. 入力ブロック	1
2. 記録モード	アラーム
3. 記録コマ数	1秒に30コマ
4. 記録画質	H
5. 記録時間	3分
6. 音声記録	入
7. フリセンサー記録	切
8. フリセンサー記録時間	10秒
9. 外部入力動作設定	切
10. モーションディテクト動作設定	切
11. モーションディテクト詳細設定	▶

(☞ 25, 26ページ)

プログラムタイマー設定画面

プログラムタイマー設定

1. 週間タイマー設定
2. 日付指定タイマー設定
3. タイマー解除動作

停止

(☞27, 28ページ)

週間タイマー設定画面

週間タイマー設定

開始 終了 日付-1 日付-2 日付-12 日付-16 実行

日曜	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *
月曜	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *
火曜	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *
水曜	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *
木曜	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *
金曜	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *
土曜	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *
毎日	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *

←:リターン

(☞27ページ)

ネットワーク設定画面

ネットワーク設定

1. ホスト名
2. 設定方法
3. IPアドレス
4. ネットマスク
5. デフォルトゲートウェイ
6. ネームサーバー

MACアドレス

←:リターン

(☞29ページ)

日付指定タイマー設定画面

日付指定タイマー設定

開始 終了 日付-1 日付-2 日付-12 日付-16 実行

1.	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *
2.	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *
3.	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *
4.	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *
5.	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *
6.	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *
7.	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *
8.	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *

←:リターン

(☞28ページ)

データベース再構築画面

データベース再構築

データベース再構築自動設定

日時設定 01 00 切

データベース再構築開始

←:リターン

(☞55ページ)

ディスクユーティリティ/保守画面

ディスクユーティリティ/保守

1. ディスクユーティリティ
2. 保守
3. システム再起動

←:リターン

(☞29ページ)

ディスクユーティリティ画面

ディスクユーティリティ

1. オートスキャンディスク
2. マニュアルスキャンディスク
3. データベース再構築
4. フォーマット
5. ミラーリング設定

←:リターン

(☞29, 53ページ)

フォーマット画面

フォーマット

内蔵 HDD 1: 153GB 正常

内蔵 HDD 2: 153GB 正常

増設 HDD 1:

増設 HDD 2:

増設 HDD 3:

増設 HDD 4:

フォーマット開始

フォーマットするHDDのデータはすべて削除されます!!

1. フォーマットするHDDを[する]に設定
2. 「フォーマット開始」を[する]に設定し[実行]ボタン

(☞56ページ)

1画面シーケンシャル設定画面

1画面シーケンシャル設定

1. カメラ 1	1秒	9. カメラ 9	1秒
2. カメラ 2	1秒	10. カメラ 10	1秒
3. カメラ 3	1秒	11. カメラ 11	1秒
4. カメラ 4	1秒	12. カメラ 12	1秒
5. カメラ 5	1秒	13. カメラ 13	1秒
6. カメラ 6	1秒	14. カメラ 14	1秒
7. カメラ 7	1秒	15. カメラ 15	1秒
8. カメラ 8	1秒	16. カメラ 16	1秒

←:リターン

(☞24ページ)

保守画面

保守

1. 使用時間
2. 停電時刻リスト

PL-***** ***/**/** ** ** **

(☞29, 58ページ)

ミラーリング設定画面

ミラーリング設定

内蔵 HDD 1: 153GB 正常

内蔵 HDD 2: 153GB 正常

ミラーリング設定

内蔵及び増設HDDのデータはすべて削除されます!!

現在、ミラーリング設定はされていません。

[する]選択後[実行]ボタンでミラーリング設定を始めます。

(☞57, 58ページ)

モーションディテクト設定画面

モーションディテクト設定

1. 入カブロック
2. カメラ 1シーン
3. カメラ 2シーン
4. カメラ 3シーン
5. カメラ 4シーン

←:リターン

(☞26ページ)

カメラエリア設定画面

カメラ1 エリア設定

←:リターン

[キャンセル]: 領域取消 [実行]: 領域決定

[キャンセル]長押し: 全取消 [実行]長押し: 全決定

[検索]長押し: チェックモード [検索]: チェックモード終了

(☞66, 67ページ)

カメラ別詳細設定画面

カメラ別詳細設定

1. 検出感度
2. 停止感度
3. 対象サイズレベル

(☞67ページ)

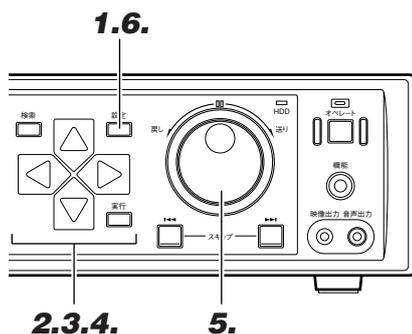
メニューについて (つづき)

メニューの設定を変える

お買い上げ時の設定を変える

VR-777 をお買い上げ時に設定されている値(工場出荷時設定)を用途に合わせて変更します。

メニュー画面を表示するモニターは [VIDEO OUT] 端子につなぎます。(☞31 ページ)



メモ

- 録画中は、以下の項目のみ設定変更が可能です。
 - ・オンスクリーン表示設定(☞21 ページ)
 - ・本体表示設定(☞21 ページ)
 - ・ブザー設定(☞22 ページ)
 - ・モニター表示設定(☞24 ページ)
 - ・検索メニュー(☞38 ページ)
- ・タイマーモード中は、メニュー操作もできません。
- ・変更された設定値は、設定メニュー画面を抜けたタイミングでメモリーに書き込まれます。変更を行なったメニュー画面を開いたままでの運用は行わないでください。

1. [設定]を押す

- ・モニターにメニュー画面を表示させます。



本体表示設定/動作設定	
時刻設定	▶
オンスクリーン表示設定	▶
本体表示設定/ブザー設定	▶
入力記録設定	▶
タイトル設定	▶
動作設定/外部記録設定	▶
モニター表示設定	▶
アラーム/センサー記録設定	▶
プログラムタイマー設定	▶
ネットワーク設定	▶
ディスクユーティリティ/保守	▶

2. [△/▽]で項目を選ぶ

- ・カーソルを合わせます。



3. [▶]を押す

- ・設定画面に進みます。



オンスクリーン表示設定	
1. 日付/時刻表示	入
2. 再生モード表示	入
3. タイトル表示	入
4. アラーム/センサーカウント表示	入
5. 残量表示	入
6. アラーム/センサー検出表示	入
7. ワーニングメッセージ表示	入
8. メニュー表示背景設定	黒

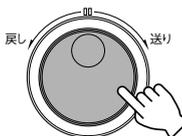
4. [△/▽]で項目を選ぶ

- ・カーソルを合わせます。



オンスクリーン表示設定	
1. 日付/時刻表示	入
2. 再生モード表示	入
3. タイトル表示	入
4. アラーム/センサーカウント表示	入
5. 残量表示	入
6. アラーム/センサー検出表示	入
7. ワーニングメッセージ表示	入
8. メニュー表示背景設定	黒

5. ジョグダイヤルを回して設定値を選ぶ



オンスクリーン表示設定	
1. 日付/時刻表示	入
2. 再生モード表示	入
3. タイトル表示	入
4. アラーム/センサーカウント表示	入
5. 残量表示	切
6. アラーム/センサー検出表示	入
7. ワーニングメッセージ表示	入
8. メニュー表示背景設定	黒

6. [設定]を押して終了する

- ・通常画面に戻ります。



オンスクリーン表示設定画面

●は工場出荷時設定です。

項目	設定値	内容
日付/時刻表示	●入切	オンスクリーンの年・月・日および時計の表示を設定します。 入：表示します。 切：表示しません。
再生モード表示	●入切	オンスクリーンの再生動作状態表示を設定します。 入：表示します。 切：表示しません。
タイトル表示	●入切	オンスクリーンのカメラチャンネルのタイトル表示を設定します。 入：タイトル表示します。 切：タイトル表示しません。
アラーム/センサーカウント表示	●入切	オンスクリーンのアラーム/センサー番号表示を設定します。 入：アラーム/センサー番号を表示します。 切：アラーム/センサー番号を表示しません。
残量表示	●入切	オンスクリーンのハードディスク残量表示を設定します。 入：残量を表示します。(ループ記録時は表示しません。) 切：残量を表示しません。
アラーム/センサー検出表示	●入切	アラーム/センサー記録時に“AL”マークをオンスクリーン表示するかどうかを設定します。 入：“AL”マークを表示します。 切：“AL”マークを表示しません。
ワーニングメッセージ表示	●入切	異常発生時にオンスクリーンのワーニング表示をするかどうかを設定します。 入：ワーニング表示をします。 切：ワーニング表示をしません。
メニュー表示背景設定	●黒透過	メニュー設定画面の背景を設定します。 黒：黒色背景を表示します。 透過：カメラのライブ映像や再生映像を表示します。

本体表示設定画面

●は工場出荷時設定です。

項目	設定値	内容
アラーム/センサー動作表示	●入切	アラーム/センサー記録中に、フロントディスプレイのAL(アラーム)表示⑥(☞10ページ)を点灯させるかどうかの設定をします。 入：点灯します。 切：点灯しません。 ☞10ページ「各部の名称とはたらき(フロントディスプレイ)」
アラーム/センサー点滅	●入切	アラーム/センサー記録終了後にフロントディスプレイのAL(アラーム)表示⑥(☞10ページ)を点滅させるかどうかの設定をします。 入：点滅します。 切：点滅しません。 ☞10ページ「各部の名称とはたらき(フロントディスプレイ)」
入力シーケンシャルモニター	●入切	前面のカメラ選択ボタン⑥(☞5ページ)の表示灯を点灯させるかどうかの設定をします。 入：モニター画面に映し出されたカメラ番号の、カメラ選択ボタン表示灯を点灯します。 切：モニター画面に映し出されたカメラ番号の、カメラ選択ボタン表示灯を点灯しません。ただし、16分割画面を表示しているときは点灯します。
入力信号異常表示	●入切	前面のカメラ選択ボタン⑥(☞5ページ)表示灯のカメラ信号異常時の点灯方法を設定します。 入：カメラの入力記録設定が“入”になっていてカメラ信号がないとき、またはカメラ選択ボタンで単画面表示を選択し、指定したカメラの入力記録設定が“切”の場合に点滅します。 切：点滅しません。 ※フロントディスプレイおよび、オンスクリーン上に表示される入力異常表示の設定とは異なります。
ワーニング表示	●入切	異常発生時にフロントディスプレイにワーニング表示するかどうかを設定します。 入：ワーニング表示をします。 切：ワーニング表示をしません。 ☞106ページ「エラーコードまたはオンスクリーン表示のトラブル」

メニューについて (つづき)

ブザー設定画面

●は工場出荷時設定です。

項目	設定値	内容
HDD エンド	入 ●切	記録中にハードディスクの記録容量がなくなってしまったとき、ブザーを鳴らすかどうかの設定をします。 入：ブザーを鳴らします。 切：ブザーを鳴らしません。
アラーム/センサー	入 ●切	アラーム/センサー記録中にブザーを鳴らすかどうかの設定をします。 入：ブザーを鳴らします。 切：ブザーを鳴らしません。
ワーニング	入 ●切	異常発生したときに、ブザーを鳴らすかどうかの設定をします。 入：ブザーを鳴らします。 切：ブザーを鳴らしません。 ☞ 106 ページ「エラーコードまたはオンスクリーン表示の出るトラブル」

入力記録設定画面

●は工場出荷時設定です。(記録中は設定できません。)

項目	設定値	内容
入力ブロック	●1 2 3 4	入力記録設定をするカメラチャンネルブロックを選択します。 1：カメラチャンネル 1～4 の設定をします。 2：カメラチャンネル 5～8 の設定をします。 3：カメラチャンネル 9～12 の設定をします。 4：カメラチャンネル 13～16 の設定をします。
カメラ1～カメラ4 (ブロック1 選択時)	●入 切	入力記録をするカメラを選択します。 入：記録できます。 切：記録しません。 メモ • 入力ブロックの選択によって、項目が変化します。ブロック2：カメラ5～カメラ8、ブロック3：カメラ9～カメラ12、ブロック4：カメラ13～カメラ16。
記録コマ数	●1 秒に 30 コマ 1 秒に 15 コマ 1 秒に 10 コマ 1 秒に 5 コマ 1 秒に 3 コマ 1 秒に 2 コマ 1 秒に 1 コマ 2 秒に 1 コマ 5 秒に 1 コマ 10 秒に 1 コマ	記録するコマ数を設定します。 メモ • [記録コマ数]を“5 秒に 1 コマ”“10 秒に 1 コマ”に設定すると[音声記録]は“切”になります。
記録画質	H ●N B L	記録する映像の画質を設定します。 H：HIGH (高画質記録) N：NORMAL (普通画質記録) B：BASIC (中画質記録) L：LONG (長時間画質記録)
音声記録	●入 切	音声信号を記録するかどうかの設定をします。 入：音声信号を記録します。 切：音声信号を記録しません。 メモ • メニューの[記録コマ数]項目を“5 秒に 1 コマ”“10 秒に 1 コマ”に設定すると自動的に“切”になります。
残り記録時間	*****	ハードディスクにあとどれくらいの時間記録できるか、残りの記録時間のめやすを表示します。 メモ • 記録時間は[記録コマ数]項目、[記録画質]項目や[音声記録]項目などの設定により変わります。☞ 116 ページ「記録時間について」

タイトル設定画面

●は工場出荷時設定です。(記録中は設定できません。)

項目	設定値	内容
カメラ1 ～ カメラ16	*****	1～16のカメラチャンネルにそれぞれ名前をつけることができます。 ☞70ページ「カメラチャンネル画面ごとにタイトルをつける」

動作設定画面

●は工場出荷時設定です。(記録中は設定できません。)

項目	設定値	内容
停電復帰後記録	●切 停電前モード 通常記録	停電復帰記録するかどうかの設定をします。(プログラムタイマー中の停電復帰では、この項目の設定にかかわらず、タイマー動作になります。) 切 : 停電後の復帰で停止状態になります。 停電前モード : 停電後の復帰で記録中の停電時のみ記録を開始します。 通常記録 : 停電後の復帰で記録を開始します。 ☞69ページ「停電復帰後に記録をつける」
ループ記録	●切 アラームストップ アラームロック すべて	ループ記録をするかどうかを設定します。 切 : ループ記録しません。 アラームストップ : アラーム記録があるとループ記録設定を解除します。 アラームロック : アラーム記録部分を保護しながらループ記録しますが、ハードディスク容量のほとんどをアラーム記録で占めた場合、アラーム記録以外の映像も残ることがあります。 すべて : ハードディスクの記録残量がなくなると、記録日時の古い部分から上書き記録を続けます。 ☞113ページ「ループ記録について」
RS-232C 接続	●通常 SW-2200	背面の[RS-232C]端子  (☞7ページ) につなぐ機器を設定します。 通常 : 通常RS-232C端子として使用するとき設定します。 SW-2200 : SW-2200をつなぐときに設定します。 ☞7ページ「各部の名称とはたらき(背面)」 メモ <ul style="list-style-type: none"> SW-2200をつないだときは、使用機器の取扱説明書をご覧ください。 設定値がSW-2200になっている場合、オペレーションロック時(☞3ページ)も、本体の外部制御を行うことができます。
電子透かし画像	入 ●切	記録画像に電子透かしを挿入するかどうかの設定をします。 入 : 電子透かしを入れた映像を記録します。 切 : 電子透かしを入れない映像を記録します。 メモ <ul style="list-style-type: none"> 次の設定にした場合は、電子透かしを記録できません。 <ol style="list-style-type: none"> 入力ブロック内でカメラを1台に設定して、画質を“B”か“L”にした場合。 入力ブロック内でカメラを1台、画質を“N”、かつコマ数を“1秒に1コマ”以下にした場合。 電子透かしの検出については、添付アプリケーションソフト「V R - 777 Player マニュアル(CD-ROM)」をご覧ください。
オペロック設定	●すべて 記録停止	オペレーションロック時に禁止する操作を設定します。 すべて : すべての操作を禁止します。 記録停止 : 記録を開始及び停止する操作を禁止します。

メニューについて (つづき)

外部記録設定画面

●は工場出荷時設定です。(記録中は設定できません。)

項目	設定値	内容
外部記録モード	●切 トリガ マニュアル	信号入出力端子の [EXT REC IN] に外部信号が入ったとき、自動記録をするかどうかの設定をします。 切 : 自動記録をしません。 トリガ : 外部信号が入ると記録を始めます。 マニュアル : 外部信号が入っている間は記録を続けます。 ☞59 ページ「外部からの制御信号で記録を始める」
シリーズ記録設定	入 ●切	信号入出力端子の [SERIES REC IN/OUT] 信号による動作を行うかどうかの設定をします。 入 : [SERIES REC IN/OUT] 信号による動作を行います。 切 : [SERIES REC IN/OUT] 信号による動作を行いません。 ☞59 ページ「2 台以上の VR-777 を使って連続で記録を行う」

モニター表示設定画面

●は工場出荷時設定です。

項目	設定値	内容
EE OUT1 ~ 4/ ~ 16	●4分割 16分割	VR-777 に入力したカメラ映像を [EE OUT1 ~ 4/ ~ 16] 端子に出力するときの画面を設定します。 4分割 : 4分割で表示します。 16分割 : 16分割で表示します。 ☞30 ページ「モニターを [EE OUT] 端子につなぐ場合」
1 画面シーケンシャル設定		
1 画面シーケンシャル設定画面 カメラ 1 ~カメラ 16	切 ●1秒 2秒 3秒 4秒 5秒 10秒	VR-777 に入力したカメラのライブ映像を、自動で切り換える表示時間を設定します。 切 : カメラチャンネルの自動切り換えをしません。 1秒 : カメラチャンネルを 1 秒間隔で切り換えます。 2秒 : カメラチャンネルを 2 秒間隔で切り換えます。 3秒 : カメラチャンネルを 3 秒間隔で切り換えます。 4秒 : カメラチャンネルを 4 秒間隔で切り換えます。 5秒 : カメラチャンネルを 5 秒間隔で切り換えます。 10秒 : カメラチャンネルを 10 秒間隔で切り換えます。 ☞32 ページ「1 画面自動切り換え表示の切り換え時間を設定するには」
4 分割画面自動切換設定 ブロック 1 ~ブロック 4	切 ●1秒 2秒 3秒 4秒 5秒 10秒	4 分割画面表示しているときに、カメラチャンネルブロッグごとに自動切換表示の間隔を設定します。 切 : カメラチャンネルの自動切り換えをしません。 1秒 : カメラチャンネルを 1 秒間隔で切り換えます。 2秒 : カメラチャンネルを 2 秒間隔で切り換えます。 3秒 : カメラチャンネルを 3 秒間隔で切り換えます。 4秒 : カメラチャンネルを 4 秒間隔で切り換えます。 5秒 : カメラチャンネルを 5 秒間隔で切り換えます。 10秒 : カメラチャンネルを 10 秒間隔で切り換えます。 ☞33 ページ「4 分割画面自動切り換え表示の切り換え時間を設定するには」
アラーム/センサー表示切換	●切 シーケンシャル 固定	アラーム/センサー信号が入ったときのモニター画面の切り換えを設定します。 切 : カメラ選択ボタンの設定に応じてモニター出力します。 シーケンシャル : アラームの発生したカメラのみ順次切り換えてモニター出力します。(切換時間は 1 秒に固定) 固定 : 最後にアラームの発生したカメラのみモニター出力します。 メモ • “シーケンシャル”、“固定” に設定してもカメラ選択ボタンでモニター画面表示の切り換えはできます。 • “固定” に設定しても、複数のアラームを同時に検出した場合は、アラームの発生したカメラの映像を交互に切り換えてモニター出力します。
分割画ボーダ設定	切 ボーダ 1 ボーダ 2 ●ボーダ 3	分割画の境界線の明るさを設定します。 ボーダ 1 : 暗い灰色 ボーダ 2 : 灰色 ボーダ 3 : 明るい灰色

アラーム／センサー記録設定画面

アラーム、センサー入力には VR-777 背面 [ALARM IN] 端子、SW-2200、モーションディテクトからの入力の 3 種類があります。

●は工場出荷時設定です。(記録中は設定できません。)

項目	設定値	内容
入力ブロック	●1 2 3 4	アラームもしくは、センサー記録設定をするカメラチャンネルブロックを選択します。 1：カメラチャンネル 1～4 の設定ができます。 2：カメラチャンネル 5～8 の設定ができます。 3：カメラチャンネル 9～12 の設定ができます。 4：カメラチャンネル 13～16 の設定ができます。
記録モード	●アラーム センサー アラーム／センサー	アラーム記録とセンサー記録に関する設定をします。 アラーム：VR-777 が通常記録中のときだけ、アラーム記録を始めます。 センサー：VR-777 が停止中のときだけ、センサー記録を始めます。 アラーム／センサー：通常記録中にはアラーム記録が、停止中にはセンサー記録が始まります。 ☞64 ページ「外部からのアラーム／センサー信号で記録を始める」
記録コマ数	●1 秒に 30 コマ 1 秒に 15 コマ 1 秒に 10 コマ 1 秒に 5 コマ	アラーム記録時の記録コマ数を設定します。設定値は 1 秒間に記録するコマ数です。
記録画質	●H N B L	アラーム記録時の画質を設定します。 H：HIGH (高画質記録) N：NORMAL (普通画質記録) B：BASIC (中画質記録) L：LONG (長時間画質記録)
記録時間	10 秒 15 秒 30 秒 1 分 2 分 ●3 分 5 分 マニュアル	アラームもしくは、センサー記録する時間を設定します。 10 秒～5 分：アラーム／センサー記録をする時間です。 マニュアル：アラーム信号が入力されている間、アラーム／センサー記録を続けます。(最大 20 分) モーションディテクトでのアラームもしくはセンサー記録時、最後のセンサー検出から 10 秒間の記録となります。 SW-2200 接続でのアラームもしくは、センサー記録時は、最後のセンサー検出から 1 分間の記録となります。
音声記録	●入 切	音声信号を記録するかどうかの設定をします。 入：音声信号を記録します。 切：音声信号を記録しません。
プリセンサー記録	入 ●切	プリセンサー記録をするかどうかの設定です。 プリセンサー記録をするときは“入”に設定してください。 ☞114 ページ「プリセンサー記録について」
プリセンサー記録時間	●10 秒 20 秒 30 秒	プリセンサー記録の記録時間を設定します。 10 秒：10 秒～20 秒間プリセンサー記録をします。 20 秒：20 秒～30 秒間プリセンサー記録をします。 30 秒：30 秒～60 秒間プリセンサー記録をします。 ☞114 ページ「プリセンサー記録について」

メニューについて (つづき)

アラーム／センサー記録設定画面 (つづき)

●は工場出荷時設定です。記録中は設定できません。

項目	設定値	内容
外部入力動作設定	●切 入 通常動作時 タイマー設定時	本機の信号入出力端子 [ALARM IN] と SW-2200 接続時のアラームもしくは、センサー記録動作設定をします。 切 : アラーム／センサー記録は動作しません。 入 : アラーム／センサー記録がはたらきます。 通常動作時 : プログラムタイマースタンバイ状態以外でアラーム／センサー記録がはたらきます。 タイマー設定時 : プログラムタイマースタンバイ状態でアラーム／センサー記録がはたらきます。 ☞64 ページ「外部からのアラーム／センサー信号で記録を始める」
モーションディテクト動作設定	●切 入 通常動作時 タイマー設定時	モーションディテクトでのアラームもしくは、センサー記録動作設定をします。 切 : モーションディテクト機能は動作しません。 入 : モーションディテクト機能がはたらきます。 通常動作時 : プログラムタイマースタンバイ状態以外でモーションディテクト機能がはたらきます。 タイマー設定時 : プログラムタイマースタンバイ状態でモーションディテクト機能がはたらきます。 ☞66 ページ「モーションディテクト機能を使う」
モーションディテクト詳細設定		
シーン	●標準 マニュアル 出入口 高 出入口 低 通路 高 通路 低 レジ／両替機 高 レジ／両替機 低 ATM 高 ATM 低 ロビー 高 ロビー 低 通用門 高 通用門 低 駐車場 高 駐車場 低 低照度監視 高 低照度監視 低 エレベーター カウンタ	モーションディテクト機能の感度を設定します。 シーンを選択することにより、感度が設定されます。 マニュアルを選択した場合、さらに次の設定ができます。 カメラ別詳細設定 検出感度 1 ~ 15 (工場出荷時設定: 7) 停止感度 +0 ~ 14 (工場出荷時設定: +3) 対象サイズレベル 1 ~ 10 (工場出荷時設定: 2) ☞66 ページ「モーションディテクト機能を使う」 検出感度 : 検出のレベル値で、大きいほど感度が高くなります。 停止感度 : 検出感度オフセット値で、大きいほどアラーム検出が途切れにくくなります。 ※検出感度と停止感度を加算した値が 15 まで有効です。それ以上の値を設定した場合は、設定画面終了時に自動的に最大値に調整されます。 対象サイズレベル : 検出する物体の大きさのレベル値で、大きいほど小さい物体の動きを検出しにくくなります。 出入口 : 建物内のドア、店舗入口のドアの開閉や人の出入りを感知します。 通路 : 学校・企業の廊下や店舗連絡通路での人の往来を感知します。 レジ／両替機 : 店舗のレジ・遊技場の両替機などを操作する人の動作や、順番待ちの人の交替を感知します。 ATM : 銀行・郵便局の ATM 端末のブース入口で使用者の交替を感知します。 ロビー : 広いロビーで移動している人の動きを感知します。 通用門 : 薄暗い出入口や従業員専用出入口などのドアの開閉や、人の出入りを感知します。 駐車場 : 屋内外の駐車場の出入口での車の出入りを感知します。 低照度監視 : 暗い屋内外で移動する人の動きを感知します。 エレベーター : エレベーターのドアの開閉や人の出入りを感知します。 カウンタ : ホテルや企業・店舗の受付カウンターでの来客の出入りを感知します。 ※シーン設定は目安です。ご希望の感度に設定されない場合は他の設定も試してみてください。
エリア設定		モーションディテクト機能を使って、動き検出するエリアを設定します。 ☞66 ページ「モーションディテクト機能を使う」

プログラムタイマー設定画面

記録中は設定できません。

項目	設定値	内容
週間タイマー設定		週間プログラムタイマーを設定するための、週間タイマー設定画面を開きます。 ☞44 ページ「プログラムタイマーで記録予約する (週間タイマー)」
開始/終了曜日	日、月、火、水、木、金、土、毎日	毎週もしくは毎日決められた時間に記録を開始・終了することができます。記録を開始・終了する曜日 (または毎日) を設定します。開始・終了する時間は、次の項目、「開始/終了時間 (時)」、「開始/終了時間 (分)」で設定します。 日～土：記録を開始・終了する曜日を設定します。 毎 日：毎日、決まった時間に記録を開始・終了します。また、記録する曜日を指定することもできます。
開始/終了時間 (時)	00～23	タイマーの開始・終了の時間 (時桁) を設定します。
開始/終了時間 (分)	00～59	タイマーの開始・終了の時間 (分桁) を設定します。
記録コマ数	30 15 10 5 3 2 1 1/2 1/5 1/10	記録するコマ数を設定します。 30 : 1秒に30コマ 15 : 1秒に15コマ 10 : 1秒に10コマ 5 : 1秒に5コマ 3 : 1秒に3コマ 2 : 1秒に2コマ 1 : 1秒に1コマ 1/2 : 2秒に1コマ 1/5 : 5秒に1コマ 1/10 : 10秒に1コマ メモ • [記録コマ数]を“5秒に1コマ”“10秒に1コマ”に設定すると[音声記録]は“—”になります。
記録画質	H N B L	記録する映像の画質を設定します。 H : HIGH (高画質記録) N : NORMAL (普通画質記録) B : BASIC (中画質記録) L : LONG (長時間画質記録)
音声記録	A —	音声信号を記録するかどうかの設定をします。 A : 音声信号を記録します。 — : 音声信号を記録しません。 メモ • メニューの[記録コマ数]項目を“5秒に1コマ”“10秒に1コマ”に設定すると自動的に“—”になります。
実行	切 入 毎週 入■ 毎週■	タイマーの入、切を設定します。 入 : 設定した曜日、時間などで1回実行したのち“切”となります。(ただし、開始曜日を毎日に設定した場合は“入”のままとなります。) 切 : タイマーを実行しません。 毎週 : 毎週設定した範囲でタイマー動作します。ただし、“開始/終了曜日”を“毎日”に設定した場合は選択できません。 入■ : “入”と同じ動作をしますが、タイマー記録中はモーションディテクトが停止します。項目は黄色の文字で表示され画面右下に“■ : MD切”の文字があらわれます。 毎週■ : “毎週”と同じ動作をしますが、タイマー記録中はモーションディテクトが停止します。項目は黄色の文字で表示され、画面右下に“■ : MD切”の文字があらわれます。

メニューについて (つづき)

プログラムタイマー設定画面 (つづき)

●は工場出荷時設定です。

項目	設定値	内容																					
日付指定タイマー設定		1つのプログラムを指定した日付けで実行します。 日付指定プログラムタイマーを設定するための、「日付指定タイマー設定」画面を表示します。 ☞50ページ「プログラムタイマー (日付け指定タイマー)」																					
開始/終了時間 (時)	00 ~ 23	タイマーの開始・終了の時間 (時桁) を設定します。																					
開始/終了時間 (分)	00 ~ 59	タイマーの開始・終了の時間 (分桁) を設定します。																					
記録コマ数	30 15 10 5 3 2 1 1/2 1/5 1/10	記録するコマ数を設定します。 30 : 1秒に30コマ 2 : 1秒に2コマ 15 : 1秒に15コマ 1 : 1秒に1コマ 10 : 1秒に10コマ 1/2 : 2秒に1コマ 5 : 1秒に5コマ 1/5 : 5秒に1コマ 3 : 1秒に3コマ 1/10 : 10秒に1コマ メモ • [記録コマ数]を“5秒に1コマ”“10秒に1コマ”に設定すると[音声記録]は“—”になります。																					
記録画質	H N B L	記録する映像の画質を設定します。 H : HIGH (高画質記録) N : NORMAL (普通画質記録) B : BASIC (中画質記録) L : LONG (長時間画質記録)																					
音声記録	A —	音声信号を記録するかどうかの設定をします。 A : 音声信号を記録します。 — : 音声信号を記録しません。 メモ • メニューの[記録コマ数]項目を“5秒に1コマ”“10秒に1コマ”に設定すると自動的に“—”になります。																					
実行	入 切 入■	設定したタイマー記録の入、切を設定します。 入 : 毎年設定した日付で記録を開始します。 切 : タイマーを実行しません。 入■ : “入”と同じ動作をしますが、タイマー記録中はモーションディテクトが停止します。項目は黄色の文字で表示され画面右下に“■ : MD切”の文字があらわれます。																					
開始月日 (月)	1 ~ 12	タイマー記録の実行日 (月桁) を設定します。																					
開始月日 (日)	1 ~ 31	タイマー記録の実行日 (日桁) を設定します。 メモ • 実行日付を2月28日、実行終了日を翌日とした場合、プログラムの終了日は、閏年では2月29日となり、閏年以外では3月1日となります。																					
タイマー解除後動作	継続 通常記録 ●停止	タイマー記録中もしくはタイマースタンバイ中にタイマーボタンを押し、タイマー解除をしたとき、または全てのタイマー記録が終了したときの動作を設定します。 継続 : タイマー記録中の解除では、停止ボタンを押すまでタイマー記録の設定のまま記録を継続します。タイマースタンバイ中の解除や全タイマー記録が終了したときは、停止のままになります。 通常記録 : プログラムタイマーでの記録を停止し、「入力記録設定」(☞22ページ)で設定した記録モードで記録を再開します。 停止 : プログラムタイマー設定での記録を、その場で停止します。																					
タイマー解除時の動作は、「タイマー解除後動作」の各設定によって、以下のようになります。																							
		<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">タイマー解除時の状態</th> </tr> <tr> <th>タイマー記録中</th> <th>タイマースタンバイ中</th> <th>全プログラム終了</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">設定値</th> <th>継続</th> <td>タイマー記録状態を継続</td> <td>停止</td> <td>停止</td> </tr> <tr> <th>通常記録</th> <td>通常記録開始</td> <td>通常記録開始</td> <td>通常記録開始</td> </tr> <tr> <th>停止</th> <td>停止</td> <td>停止</td> <td>停止</td> </tr> </tbody> </table>			タイマー解除時の状態			タイマー記録中	タイマースタンバイ中	全プログラム終了	設定値	継続	タイマー記録状態を継続	停止	停止	通常記録	通常記録開始	通常記録開始	通常記録開始	停止	停止	停止	停止
		タイマー解除時の状態																					
		タイマー記録中	タイマースタンバイ中	全プログラム終了																			
設定値	継続	タイマー記録状態を継続	停止	停止																			
	通常記録	通常記録開始	通常記録開始	通常記録開始																			
	停止	停止	停止	停止																			

ネットワーク設定画面

●は工場出荷時設定です。(記録中は設定できません。)

項目	設定値	内容
ホスト名	vr777	VR-777をネットワークにつないだときに、ネットワーク上で自機をあらわす名前を設定します。 ☞ 95 ページ「パソコンから VR-777 のネットワーク設定を変える」
設定方法	●固定 IP DHCP 切	IP アドレスの設定方法を選択します。 固定 IP : DHCPサーバを使用しないでネットワークにつなぐときに設定します。“固定 IP アドレス”を選択したときは、[IP アドレス][ネットマスク][デフォルトゲートウェイ]項目の設定が必要です。 DHCP : DHCPサーバを使用してネットワークにつなぐときに設定します。[IP アドレス][ネットマスク][デフォルトゲートウェイ]項目は DHCPサーバにより自動で割り付けられます。DHCPに設定したときは一旦 IP アドレスがマスクされますが、ネットワーク設定画面を抜けた後、再度表示することで IP アドレスが表示されます。 切 : ネットワークにはつながません。 ☞ 95 ページ「パソコンから VR-777 のネットワーク設定を変える」
IP アドレス	192.168.0.10	IP アドレス、ネットマスク、デフォルトゲートウェイ、ネームサーバーの設定をします。 メニュー[ネットワーク設定]画面の[設定方法]項目“固定 IP アドレス”を選択したときは設定が必要です。ネットワーク内で IP アドレスが重複しないようにしてください。 ☞ 95 ページ「パソコンから VR-777 のネットワーク設定を変える」 メモ ・メニュー[ネットワーク設定]画面の[設定方法]項目“DHCP アドレス”を選択したときの設定はできません。(ネームサーバーのみ変更することができます。)
ネットマスク	255.255.255.0	
デフォルトゲートウェイ	192.168.0.254	
ネームサーバー	***.***.***.***	
MAC アドレス		製品固有の物理アドレスです。表示されるだけで変更することはできません。

※ネットワーク設定を変更した場合、モニター画面に“IP アドレス設定中”と表示されます。その間操作は一切できません。

ディスクユーティリティ／保守画面

●は工場出荷時設定です。(記録中は設定できません。)

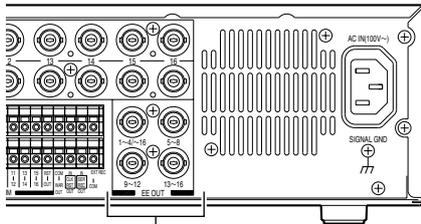
項目	設定値	内容
ディスクユーティリティ		
オートスキャンディスク	入 ●切	VR-777の電源を“ON”したときにスキャンディスクするかどうかの設定をします。 切：スキャンディスクしません。 入：電源 ON 時にスキャンディスクを始めます。 ☞ 53 ページ「ハードディスクのデータを検査する (オートスキャンディスク)」
マニュアルスキャンディスク	入 ●切	“入”に設定し、オンスクリーンのメッセージに従い操作をすすめると、スキャンディスクが始まります。 ☞ 54 ページ「ハードディスクのデータを検査する (マニュアルスキャンディスク)」
データベース再構築自動設定	01 日、00 時 設定 入 ●切	データベースの再構築をします。 データベースの再構築をするときは、オンスクリーンのメッセージに従い操作を進めてください。 ☞ 55 ページ「データベースの再構築」
データベース再構築	する ●しない	
フォーマット	する ●しない	ハードディスクのフォーマットをします。 フォーマットをするときは、オンスクリーンのメッセージに従い操作を進めてください。 ☞ 56 ページ「ハードディスクを初期化する (フォーマット)」
ミラーリング設定	する ●しない	ミラーリングの設定をします。 ミラーリング設定をするときは、オンスクリーンのメッセージに従い操作を進めてください。 ☞ 57 ページ「ハードディスクをミラーリング設定する」
保守		
使用時間		使用時間が表示されます。
停電時刻リスト		停電を検出した時の時刻を表示しています。[キャンセル] ボタンでリストの削除ができます。
システム再起動	する ●しない	システムの再起動をします。 システムの再起動をするときは、オンスクリーンのメッセージに従い操作を進めてください。

ふだんの使いかた

カメラのライブ映像を見る

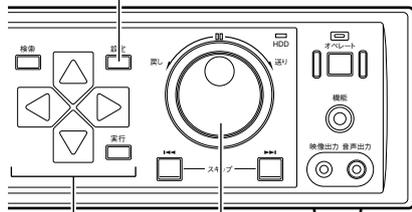
モニターを [EE OUT] 端子につなぐ場合

[EE OUT] 端子に接続したモニターでは、現在映しているライブ映像のみを見ることができます。録画した映像の再生や、メニュー画面の表示をすることはできません。



EE OUT端子

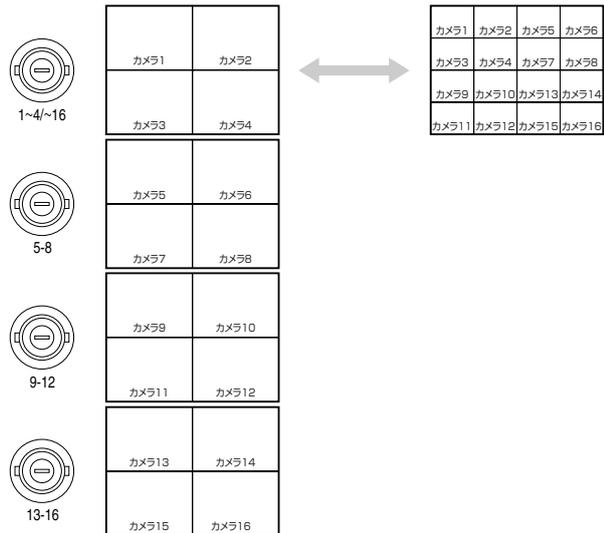
1.4.



2.

3.

■端子につなぐとモニターには次の画面が表示されます



■16分割画面の表示方法

メモ

- [EE OUT] 端子にモニターを接続した場合でも、メニューの「入力記録設定」(☞22ページ)で「入カブロック」項目の1~4ブロックの[カメラ1~カメラ16]項目の設定値を1ブロックごとに1つだけ「入」にすると「モニター表示設定」(☞24ページ)4分割に設定してもモニター画面上には1画面しか表示されません。また、16分割に設定した場合は4分割で表示されます。
- 「入力記録設定」(☞22ページ)でカメラ1~カメラ4(入カブロック1を選択時)の設定を「切」にした場合、画面は黒くなり記録されません。

1. [設定]を押す

- 20ページの「メニューの設定を変える」の操作に従い、「モニター表示設定」画面を表示させます。

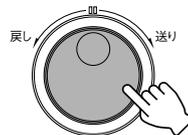


モニター表示設定	
1. EE OUT1~4/~16	4分割
2. 1画面シークンシャル設定	
3. 4分割画面自動切替設定	
ブロック 1	1秒
ブロック 2	1秒
ブロック 3	1秒
ブロック 4	1秒
4. アラーム/センサー表示切替	切
5. 分割画ボータ設定	切

2. [▽]を押してカーソルを「EE OUT 1~4/~16」に合わせる



3. ジョグダイヤルを回し「16分割」を選ぶ



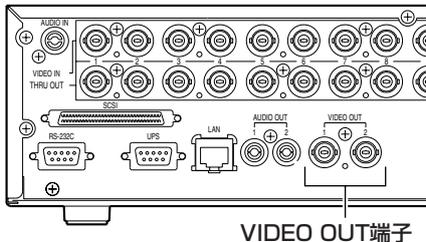
モニター表示設定	
1. EE OUT1~4/~16	16分割
2. 1画面シークンシャル設定	
3. 4分割画面自動切替設定	
ブロック 1	1秒
ブロック 2	1秒
ブロック 3	1秒
ブロック 4	1秒
4. アラーム/センサー表示切替	切
5. 分割画ボータ設定	切

4. [設定]を押して終了する

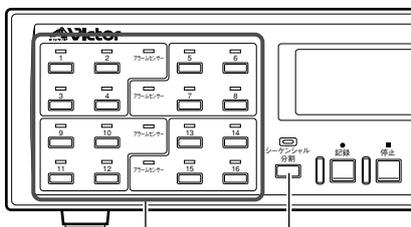


モニターを [VIDEO OUT] 端子につなぐ場合

[VIDEO OUT] 端子に接続したモニターでは、現在映しているライブ映像、録画した映像の再生画やメニュー画面の表示がされます。



VIDEO OUT端子

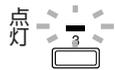


カメラ選択ボタン シーケンシャル分割ボタン

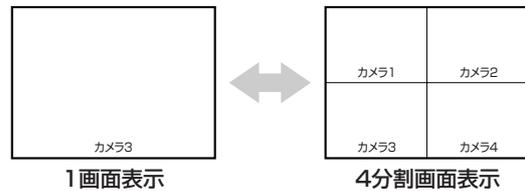
メモ

- カメラ選択ボタンを押す場合、メニューの「入力記録設定」(P.22ページ)の「入カブロック」項目の1～4ブロックの「カメラ1～カメラ16」の設定値が、複数“入”になっている場合の動作です。このとき、“切”になっているカメラを選択すると、黒い映像が出力されます。また、1ブロックに1つだけ“入”にすると、“入”に設定されているカメラ画像のみ表示します。
- シーケンシャル分割ボタンを押して、画面を切り換える場合、切り換える前に表示されている画像が一瞬とまります。

■カメラ選択ボタンを押すとモニターには次の画面が表示されます



点灯： ボタンを押すたびに次のように切り換ります。

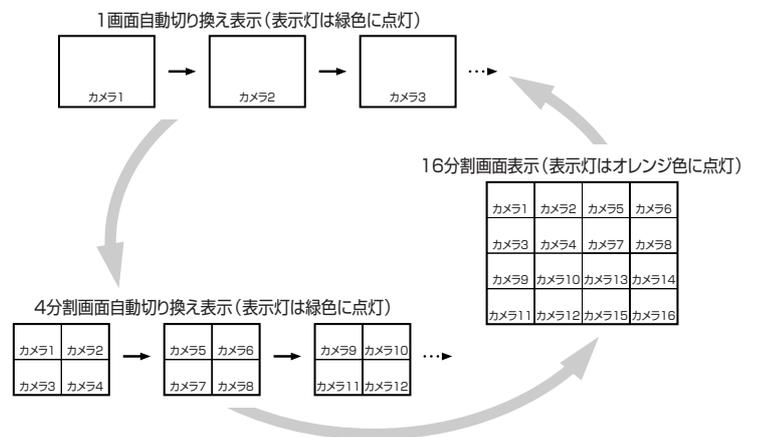


■シーケンシャル分割ボタンを押すとモニターには次の画面が表示されます。



シーケンシャル分割

分割： ボタンを押すたびに次のように切り換ります。



■ 1画面自動切り換え表示の切り換え時間を設定するには

P.32ページ

■ 4分割画面自動切り換え表示の切り換え時間を設定するには

P.33ページ

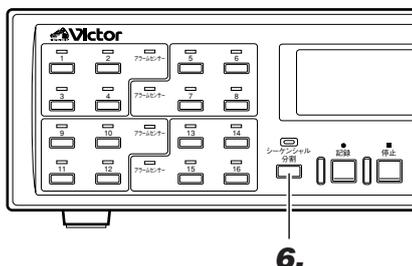
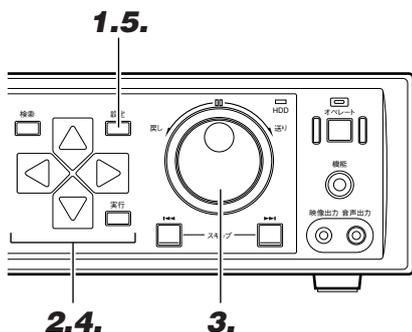
ふだんの使いかた (つづき)

カメラのライブ映像を見る

1 画面自動切り換え表示の切り換え時間を設定するには

カメラ1～カメラ16までの映像を設定した時間ごとに1カメラずつ切り換えてモニター画面に表示することができます。

モニターは [VIDEO OUT] 端子につなぎます。



メモ

• 1画面自動切り換えで表示することができるのは、「入力記録設定」項目(☞22ページ)で、各ブロック入力のカメラ設定が“入”になっており、「モニター表示設定」項目(☞24ページ)の1画面シーケンシャル設定が、“切”以外になっている場合です。

1. [設定]を押す

- 20ページの「メニューの設定を変える」の操作に従い、「モニター表示設定」→「1画面シーケンシャル設定」画面を表示させます。



1. カメラ 1	1秒	9. カメラ 9	1秒
2. カメラ 2	1秒	10. カメラ 10	1秒
3. カメラ 3	1秒	11. カメラ 11	1秒
4. カメラ 4	1秒	12. カメラ 12	1秒
5. カメラ 5	1秒	13. カメラ 13	1秒
6. カメラ 6	1秒	14. カメラ 14	1秒
7. カメラ 7	1秒	15. カメラ 15	1秒
8. カメラ 8	1秒	16. カメラ 16	1秒

←リターン

2. [▽]を押してカメラ番号を選ぶ

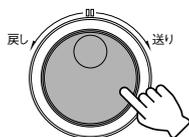
- モニター表示時間を変えたいカメラ番号にカーソルを合わせます。



1. カメラ 1	1秒	9. カメラ 9	1秒
2. カメラ 2	1秒	10. カメラ 10	1秒
3. カメラ 3	1秒	11. カメラ 11	1秒
4. カメラ 4	1秒	12. カメラ 12	1秒
5. カメラ 5	1秒	13. カメラ 13	1秒
6. カメラ 6	1秒	14. カメラ 14	1秒
7. カメラ 7	1秒	15. カメラ 15	1秒
8. カメラ 8	1秒	16. カメラ 16	1秒

←リターン

3. ジョグダイヤルを回してモニター表示時間を選ぶ



- 右に回す：時間が増えます。
- 左に回す：時間が減ります。

4. [▽]を押して「←：リターン」にカーソルを合わせ[△]を押す

- 「モニター表示設定」画面に戻ります。



1. カメラ 1	1秒	9. カメラ 9	1秒
2. カメラ 2	1秒	10. カメラ 10	1秒
3. カメラ 3	1秒	11. カメラ 11	1秒
4. カメラ 4	1秒	12. カメラ 12	1秒
5. カメラ 5	1秒	13. カメラ 13	1秒
6. カメラ 6	1秒	14. カメラ 14	1秒
7. カメラ 7	1秒	15. カメラ 15	1秒
8. カメラ 8	1秒	16. カメラ 16	1秒

←リターン

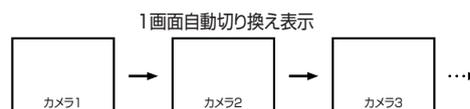
5. [設定]を押して終了する

- 通常画面に戻ります。



6. [シーケンシャル・分割]を押して一画面自動切り換え表示を選ぶ

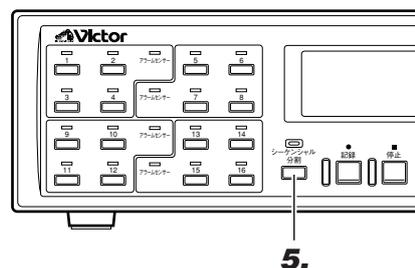
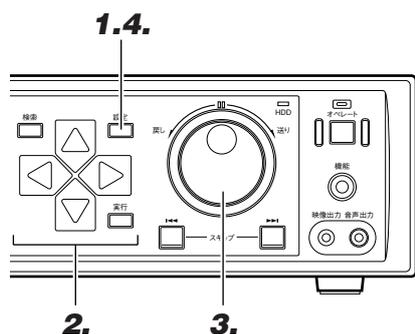
- モニター画面の自動切り換えが始まります。
- 表示灯が緑色に点灯します。



4分割画面自動切り換え表示の切り換え時間を設定するには

モニター画面上に4分割画面をブロックごと(ブロック1:カメラ1~カメラ4、ブロック2:カメラ5~カメラ8、ブロック3:カメラ9~カメラ12、ブロック4:カメラ13~カメラ16)に切り換え表示します。

モニターは [VIDEO OUT] 端子につながります。



1. [設定]を押す

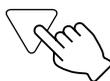
- 20ページの「メニューの設定を変える」の操作に従い、「モニター表示設定」画面を表示させます。



モニター表示設定	
1. EE OUT1~4/~16	4分割
2. 1画面シーケンシャル設定	▶
3. 4分割画面自動切換設定	
ブロック 1	1秒
ブロック 2	1秒
ブロック 3	1秒
ブロック 4	1秒
4. アラーム/センサー表示切換	切
5. 分割画面ボタ設定	切

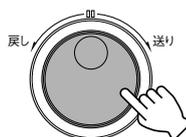
2. [▽]を押して「4分割自動切換設定」のブロック番号を選ぶ

- モニター表示時間を変えたいカメラブロック番号にカーソルを合わせます。



モニター表示設定	
1. EE OUT1~4/~16	4分割
2. 1画面シーケンシャル設定	▶
3. 4分割画面自動切換設定	
ブロック 1	1秒
ブロック 2	1秒
ブロック 3	3秒
ブロック 4	1秒
4. アラーム/センサー表示切換	切
5. 分割画面ボタ設定	切

3. ジョグダイヤルを回してモニター表示時間を選ぶ



メモ

- 4分割画面自動切り換えで表示することができるのは、「入力記録設定」(P22ページ)で、対応するブロックの内で複数のカメラの設定が、「入」になっており、「モニター表示設定」(P24ページ)の「4分割画面自動切換設定」項目が「切」以外の設定になっている場合です。ブロック内で、1つのカメラしか「入」になっていない場合は1画面表示となります。
- ブロック番号ごとの表示されるカメラ映像は次の通りです。

ブロック1 :	カメラ1	カメラ2
	カメラ3	カメラ4
ブロック2 :	カメラ5	カメラ6
	カメラ7	カメラ8
ブロック3 :	カメラ9	カメラ10
	カメラ11	カメラ12
ブロック4 :	カメラ13	カメラ14
	カメラ15	カメラ16

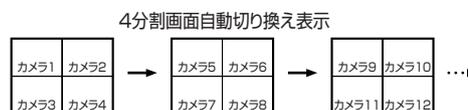
4. [設定]を押して終了する

- 通常画面に戻ります。



5. [シーケンシャル・分割]を押して4分割画面自動切り換え表示を選ぶ

- 4分割モニター画面の自動切り換えが始まります。
- 表示灯が緑色に点灯します。



ふだんの使いかた (つづき)

カメラ映像を記録する

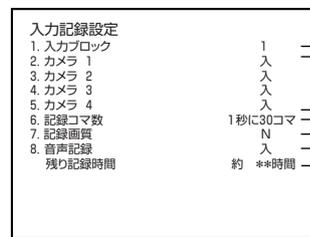
通常記録をする

1. [設定]を押す

- 20ページの「メニューの設定を変える」の操作に従い、「入力記録設定画面」を表示させ、記録に必要なメニュー項目を設定します。



●記録に関する主なメニュー項目



入力記録設定するカメラチャンネルブロックを選びます。

- ・ブロック1：カメラ1～カメラ4
- ・ブロック2：カメラ5～カメラ8
- ・ブロック3：カメラ9～カメラ12
- ・ブロック4：カメラ13～カメラ16

記録するかどうかカメラ1台ずつ選んでいきます。

記録するコマ数を選びます。※

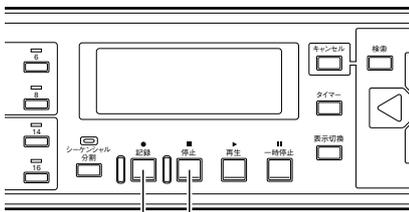
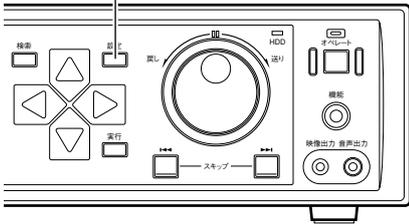
記録映像の画質を選びます。※

音声記録するかどうかを選びます。※

およその残り記録時間が表示されます。

※ブロックごとに設定してください

1.2.



3. [停止]ボタン

メモ

- 手順1.の設定で、ブロック内のすべてのカメラを“切”に設定した場合、記録されません。
- 「記録コマ数」に“5秒に1コマ”や“10秒に1コマ”を選んだときは、音声記録はできません。

2. [設定]を押して終了する

- メニューを終了して通常画面に戻ります。



3. [記録]を押す

- フロントディスプレイに記録マーク(○)が点灯し、記録が始まります。



■記録をやめる

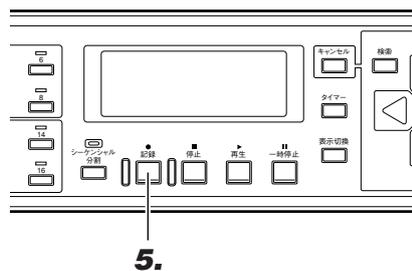
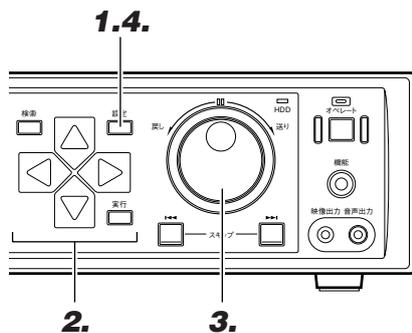
[停止]を押す



繰り返し記録をする(ループ記録)

VR-777は、ハードディスクの残容量がなくなると、ハードディスクの先頭から繰り返し上書きするループ記録機能を備えています。

☞ 113 ページ「ループ記録について」



1. [設定]を押す

- 20 ページの「メニューの設定を変える」の操作に従い「動作設定／外部記録設定」画面を表示させます。



動作設定／外部記録設定	
【動作設定】	
1. 停電復帰後記録	切
2. ループ記録	切
3. RS-232C接続	通常
4. 電子透かし画像	切
5. オペロック設定	すべて
【外部記録設定】	
1. 外部記録モード	切
2. シリウス記録設定	切

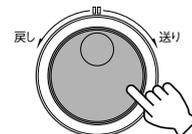
2. [▽]を押して「ループ記録」項目を選ぶ

- カーソルを合わせます。



3. ジョグダイヤルを回してループ記録の方法を選ぶ

☞ 113 ページ「ループ記録について」



動作設定／外部記録設定	
【動作設定】	
1. 停電復帰後記録	切
2. ループ記録	切
3. RS-232C接続	通常
4. 電子透かし画像	切
5. オペロック設定	すべて
【外部記録設定】	
1. 外部記録モード	切
2. シリウス記録設定	切

4. [設定]を押して終了する

- メニューを終了して通常画面に戻ります。



5. [記録]を押す

- フロントディスプレイに記録マーク(o)と、REPEAT 表示が点灯し、記録が始まります。



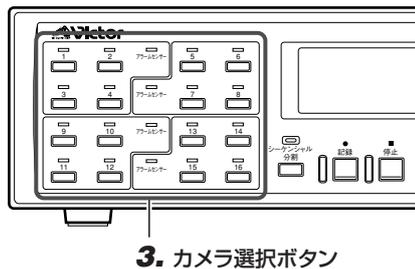
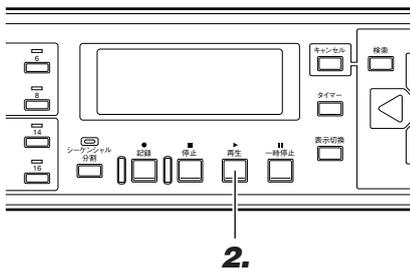
ふだんの使いかた (つづき)

記録した映像を見る

記録した映像を再生する

記録した映像を再生します。再生したい映像の検索方法として、見たい日付けの映像を探す、日時検索機能(☞38ページ)やアラーム／センサー入力時の映像を探す、アラーム／センサー検索機能(☞39ページ)があります。

再生映像を見るモニターは [VIDEO OUT] 端子につなぎます。



1. 見たい映像を探す

- 見たい日付けの映像を探します。(☞38ページ)
- 見たいアラーム、もしくはセンサーの映像を探します。(☞39ページ)

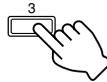
2. [再生]を押す

- フロントディスプレイに再生マーク(▷)が点灯し、再生が始まります。



3. [カメラ選択]を押す

- モニターに表示したいカメラ番号を選びます。



再生を一時停止する



- 再生を一時停止します。再び再生を始めるには [再生] を押します。

再生をやめる



- 再生を停止します。再生を停止すると、カメラのライブ映像に切り換わりします。このとき、一瞬画像が乱れることがあります。

メモ

- 手順1、2はどちらが先でも再生できます。
- 記録中に再生する記録同時再生モードの時、[停止] ボタンを押すと再生が止まり、もう一度 [停止] ボタンを押すと記録が止まります。
- 手順2で、選択されたカメラ番号に、その時間の映像がない場合、「指定した画像は記録されていません」「スキップボタンでジャンプします」と画面に表示されます。
- 記録同時再生モードのとき、記録開始直後に再生をしようと、画面に「再生可能な画像がありません。」と表示されることがあります。その場合は、1分程度記録を続けた後、再度、[再生] ボタンを押してください。

記録中に再生する(記録同時再生モード)

記録中に記録映像を見ることができます。記録中の映像には影響しません。

- フロントディスプレイに再生マーク(▷)と記録マーク(○)が交互に点滅します。

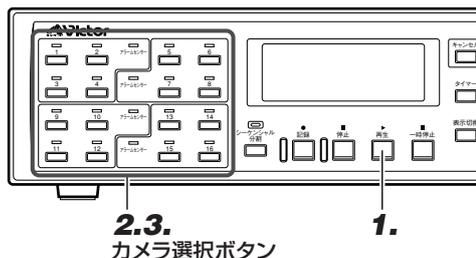


■記録同時再生モードでは次の再生が可能です。

- 通常の再生
- ダイレクトジャンプ再生 ☞38ページ「見たい日時映像を探す」
- ジョグ・シャトル再生 ☞40ページ「再生スピードを変える」
- スキップ再生 ☞41ページ「記録映像をスキップして見る」

記録した映像を分割画面で見る

再生映像を見るモニターは [VIDEO OUT] 端子につなぎます。



メモ

- 選択したカメラ番号の映像がない場合、「指定した画像は記録されていません。」と表示されます。[スキップ] ボタンでジャンプさせてください。
- 記録した映像を分割画面で見ることができるのは、選択したカメラのブロックの「入力記録設定」(P.22ページ)のカメラ選択で複数のカメラが“入”になっている場合です。
- 異なるブロック間でカメラ選択をする場合、「入力記録設定」(P.22ページ)が異なると、一瞬画像が乱れたり、違う時間表示をすることがあります。
- 記録した映像を 16 分割画面で見ることができません。

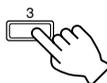
1. [再生]を押す

- フロントディスプレイに再生マーク(▶)が点灯し、再生が始まります。



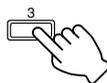
2. [カメラ選択]を押す

- モニターに表示したいカメラ番号を選びます。

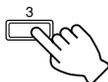


3. もう一度[カメラ選択]を押す

- モニターに4分割画面が表示されま



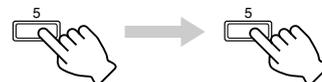
4 分割画面をやめる



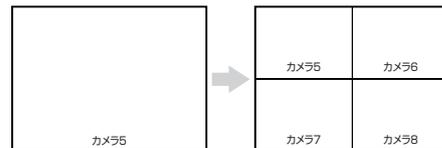
[カメラ選択] を押します。
モニターには選んだカメラ番号
の再生映像が表示されます。



他のカメラを分割画面で見る



モニターに表示させたいカメラ番号の
[カメラ選択] を 2 回押します。

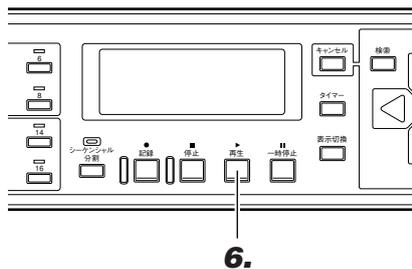
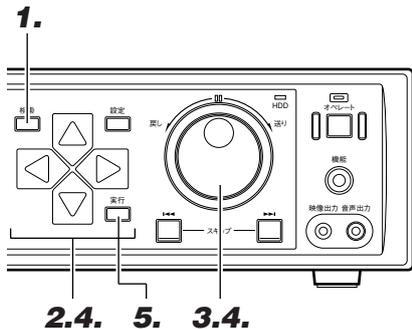


ふだんの使いかた (つづき)

記録した映像を見る

見たい日時の映像を探す(日時検索)

再生映像を見るモニターは [VIDEO OUT] 端子につながります。

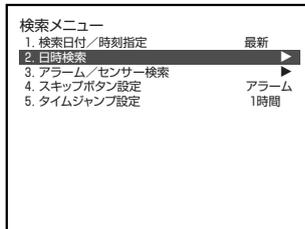


メモ

- 記録をしながら、日時検索することができます。
- 指定した日時の記録がなかったときは、指定日時以前で日時が一番近い記録映像の一時停止映像が表示されます。
- 検索日付/時刻指定で、「最新」を選択すると日時検索画面に入ったときの日時は、現在時刻が表示されます。「前回」を選択すると前回検索時の日時が表示されます。電源を切るとメモリーは消去され、現在日時になります。
(※ 39 ページのアラーム/センサー検索にも有効です。)

1. [検索]を押す

- 「検索メニュー」画面が表示されます。

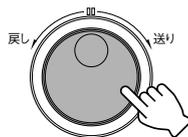


2. [▽]を押して「日時検索」項目にカーソルを合わせ[▶]を押す

- 「日時検索画面」が表示されます。



3. ジョグダイヤルを回して“年”を選ぶ

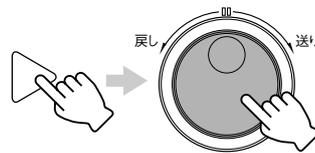


- 右に回す：数字が増えます。
- 左に回す：数字が減ります。



4. [▶]を押してジョグダイヤルを回し“月”を選ぶ

- 続いて[▶]とジョグダイヤルで“日”、“時”、“分”も選びます。



5. [実行]を押す

- 日時検索が始まります。検索が終わると選んだ日時の一時停止画面が表示されます。



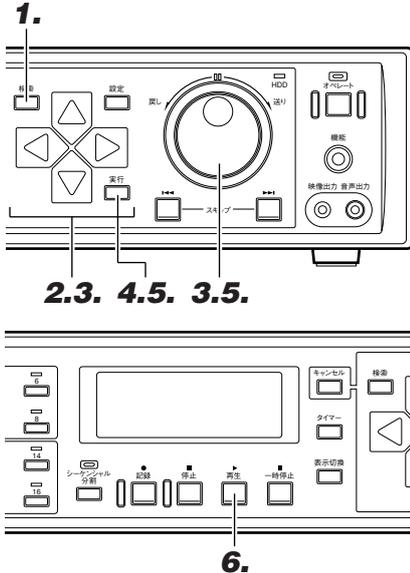
6. [再生]を押す

- 日時検索した映像の再生が始まります。



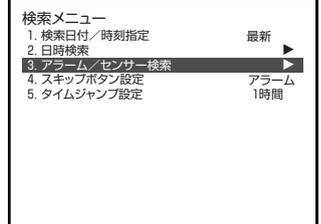
見たいアラーム、もしくはセンサーの映像を探す(アラーム/センサー検索)

再生映像を見るモニターは [VIDEO OUT] 端子につながります。



1. [検索]を押す

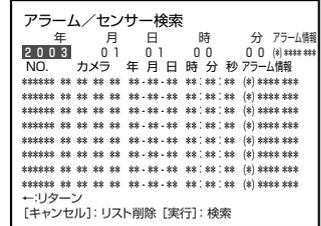
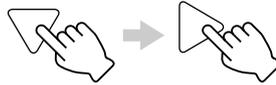
- 「検索メニュー」画面が表示されます。



2. [▽]を押して「アラーム/センサー検索」項目にカーソルを合わせ

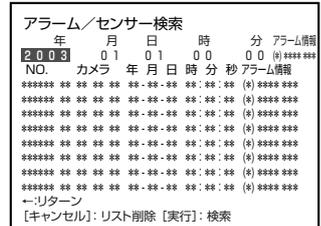
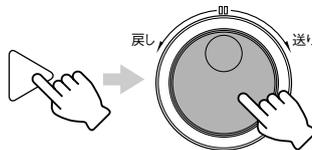
[▶]を押す

- 「アラーム/センサー検索画面」が表示されます。



3. ジョグダイヤルを回して“年”を選ぶ

- 続いて [▷] とジョグダイヤルで“月”、“日”、“時”、“分”を選びます。



<アラーム記録リストの削除のしかた>

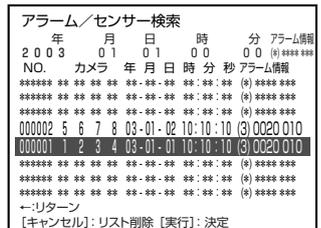
- アラーム/センサー検索画面で[キャンセル]を押す。
→「アラーム記録削除確認画面」が表示される。[実行]を押す。
→ハードディスク内のアラーム記録リストがすべて削除されます。(削除を中止したい場合は、[キャンセル]ボタンを押してください。)
- アラーム記録を削除すると、アラーム情報が消えるので、アラーム検索できなくなります。この時、アラーム記録されていた画像自体は通常記録画像になり、削除はされません。
- 記録中は、アラーム記録リストの削除はできません。([「キャンセル」: リスト削除]の表示が消えます。)

メモ

- 複数のアラームが同時に発生すると、1つのアラームリストに最大4つのカメラ番号が登録されることがあります。その場合、再生すると、数字の小さいカメラ番号の映像が再生されます。他のカメラの映像が見たい場合は、カメラ選択ボタンで見たいカメラ番号を選択してください。
- 設定した日時のアラーム記録がないときは、一番近いアラーム記録が選ばれます。
- アラームリストが表示されているとき、[スキップ]ボタンにより、100件単位のアラームリストのジャンプスクロールができます。
- アラーム検索リストのアラームNo. が7桁以上になる場合は、下位6桁のみ表示されます。
- SW-2000接続時、[アラーム情報]を“*”以外に設定することにより、アラーム情報全ての検索ができます。
- アラーム情報は、SW-2000からのアラーム記録に対して有効となります。[(カテゴリ)ポジション番号 種別]が表示されます。
- アラーム件数が多くなると検索に時間がかかりますので、頻繁にアラームを受付けるご使用はおすすめできません。

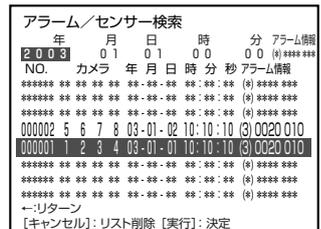
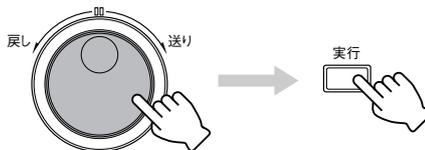
4. [実行]を押す

- アラーム検索が始まります。検索が終わると設定日時前後のアラームリストが新しい順に表示されます。



5. ジョグダイヤルを回し、見たいアラームを選び[実行]を押す

- 選んだアラームの一時停止画面が表示されます。



6. [再生]を押す

- 選んだアラーム映像の再生が始まります。



ふだんの使いかた (つづき)

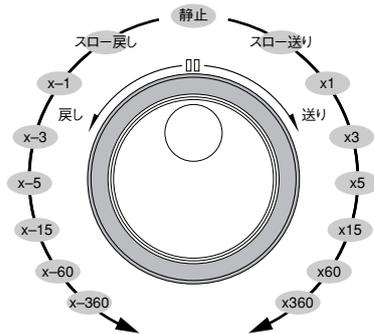
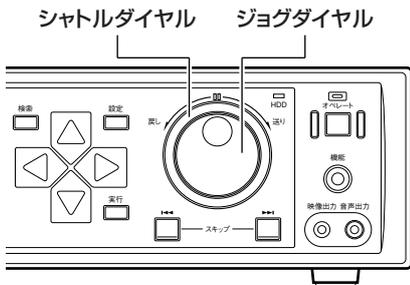
記録した映像を見る

再生速度を変える(ジョグ・シャトル再生)

ジョグ・シャトルダイヤルを回すことにより、再生速度を変えることができます。見たい画面を探すのに便利な機能です。

■シャトルダイヤルを回す

再生中に



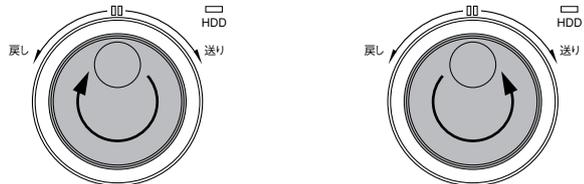
スロー再生、早送り、早戻し再生が始まります。

■ジョグダイヤルを回す

再生中に

メモ

- ジョグダイヤルを早く回した場合、ゆっくり回した場合にくらべて送られるコマ数が少なくなります。



正方向のコマ送り再生が始まります

逆方向のコマ送り再生が始まります

- ジョグダイヤルを回している間、コマ送り再生をします。回転をやめると、静止状態になります。

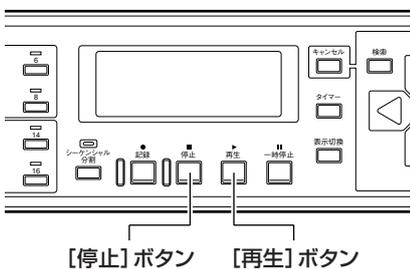
● ジョグ再生／シャトル再生をやめるには[停止]か[再生]を押します



モニターはカメラのライブ映像に切り換ります。

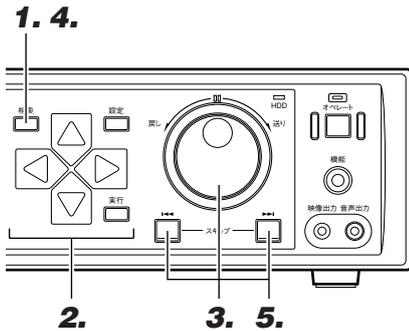


モニターは通常再生画面に切り換ります。



記録映像をスキップして見る

再生映像を見るモニターは [VIDEO OUT] 端子につなぎます。



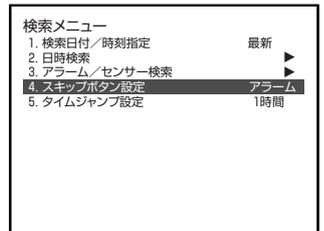
1. [検索]を押す

- 「検索メニュー」画面が表示されます。

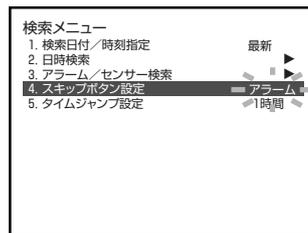


2. [▽]を押して「スキップボタン設定」項目を選ぶ

- カーソルを合わせます。



3. ジョグダイヤルを回してスキップの方法を選ぶ



タイム : タイムジャンプの設定になります
アラーム: アラームジャンプの設定になります
イベント: イベントジャンプの設定になります

4. [検索]を押して終了する

- メニューを終了して通常画面に戻ります。



5. 再生中に[スキップ]を押す

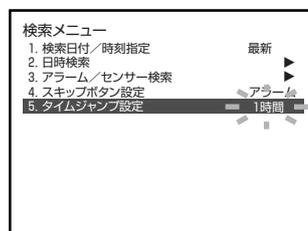
- ボタンを押すたびに再生映像がスキップします。



◀◀: 現在再生している映像より、古い映像にジャンプして、静止画再生状態になります。

▶▶: 現在再生している映像より、あたらしい映像にジャンプして、静止画再生状態になります。

■タイムジャンプ量を選ぶ



「検索メニュー」画面の「タイムジャンプ設定」項目で選ぶことができます。
☞ 115 ページ「スキップジャンプについて」

メモ

- 「タイムジャンプ設定」のジャンプ量は、次から設定できます。
1分、5分、10分、30分
1時間、4時間、1日、1週間
(工場出荷時は「1時間」に設定されています。)

ご注意

- 停止の状態です[スキップ]ボタン(◀◀)を押すと最も古いイベント、[スキップ]ボタン(▶▶)を押すと最もあたらしいイベントへのジャンプとなります。
- 日付・時刻の設定がされていないと、タイムジャンプは実行できません。
あらかじめ日付・時刻の設定をしてください。
☞ 15 ページ「日付・時刻を設定する」
- ハードディスク内に記録データがある状態で日付・時刻を変更すると、再生、スキップ、ジャンプ、日時ダイレクトジャンプなどの動作が正しく行われない場合があります。

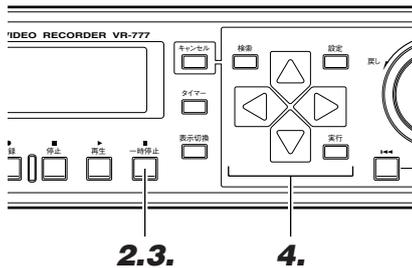
ふだんの使いかた (つづき)

記録した映像を見る

静止画を拡大して見る(再生静止画ズーム)

静止画を拡大して見ることができます。

再生映像を見るモニターは [VIDEO OUT] 端子につなぎます。



メモ

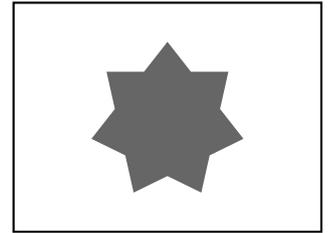
- 再生画面が4分割画面のときは、再生静止画ズームはできません。
- 設定の途中で[キャンセル]を押すと再生静止画ズームモードを解除できます。

1. 映像を再生する

- 36ページの「記録した映像を再生する」の手順1.~3.を操作します。

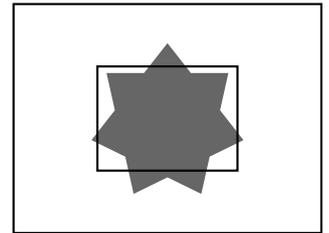
2. [一時停止]を押す

- 拡大して見たいところで押します。



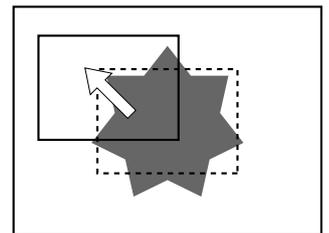
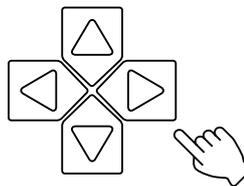
3. [一時停止]を長押しする

- 画面に拡大エリアのガイドボックスが表示されます。



4. [△ / ▽ / ◀ / ▶]を押す

- ガイドボックスを拡大したい画像上の位置に移動します。
- 同時押しで斜め移動できます。



ふだんの使いかた (つづき)

プログラムタイマーで記録予約する

週間タイマー(毎週決められた曜日と時間に記録を始める)

<設定例>

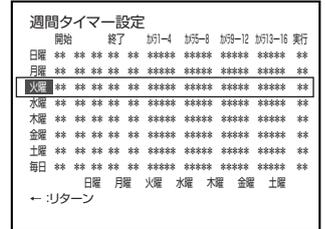
毎週金曜日の午前8:00~土曜の午後5:00に記録する。

■記録モード

- ・カメラ1~4
 - 記録コマ数 : 1秒に15コマ
 - 記録画質 : H
 - 音声記録 : 入
- ・カメラ5~8
 - 記録コマ数 : 1秒に30コマ
 - 記録画質 : N
 - 音声記録 : 入
- ・カメラ9~12
 - 記録コマ数 : 1秒に3コマ
 - 記録画質 : N
 - 音声記録 : 切
- ・カメラ13~16
 - 記録コマ数 : 2秒に1コマ
 - 記録画質 : B
 - 音声記録 : 切

1. [設定]を押す

- ・20ページの「メニューの設定を変える」の操作に従い、「プログラムタイマー設定」→「週間タイマー設定」画面を表示させます。

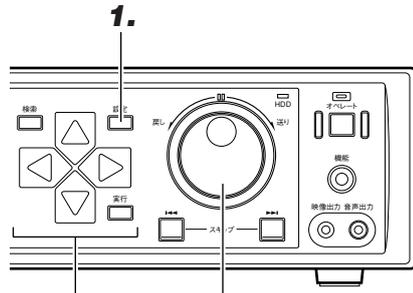
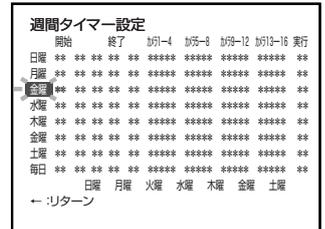
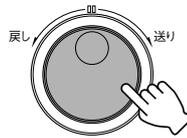


2. [▽]を押しプログラムを設定する行を選ぶ

- ・設定例として3行目にカーソルを合わせます。(どの行でも設定できます。)



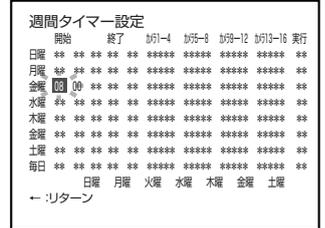
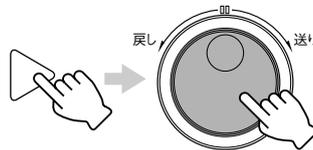
3. ジョグダイヤルを回し記録を始める“金曜”を選ぶ



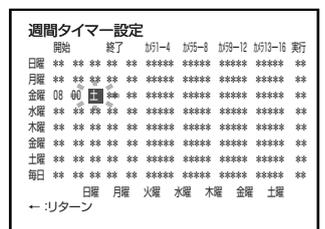
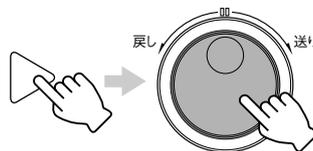
2.4.5. 3.4.5.

4. [▶]を押し、カーソルを開始“時”に合わせ、ジョグダイヤルを回して“08”を選ぶ

- ・開始“分”を選ぶには、[▶]を押してカーソルを“分”に合わせジョグダイヤルを回します。

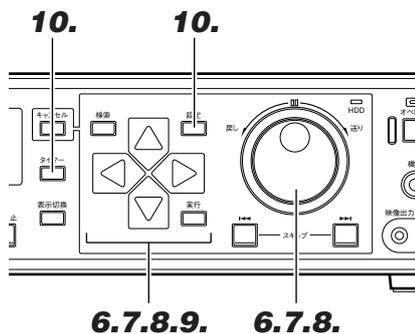


5. [▶]を押し、カーソルを終了“曜日”に合わせ、ジョグダイヤルを回して“土”を選ぶ



メモ

- ・週間タイマー設定の実行は、週間タイマー設定画面の1行単位での実行となり、複数行の設定が同時に実行される事はありません。
- ・予約が重なっている場合 [タイマー] ボタンを押すと、「OVER LAP」の文字がフロントディスプレイに表示され、約10秒間点滅した後点灯します。ただし、週間タイマーと日付け指定タイマーの設定が重なっているときは、「OVER LAP」の表示はされず、日付け指定タイマーの設定が優先されます。また、週間タイマー設定の中でも、毎日タイマーの設定をした場合、他のタイマー予約と重なっていても、「OVER LAP」表示されません。この場合、予約時間の早いプログラムが優先されます。
- ・「OVER LAP」の表示は、表示されるまでに20秒ほど時間がかかる場合があります。



6.7.8.9. 6.7.8.

メモ

- ブロック1(カメラ1~4)の「記録コマ数」「記録画質」「音声記録」の設定が、残りの全てのブロックにコピーされます。変更する場合はジョグダイヤルを回して変更してください。
- 記録をしたくないカメラのブロックがある場合は [キャンセル] ボタンを押して、設定を解除してください。
- 連続して記録ができるのは、1週間未満です。
- 「記録コマ数」「記録画質」「音声記録」の設定は、ブロックごと(カメラ1~4、カメラ5~8、カメラ9~12、カメラ13~16)にそれぞれ選ぶことができます。
- 「音声記録」が“*”のままだと、タイマーモードになりません。かならず“A”もしくは“-”を選んでください。

週間タイマー設定	
開始	終了
日曜 ** ** ** *	月曜 ** ** ** *
金曜 08 00 ± 17 00	15HA 30NA 3N- 1/2B- **
水曜 ** ** ** *	木曜 ** ** ** *
金曜 ** ** ** *	土曜 ** ** ** *
毎日 ** ** ** *	

←:リターン

15 H A
記録コマ数 | 音声:入
記録画質

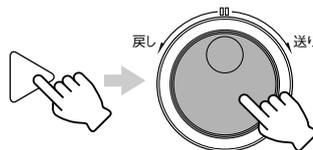
- タイマースタンバイ状態のときは、オペレートOFF操作と記録操作はできなくなります。
- 無効なタイマー設定を行なった後、タイマー設定画面を抜けると、無効なタイマー設定は、自動的に削除されます。その場合画面上に“無効タイマー設定を削除しました”と表示されます。この表示を消す時は [キャンセル] ボタンを押してください。
- 「実行」の項目を“毎週■”もしくは“入■”に設定すると、タイマー記録中のモーションディテクトを“切”にすることができます。ただし、停電復帰直後は、モーションディテクトによるセンサー記録が入る場合があります。

ご注意

- メニューの入力記録設定(☞22ページ)で、各ブロックのカメラ(カメラ1~カメラ4/カメラ5~カメラ8/カメラ9~カメラ12/カメラ13~カメラ16)の設定値を、すべて“切”にした場合、そのブロックは、プログラムタイマー記録されません。

6. [▶]を押しカーソルを終了“時”に合わせ、ジョグダイヤルを回して“17”を選ぶ

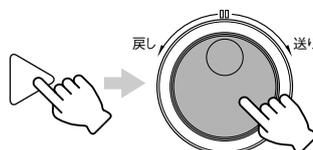
- 終了“分”を選ぶには、[▶]を押してカーソルを“分”に合わせジョグダイヤルを回します。



週間タイマー設定	
開始	終了
日曜 ** ** ** *	月曜 ** ** ** *
金曜 08 00 ± 17 00	15HA 30NA 3N- 1/2B- **
水曜 ** ** ** *	木曜 ** ** ** *
金曜 ** ** ** *	土曜 ** ** ** *
毎日 ** ** ** *	

←:リターン

7. [▶]を押し、ジョグダイヤルを回し、「記録コマ数」「記録画質」「音声記録」を選ぶ

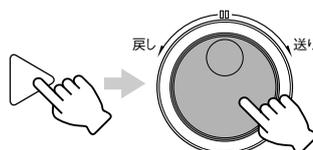


週間タイマー設定	
開始	終了
日曜 ** ** ** *	月曜 ** ** ** *
金曜 08 00 ± 17 00	15HA 30NA 3N- 1/2B- **
水曜 ** ** ** *	木曜 ** ** ** *
金曜 ** ** ** *	土曜 ** ** ** *
毎日 ** ** ** *	

←:リターン

8. [▶]を押し、実行の項目に合わせジョグダイヤルを回し“毎週”もしくは“毎週■”を選ぶ

- “毎週■”を選ぶと、曜日の列の文字が黄色になり、画面右下に“■:MD切”と表示されます。



週間タイマー設定	
開始	終了
日曜 ** ** ** *	月曜 ** ** ** *
金曜 08 00 ± 17 00	15HA 30NA 3N- 1/2B- ■
水曜 ** ** ** *	木曜 ** ** ** *
金曜 ** ** ** *	土曜 ** ** ** *
毎日 ** ** ** *	

←:リターン

9. [▽]を押し、「←:リターン」にカーソルを合わせ、[◀]を押し

- 「プログラムタイマー設定」画面が表示されます。

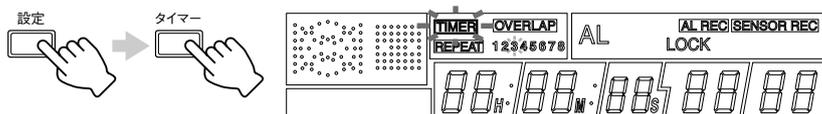


週間タイマー設定	
開始	終了
日曜 ** ** ** *	月曜 ** ** ** *
金曜 08 00 ± 17 00	15HA 30NA 3N- 1/2B- 毎週
水曜 ** ** ** *	木曜 ** ** ** *
金曜 ** ** ** *	土曜 ** ** ** *
毎日 ** ** ** *	

←:リターン

10. [設定]を押して通常画面にし、[タイマー]を押す

- フロントディスプレイの タイマー表示灯が点灯し、スタンバイ状態になります。
- フロントディスプレイの週間タイマープログラム番号が点灯します。(設定した行の番号が点灯)



ふだんの使いかた (つづき)

プログラムタイマーで記録予約する

週間タイマー(毎日決められた時間に記録を始める)

<設定例>

毎日、午前8:00～午後5:00に記録する。

■記録モード

- ・カメラ1～4
記録コマ数：1秒に15コマ
記録画質：H
音声記録：入
- ・カメラ5～8
記録コマ数：1秒に30コマ
記録画質：N
音声記録：入
- ・カメラ9～12
記録コマ数：1秒に3コマ
記録画質：N
音声記録：切
- ・カメラ13～16
記録コマ数：2秒に1コマ
記録画質：B
音声記録：切

1. [設定]を押す

- ・20ページの「メニューの設定を変える」の操作に従い、「プログラムタイマー設定」→「週間タイマー設定」画面を表示させます。



週間タイマー設定		開始	終了	が1-4	が5-8	が9-12	が13-16	実行
日曜	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *
月曜	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *
火曜	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *
水曜	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *
木曜	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *
金曜	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *
土曜	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *
毎日	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *
		日曜	月曜	火曜	水曜	木曜	金曜	土曜

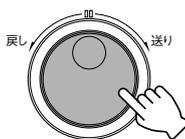
←:リターン

2. [▽]を押しプログラムを設定する行を選ぶ

- ・設定例として3行目にカーソルを合わせます。(どの行でも設定できます)

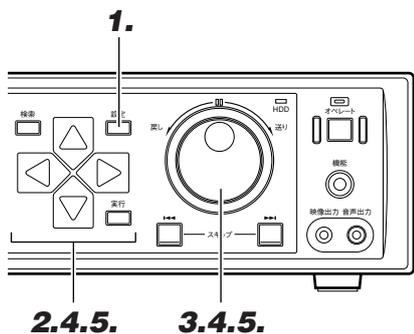


3. ジョグダイヤルを回し“毎日”を選ぶ



週間タイマー設定		開始	終了	が1-4	が5-8	が9-12	が13-16	実行
日曜	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *
月曜	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *
火曜	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *
水曜	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *
木曜	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *
金曜	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *
土曜	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *
毎日	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *
		日曜	月曜	火曜	水曜	木曜	金曜	土曜

←:リターン

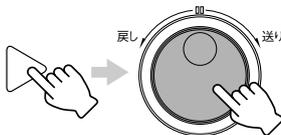


2.4.5.

3.4.5.

4. [▶]を押し、カーソルを開始“時”に合わせ、ジョグダイヤルを回して“08”を選ぶ

- ・開始“分”を選ぶには、[▶]を押してカーソルを“分”に合わせジョグダイヤルを回します。



週間タイマー設定		開始	終了	が1-4	が5-8	が9-12	が13-16	実行
日曜	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *
月曜	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *
火曜	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *
水曜	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *
木曜	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *
金曜	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *
土曜	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *
毎日	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *
		日曜	月曜	火曜	水曜	木曜	金曜	土曜

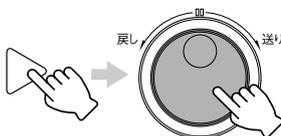
←:リターン

メモ

- ・開始曜日に“毎日”を選んだ場合、終了曜日を指定する必要はありません。

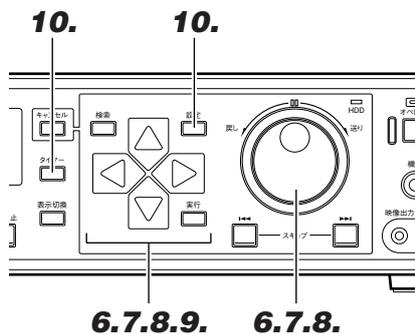
5. [▶]を押し、カーソルを終了“時”に合わせ、ジョグダイヤルを回して“17”を選ぶ

- ・終了“分”を選ぶには、[▶]を押してカーソルを“分”に合わせジョグダイヤルを回します

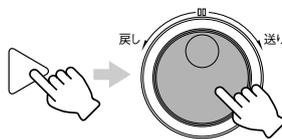


週間タイマー設定		開始	終了	が1-4	が5-8	が9-12	が13-16	実行
日曜	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *
月曜	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *
火曜	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *
水曜	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *
木曜	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *
金曜	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *
土曜	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *
毎日	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *
		日曜	月曜	火曜	水曜	木曜	金曜	土曜

←:リターン



6. [▶]を押しジョグダイヤルを回し、「記録コマ数」「記録画質」「音声記録」を選ぶ



週間タイマー設定		開始	終了	05-1	05-8	09-12	0513-16	実行
日曜	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *
月曜	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *
毎日	08 00	** 17 00	15HA	30NA	3N-	1/2B-	入	**
水曜	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *
木曜	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *
金曜	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *
土曜	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *
毎日	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *
	日曜	月曜	火曜	水曜	木曜	金曜	土曜	

←:リターン

メモ

- ブロック1(カメラ1~4)の「記録コマ数」「記録画質」「音声記録」の設定が、残りの全てのブロックにコピーされます。変更する場合はジョグダイヤルを回して変更してください。
- 記録をしたくないカメラのブロックがある場合は[キャンセル]ボタンを押して、設定を解除してください。
- 「記録コマ数」「記録画質」「音声記録」の設定は、ブロックごと(カメラ1~4、カメラ5~8、カメラ9~12、カメラ13~16)にそれぞれ選ぶことができます。

週間タイマー設定		開始	終了	05-1	05-8	09-12	0513-16	実行
日曜	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *
月曜	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *
金曜	08 00	± 17 00	15HA	30NA	3N-	1/2B-	入	**
水曜	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *
木曜	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *
金曜	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *
土曜	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *
毎日	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *
	日曜	月曜	火曜	水曜	木曜	金曜	土曜	

←:リターン



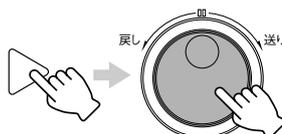
- 「毎日」設定で終了時刻を開始時刻より早い時間に設定すると、終了時刻は翌日になります。
- 無効なタイマー設定を行なった後、タイマー設定画面を抜けると、無効なタイマー設定は、自動的に削除されます。その場合画面上に「無効タイマー設定を削除しました」と表示されます。この表示を消す時は[キャンセル]ボタンを押してください。
- 「実行」の項目を「入■」に設定すると、タイマー記録中のモーションディテクトを「切」にすることができます。ただし、停電復帰直後は、モーションディテクトによるセンサー記録が入る場合があります。

ご注意

- 手順8で最終行の曜日を変えるときは注意してください。「毎日」を選んでいる他の記録予約設定も変更されます。
- 連続して記録ができるのは24時間未満です。
- メニューの入力記録設定(22ページ)で、各ブロックのカメラ(カメラ1~カメラ4/カメラ5~カメラ8/カメラ9~カメラ12/カメラ13~カメラ16)の設定値を、すべて「切」にした場合、そのブロックは、プログラムタイマー記録されません。

7. [▶]を押し、実行の項目に合わせジョグダイヤルを回し“入”もしくは“入■”を選ぶ

- “入■”を選ぶと文字が黄色になり、画面右下に“■:MD切”と表示されます。

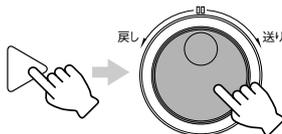


週間タイマー設定		開始	終了	05-1	05-8	09-12	0513-16	実行
日曜	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *
月曜	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *
毎日	08 00	** 17 00	15HA	30NA	3N-	1/2B-	入	**
水曜	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *
木曜	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *
金曜	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *
土曜	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *
毎日	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *
	日曜	月曜	火曜	水曜	木曜	金曜	土曜	

←:リターン

8. [▽]を押しカーソルを最終行へ移動させる

- “日曜”~“土曜”が選ばれていることを確認します。“-”が表示されているときは、[▶]とジョグダイヤルで記録をする曜日を選びます。



週間タイマー設定		開始	終了	05-1	05-8	09-12	0513-16	実行
日曜	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *
月曜	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *
毎日	08 00	** 17 00	15HA	30NA	3N-	1/2B-	入	**
水曜	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *
木曜	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *
金曜	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *
土曜	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *
毎日	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *
	日曜	月曜	火曜	水曜	木曜	金曜	土曜	

←:リターン

9. [▽]を押し、「←:リターン」にカーソルを合わせ、[◀]を押す

- 「プログラムタイマー設定」画面が表示されます。

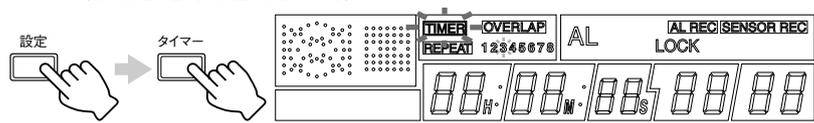


週間タイマー設定		開始	終了	05-1	05-8	09-12	0513-16	実行
日曜	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *
月曜	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *
毎日	08 00	** 17 00	15HA	15HA	15HA	15HA	15HA	入
水曜	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *
木曜	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *
金曜	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *
土曜	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *
毎日	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *
	日曜	月曜	火曜	水曜	木曜	金曜	土曜	

←:リターン

10. [設定]を押して通常画面にし、[タイマー]を押す

- フロントディスプレイのタイマー表示灯が点灯し、スタンバイ状態になります。
- フロントディスプレイの週間タイマープログラム番号が点灯します。(設定した行の番号が点灯)



ふだんの使いかた (つづき)

プログラムタイマーで記録予約する

週間タイマー(決められた曜日、決められた時間に記録を始める)

<設定例>

毎週、月曜、水曜、金曜の午前9:30～午後10:30に記録する。

■記録モード

- ・カメラ1～4
 - 記録コマ数 : 1秒に15コマ
 - 記録画質 : H
 - 音声記録 : 入
- ・カメラ5～8
 - 記録コマ数 : 1秒に30コマ
 - 記録画質 : N
 - 音声記録 : 入
- ・カメラ9～12
 - 記録コマ数 : 1秒に3コマ
 - 記録画質 : N
 - 音声記録 : 切
- ・カメラ13～16
 - 記録コマ数 : 2秒に1コマ
 - 記録画質 : B
 - 音声記録 : 切

1. [設定]を押す

- ・20ページの「メニューの設定を変える」の操作に従い、「プログラムタイマー設定」→「週間タイマー設定」画面を表示させます。



週間タイマー設定		開始	終了	月1-4	月5-8	月9-12	月13-16	実行
月曜	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *
火曜	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *
水曜	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *
木曜	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *
金曜	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *
土曜	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *
毎日	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *
		日曜	月曜	火曜	水曜	木曜	金曜	土曜

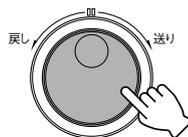
←:リターン

2. [▽]を押しプログラムを設定する行を選ぶ

- ・設定例として1行目を選びます。(どの行でも設定できます。)



3. ジョグダイヤルを回し“毎日”を選ぶ

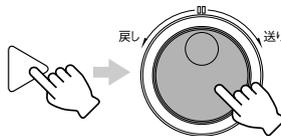


週間タイマー設定		開始	終了	月1-4	月5-8	月9-12	月13-16	実行
月曜	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *
火曜	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *
水曜	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *
木曜	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *
金曜	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *
土曜	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *
毎日	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *
		日曜	月曜	火曜	水曜	木曜	金曜	土曜

←:リターン

4. [▶]を押し、カーソルを開始“時”に合わせ、ジョグダイヤルを回して“09”を選ぶ

- ・開始“分”を選ぶには、[▶]を押してカーソルを“分”に合わせジョグダイヤルを回します。

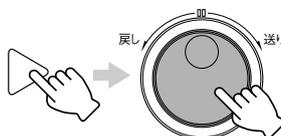


週間タイマー設定		開始	終了	月1-4	月5-8	月9-12	月13-16	実行
月曜	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *
火曜	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *
水曜	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *
木曜	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *
金曜	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *
土曜	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *
毎日	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *
		日曜	月曜	火曜	水曜	木曜	金曜	土曜

←:リターン

5. [▶]を押しカーソルを終了“時”に合わせ、ジョグダイヤルを回して“22”を選ぶ

- ・終了“分”を選ぶには、[▶]を押してカーソルを“分”に合わせジョグダイヤルを回します

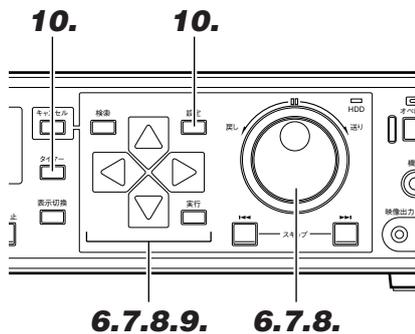


週間タイマー設定		開始	終了	月1-4	月5-8	月9-12	月13-16	実行
月曜	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *
火曜	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *
水曜	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *
木曜	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *
金曜	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *
土曜	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *
毎日	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *
		日曜	月曜	火曜	水曜	木曜	金曜	土曜

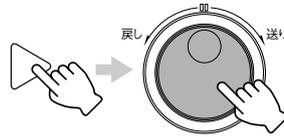
←:リターン

メモ

- ・開始曜日に“毎日”を選んだ場合、終了曜日を指定する必要はありません。



6. [▶]を押し、ジョグダイヤルを回し、「記録コマ数」「記録画質」「音声記録」を選びます



週間タイマー設定											
開始	終了	日1-4	日5-8	日9-12	日13-16	実行					
毎日	09 30	**	**	22 30	15HA	15HA	15HA	15HA	15HA	15HA	毎週
月曜	**	**	**	**	**	**	**	**	**	**	**
火曜	**	**	**	**	**	**	**	**	**	**	**
水曜	**	**	**	**	**	**	**	**	**	**	**
木曜	**	**	**	**	**	**	**	**	**	**	**
金曜	**	**	**	**	**	**	**	**	**	**	**
土曜	**	**	**	**	**	**	**	**	**	**	**
毎日	**	**	**	**	**	**	**	**	**	**	**
日曜 月曜 火曜 水曜 木曜 金曜 土曜											
←:リターン											

メモ

- ブロック1(カメラ1~4)の「記録コマ数」「記録画質」「音声記録」の設定が、残りの全てのブロックにコピーされます。変更する場合はジョグダイヤルを回して変更してください。
- 記録をしたくないカメラのブロックがある場合は[キャンセル]ボタンを押して、設定を解除してください。
- 「記録コマ数」「記録画質」「音声記録」の設定は、ブロックごと(カメラ1~4、カメラ5~8、カメラ9~12、カメラ13~16)にそれぞれ選ぶことができます。

週間タイマー設定											
開始	終了	日1-4	日5-8	日9-12	日13-16	実行					
毎日	09 30	**	**	22 30	15HA	30NA	3N-	1/2B-	**	**	**
月曜	**	**	**	**	**	**	**	**	**	**	**
火曜	**	**	**	**	**	**	**	**	**	**	**
水曜	**	**	**	**	**	**	**	**	**	**	**
木曜	**	**	**	**	**	**	**	**	**	**	**
金曜	**	**	**	**	**	**	**	**	**	**	**
土曜	**	**	**	**	**	**	**	**	**	**	**
毎日	**	**	**	**	**	**	**	**	**	**	**
日曜 月曜 火曜 水曜 木曜 金曜 土曜											
←:リターン											

15 H A
記録コマ数 | 音声:入
記録画質

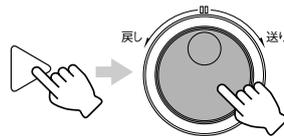
- 「毎日」設定で終了時刻を開始時刻より早い時間に設定すると、終了時刻は翌日になります。
- 無効なタイマー設定を行なった後、タイマー設定画面を抜けると、無効なタイマー設定は、自動的に削除されます。その場合画面上に「無効タイマー設定を削除しました」と表示されます。この表示を消す時は[キャンセル]ボタンを押してください。
- 「実行」の項目を「入■」に設定すると、タイマー記録中のモーションディテクトを「切」にすることができます。ただし、停電復帰直後は、モーションディテクトによるセンサー記録が入る場合があります。

ご注意

- 手順 8. で最終行の曜日を変えるときは注意してください。「毎日」を選んでいる他の記録予約設定も変更されます。
- メニューの入力記録設定(22 ページ)で、各ブロックのカメラ(カメラ1~カメラ4/カメラ5~カメラ8/カメラ9~カメラ12/カメラ13~カメラ16)の設定値を、すべて「切」にした場合、そのブロックは、プログラムタイマー記録されません。

7. [▶]を押し実行の項目に合わせ、ジョグダイヤルを回し「入」もしくは「入■」を選ぶ

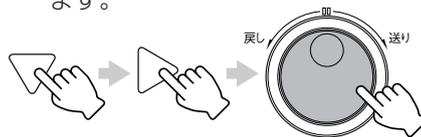
- 「入■」を選ぶと、曜日の列の文字が黄色になり、画面右下に「■: MD切」と表示されます。



週間タイマー設定											
開始	終了	日1-4	日5-8	日9-12	日13-16	実行					
毎日	09 30	**	**	22 30	15HA	30NA	3N-	1/2B-	入	**	**
月曜	**	**	**	**	**	**	**	**	**	**	**
火曜	**	**	**	**	**	**	**	**	**	**	**
水曜	**	**	**	**	**	**	**	**	**	**	**
木曜	**	**	**	**	**	**	**	**	**	**	**
金曜	**	**	**	**	**	**	**	**	**	**	**
土曜	**	**	**	**	**	**	**	**	**	**	**
毎日	**	**	**	**	**	**	**	**	**	**	**
日曜 月曜 火曜 水曜 木曜 金曜 土曜											
←:リターン											

8. [▽]を押し、カーソルを最終行へ移動させる

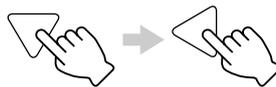
- [▶]とジョグダイヤルで記録をする曜日を選びます。記録をしない曜日は「--」を選びます。



週間タイマー設定											
開始	終了	日1-4	日5-8	日9-12	日13-16	実行					
毎日	09 30	**	**	22 30	15HA	30NA	3N-	1/2B-	入	**	**
月曜	**	**	**	**	**	**	**	**	**	**	**
火曜	**	**	**	**	**	**	**	**	**	**	**
水曜	**	**	**	**	**	**	**	**	**	**	**
木曜	**	**	**	**	**	**	**	**	**	**	**
金曜	**	**	**	**	**	**	**	**	**	**	**
土曜	**	**	**	**	**	**	**	**	**	**	**
毎日	**	**	**	**	**	**	**	**	**	**	**
-- 月曜 -- 水曜 -- 金曜 --											
←:リターン											

9. [▽]を押し、「←:リターン」にカーソルを合わせ、[◀]を押し

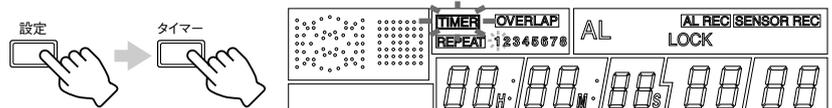
- 「プログラムタイマー設定」画面が表示されます。



週間タイマー設定											
開始	終了	日1-4	日5-8	日9-12	日13-16	実行					
毎日	09 30	**	**	22 30	15HA	30NA	3N-	1/2B-	入	**	**
月曜	**	**	**	**	**	**	**	**	**	**	**
火曜	**	**	**	**	**	**	**	**	**	**	**
水曜	**	**	**	**	**	**	**	**	**	**	**
木曜	**	**	**	**	**	**	**	**	**	**	**
金曜	**	**	**	**	**	**	**	**	**	**	**
土曜	**	**	**	**	**	**	**	**	**	**	**
毎日	**	**	**	**	**	**	**	**	**	**	**
-- 月曜 -- 水曜 -- 金曜 --											
←:リターン											

10. [設定]を押しして通常画面にし、[タイマー]を押し

- フロントディスプレイのタイマー表示灯が点灯します。
- フロントディスプレイの週間タイマープログラム番号が点灯します。(設定した行の番号が点灯)



ふだんの使いかた (つづき)

プログラムタイマーで記録予約する

日付け指定タイマー

1つのプログラムを異なる日付けで実行します。

<設定例>

10月1日と10月10日の午前8:00～午後11:00に記録する。

■記録モード

- ・カメラ1～4
記録コマ数：1秒に10コマ
記録画質：H
音声記録：入
- ・カメラ5～8
記録せず
- ・カメラ9～12
記録コマ数：1秒に5コマ
記録画質：B
音声記録：切
- ・カメラ13～16
記録せず

1. [設定]を押す

- ・20ページの「メニューの設定を変える」の操作に従い、「プログラムタイマー設定」→「日付け指定タイマー設定」画面を表示させます。



開始	終了	月-1	月-2	月-12	月-16	実行
:*	**:*	**	****	****	****	**
1.	10月	**日				9. **月 **日
2.	**月	**日				10. **月 **日
3.	**月	**日				11. **月 **日
4.	**月	**日				12. **月 **日
5.	**月	**日				13. **月 **日
6.	**月	**日				14. **月 **日
7.	**月	**日				15. **月 **日
8.	**月	**日				16. **月 **日

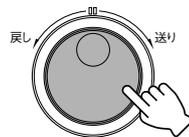
←:リターン

2. [▽]を押しプログラムを設定する行を選ぶ

- ・設定例として1行目を選びます。(どの行でも設定できます)



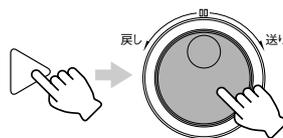
3. ジョグダイヤルを回し開始“月”の“10”を選ぶ



開始	終了	月-1	月-2	月-12	月-16	実行
:*	**:*	**	****	****	****	**
1.	10月	10日				9. **月 **日
2.	**月	**日				10. **月 **日
3.	**月	**日				11. **月 **日
4.	**月	**日				12. **月 **日
5.	**月	**日				13. **月 **日
6.	**月	**日				14. **月 **日
7.	**月	**日				15. **月 **日
8.	**月	**日				16. **月 **日

←:リターン

4. [▶]を押し、カーソルを開始“日”に合わせ、ジョグダイヤルを回して“1”を選ぶ



開始	終了	月-1	月-2	月-12	月-16	実行
:*	**:*	**	****	****	****	**
1.	10月	10日	1			9. **月 **日
2.	**月	**日				10. **月 **日
3.	**月	**日				11. **月 **日
4.	**月	**日				12. **月 **日
5.	**月	**日				13. **月 **日
6.	**月	**日				14. **月 **日
7.	**月	**日				15. **月 **日
8.	**月	**日				16. **月 **日

←:リターン

5. 他の“月”、“日”を設定する

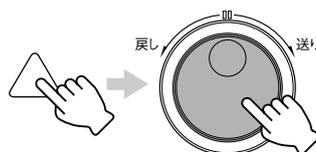
- ・手順2.～4.と同じ操作を繰り返し、“月”“日”を設定します。

開始	終了	月-1	月-2	月-12	月-16	実行
:*	**:*	**	****	****	****	**
1.	10月	01日				9. **月 **日
2.	10月	10日				10. **月 **日
3.	**月	**日				11. **月 **日
4.	**月	**日				12. **月 **日
5.	**月	**日				13. **月 **日
6.	**月	**日				14. **月 **日
7.	**月	**日				15. **月 **日
8.	**月	**日				16. **月 **日

←:リターン

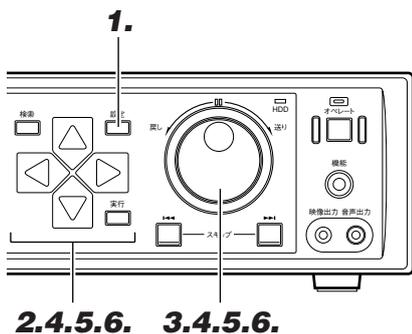
6. [△]を押し、カーソルを開始“時”に合わせ、ジョグダイヤルを回して“08”を選ぶ

- ・開始“分”を選ぶには、[▷]を押しカーソルを“分”に合わせジョグダイヤルを回します。

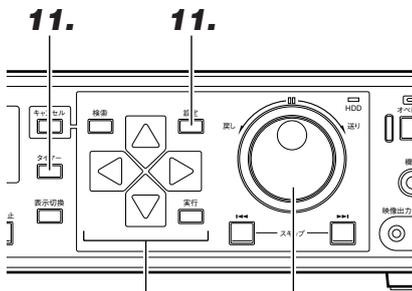


開始	終了	月-1	月-2	月-12	月-16	実行
:*	**:*	**	****	****	****	**
1.	10月	01日				9. **月 **日
2.	10月	10日				10. **月 **日
3.	**月	**日				11. **月 **日
4.	**月	**日				12. **月 **日
5.	**月	**日				13. **月 **日
6.	**月	**日				14. **月 **日
7.	**月	**日				15. **月 **日
8.	**月	**日				16. **月 **日

←:リターン



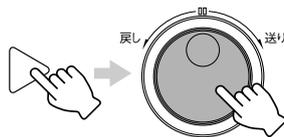
2.4.5.6. 3.4.5.6.



7.8.9.10. 7.8.9.

7. [▶]を押し、カーソルを終了“時”に合わせ、ジョグダイヤルを回して“23”を選ぶ

- 終了“分”を選ぶには、[▶]を押し、カーソルを“分”に合わせジョグダイヤルを回します。



日付指定タイマー設定						
開始	終了	日1-4	日5-8	日9-12	日13-16	実行
08:00	23:00	10HA	****	5B	****	入
1.	10月 01日	9.	**月 **日			
2.	10月 10日	10.	**月 **日			
3.	**月 **日	11.	**月 **日			
4.	**月 **日	12.	**月 **日			
5.	**月 **日	13.	**月 **日			
6.	**月 **日	14.	**月 **日			
7.	**月 **日	15.	**月 **日			
8.	**月 **日	16.	**月 **日			

←:リターン

メモ

- ブロック1(カメラ1~4)の「記録コマ数」「記録画質」「音声記録」の設定が、残りの全てのブロックにコピーされます。変更する場合はジョグダイヤルを回して変更してください。
- 記録をしたくないカメラのブロックがある場合は[キャンセル]ボタンを押して、設定を解除してください。
- 連続して記録ができるのは24時間未満です。
- 「記録コマ数」「記録画質」「音声記録」の設定は、ブロックごと(カメラ1~4、カメラ5~8、カメラ9~12、カメラ13~16)にそれぞれ選ぶことができます。

日付指定タイマー設定						
開始	終了	日1-4	日5-8	日9-12	日13-16	実行
08:00	23:00	10HA	****	5B	****	入
1.	10月 01日	9.	**月 **日			
2.	10月 10日	10.	**月 **日			
3.	**月 **日	11.	**月 **日			
4.	**月 **日	12.	**月 **日			
5.	**月 **日	13.	**月 **日			
6.	**月 **日	14.	**月 **日			
7.	**月 **日	15.	**月 **日			
8.	**月 **日	16.	**月 **日			

←:リターン

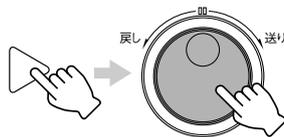
10 H A
記録コマ数 | 音声:入
記録画質

- 終了時刻を開始時刻より早い時間に設定すると、終了時刻は翌日になります。
- 無効なタイマー設定を行なった後、タイマー設定画面を抜けると、無効なタイマー設定は、自動的に削除されます。その場合画面上に“無効タイマー設定を削除しました”と表示されます。この表示を消す時は[キャンセル]ボタンを押してください。
- 「実行」の項目を“入■”に設定すると、タイマー記録中のモーションディテクトを“切”にすることができます。ただし、停電復帰直後は、モーションディテクトによるセンサー記録が入る場合があります。

ご注意

- メニューの入力記録設定(22ページ)で、各ブロックのカメラ(カメラ1~カメラ4/カメラ5~カメラ8/カメラ9~カメラ12/カメラ13~カメラ16)の設定値を、すべて“切”にした場合、そのブロックは、プログラムタイマー記録されません。

8. [▶]を押し、ジョグダイヤルを回し、「記録コマ数」「記録画質」を選びます

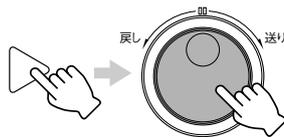


日付指定タイマー設定						
開始	終了	日1-4	日5-8	日9-12	日13-16	実行
08:00	23:00	10HA	****	5B	****	入
1.	10月 01日	9.	**月 **日			
2.	10月 10日	10.	**月 **日			
3.	**月 **日	11.	**月 **日			
4.	**月 **日	12.	**月 **日			
5.	**月 **日	13.	**月 **日			
6.	**月 **日	14.	**月 **日			
7.	**月 **日	15.	**月 **日			
8.	**月 **日	16.	**月 **日			

←:リターン

9. [▶]を押し、ジョグダイヤルを回し、実行の項に“入”もしくは“入■”を選ぶ

- “入■”を選ぶと文字が黄色になり、画面右下に“■: MD切”と表示されます。



日付指定タイマー設定						
開始	終了	日1-4	日5-8	日9-12	日13-16	実行
08:00	23:00	10HA	****	5B	****	入■
1.	10月 01日	9.	**月 **日			
2.	10月 10日	10.	**月 **日			
3.	**月 **日	11.	**月 **日			
4.	**月 **日	12.	**月 **日			
5.	**月 **日	13.	**月 **日			
6.	**月 **日	14.	**月 **日			
7.	**月 **日	15.	**月 **日			
8.	**月 **日	16.	**月 **日			

←:リターン

10. [▽]を押し、「←:リターン」にカーソルを合わせ、[◀]を押し

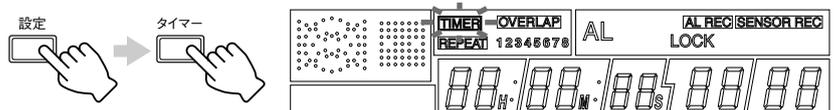


日付指定タイマー設定						
開始	終了	日1-4	日5-8	日9-12	日13-16	実行
08:00	23:00	10HA	****	5B	****	入
1.	10月 01日	9.	**月 **日			
2.	10月 10日	10.	**月 **日			
3.	**月 **日	11.	**月 **日			
4.	**月 **日	12.	**月 **日			
5.	**月 **日	13.	**月 **日			
6.	**月 **日	14.	**月 **日			
7.	**月 **日	15.	**月 **日			
8.	**月 **日	16.	**月 **日			

←:リターン

11. [設定]を押して通常画面にし、[タイマー]を押す

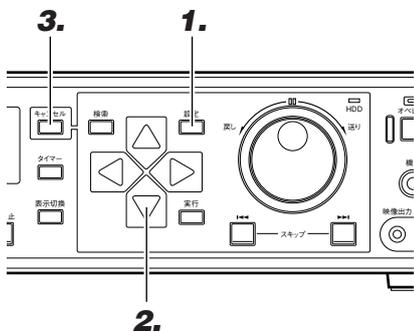
- フロントディスプレイのタイマー表示灯が点灯します。



ふだんの使いかた (つづき)

プログラムタイマーで記録予約する

記録予約を取り消す



1. [設定]を押す

- 20ページの「メニューの設定を変える」の操作に従い、「プログラムタイマー設定」→「週間タイマー設定」画面を表示させます。

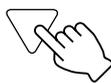


週間タイマー設定							
開始	終了	カメラ1-4	カメラ5-8	カメラ9-12	カメラ13-16	実行	
日曜	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	
月曜	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	
火曜	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	
水曜	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	
金曜	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	
土曜	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	
毎日	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	
	日曜	月曜	火曜	水曜	木曜	金曜	土曜

←:リターン

2. [▽]を押し取り消す記録予約を選ぶ

- 記録予約の4行目を取り消します。



メモ

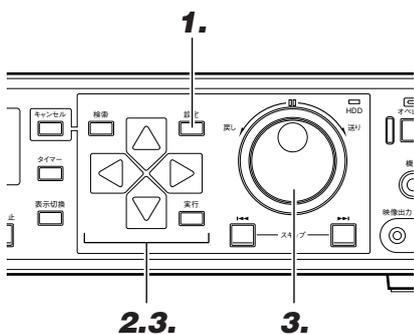
- カーソルをカメラ1~4/5~8/9~12/13~16、以外に合わせ、[キャンセル]ボタンを押すと、その曜日の全ての設定が取り消されます。
- カメラ1~4/5~8/9~12/13~16で[キャンセル]ボタンを押すとそのカメラブロックのみ取り消されます。

3. [キャンセル]を押す

- 選んだ記録予約が取り消されます。



記録予約を変更する



1. [設定]を押す

- 20ページの「メニューの設定を変える」の操作に従い、「プログラムタイマー設定」→「週間タイマー設定」画面を表示させます。



週間タイマー設定							
開始	終了	カメラ1-4	カメラ5-8	カメラ9-12	カメラ13-16	実行	
日曜	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	
月曜	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	
火曜	09 00	** 23 00	10HA	15NA	5B-	15B 入	
水曜	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	
金曜	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	
土曜	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	
毎日	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	
	日曜	月曜	火曜	水曜	木曜	金曜	土曜

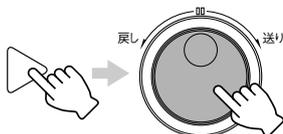
←:リターン

2. [▽]を押し変更する記録予約を選ぶ

- 記録予約の4行目を変更します。



3. [▶]を押し変更部分を選択し、ジョグダイヤルを回して変更する



週間タイマー設定							
開始	終了	カメラ1-4	カメラ5-8	カメラ9-12	カメラ13-16	実行	
日曜	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	
月曜	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	
火曜	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	
金曜	09 00	03 00	10HA	15NA	5B-	15B 入	
水曜	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	
土曜	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	
毎日	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	** ** *	
	日曜	月曜	火曜	水曜	木曜	金曜	土曜

←:リターン

便利な機能

ハードディスクのメンテナンス

記録中やセンサー記録スタンバイ中に停電になったときや、ハードディスクの記録情報に障害が発生したときには、記録／再生が正常に行えなくなってしまいます。VR-777は、2種類のスキャンディスクを備えハードディスクの障害を修復します。

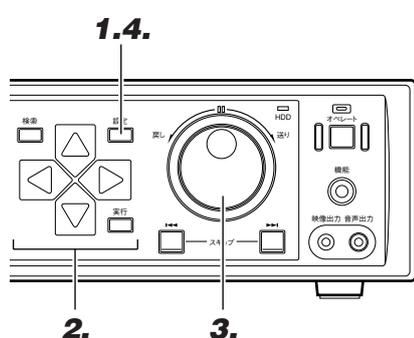
● オートスキャンディスクとは...

電源を入れたときに自動でスキャンディスクを実行します。

● マニュアルスキャンディスクとは...

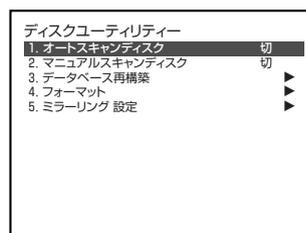
手でスキャンディスクを実行します。メニューの「オートスキャンディスク」項目を「切」で使っているときや、長時間電源を入れたまま使っているときは、定期的に行ってください。

ハードディスクのデータを検査する(オートスキャンディスク)



1. [設定]を押す

- 20ページの「メニューの設定を変える」の操作に従い、「ディスクユーティリティ／保守」→「ディスクユーティリティ」画面を表示させます。

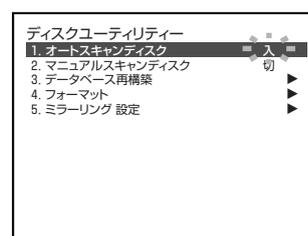
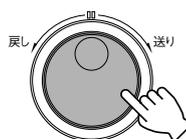


2. [▽]を押して「オートスキャンディスク」項目を選ぶ

- カーソルを合わせます。



3. ジョグダイヤルを回して「入」を選ぶ



4. [設定]を押して終了する

- 通常画面に戻ります。
- スキャンディスクの実行は電源を入れた時に行われます。



メモ

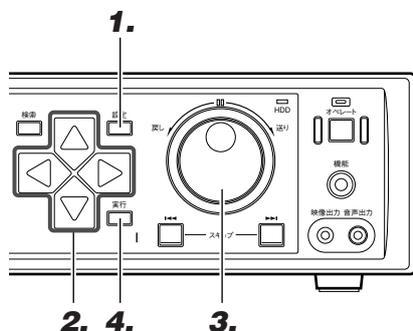
- オートスキャンディスクを中断したいときは[キャンセル]ボタンを押してください。
- スキャンディスクは記録を1ヶ月続けた場合を目安に実行してください。

ご注意

- 記録イベントの容量が多かったり、件数が多いと終了に時間がかかる場合があります。(数時間程度)
- スキャンディスク実行中は記録、再生、検索などはできません。

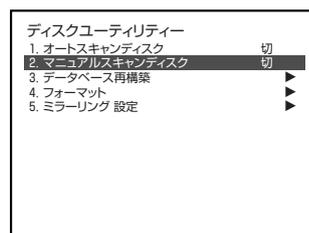
ハードディスクのメンテナンス

ハードディスクのデータを検査する(マニュアルスキャンディスク)



1. [設定]を押す

- 20ページの「メニューの設定を変える」の操作に従い、「ディスクユーティリティ/保守」→「ディスクユーティリティ」画面を表示させます。



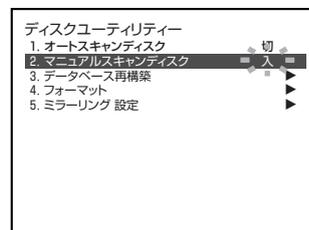
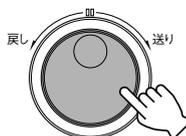
データベース再構築自動設定

2. [▽]を押して「マニュアルスキャンディスク」項目を選ぶ

- カーソルを合わせます。



3. ジョグダイヤルを回して「入」を選ぶ

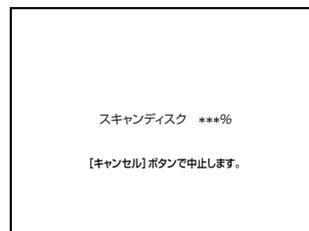


4. [実行]を押す

- スキャンディスクが始まります。



スキャンディスク実行中画面



メモ

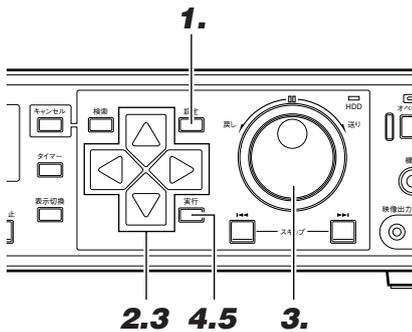
- 記録されているはずの部分の再生中に「指定した画像は記録されていません」「スキップボタンでジャンプします」と画面に表示される場合、スキャンディスクを実行した後に再度確認してください。
- マニュアルスキャンディスクを中断したいときは [キャンセル] ボタンを押してください。
- スキャンディスクは記録を1ヶ月続けた場合を目安として実行してください。

ご注意

- 記録イベントの容量が多かったり、件数が多いと終了に時間がかかる場合があります。(数時間程度)
- スキャンディスク実行中は記録、再生、検索などはできません。

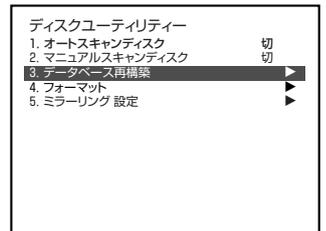
データベースの再構築

ループ記録を“入”にしてアラーム記録や、センサー記録をひんぱんに行うと、ハードディスク内ではデータが不連続になっていきます。データが不連続のままさらに使用を続けると、ファイルを分割して空き領域に記録していくためデータの断片化、いわゆる虫食い状態がすすんでいき、ハードディスクの検索などのスピードが極端に遅くなる場合があります。そこで、「データベースの再構築」で、ハードディスクのメンテナンスが必要となってきます。



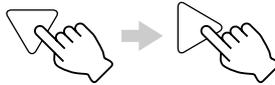
1. [設定]を押す

- 20ページの「メニューの設定を変える」の操作に従い、「ディスクキューティリティー/保守」→「ディスクキューティリティー」画面を表示させます。

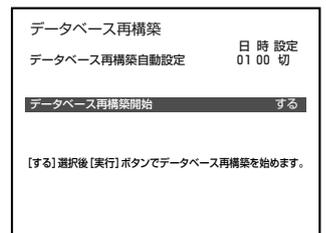
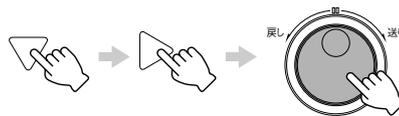


2. [▽]を押し、「データベース再構築」項目を選び[▶]を押す

- データベース再構築画面が表示されます。



3. [▽]を押して「データベース再構築開始」を選び[▶]を押し、ジョグダイヤルを回し“する”を選ぶ

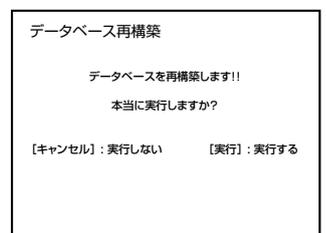


メモ

- データベースの再構築は、検索動作に30秒以上かかるようになったら実行してください。
- 記録中は実行できません。(自動実行は含みません)
- 自動実行する場合は、「データベース再構築自動設定」項目を選び、日付と時刻を選択し設定を“入”にします。指定した日時にデータベースの再構築を自動実行します。

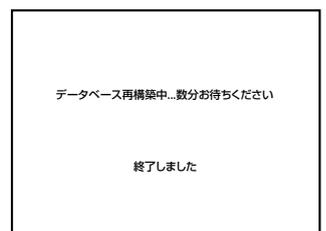
4. [実行]を押す

- データベース再構築確認画面が表示されます。



5. 再度[実行]を押す

- データベースの再構築が開始され、終了すると画面に“終了しました”と表示されます。



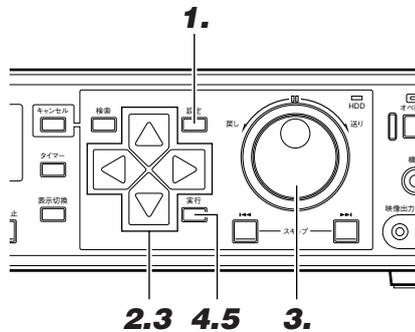
ご注意

- 記録中に自動実行の日時になった場合は、記録を中断してデータベースの再構築を実行します。データベースの再構築が終了すると、自動的に記録を再開します。

便利な機能 (つづき)

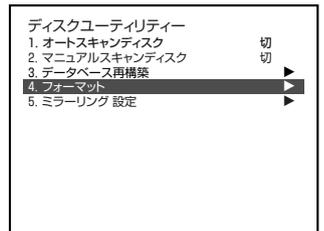
ハードディスクを初期化する (フォーマット)

ハードディスクの残容量がなくなると、記録ができなくなってしまいます。そのようなときはデータのバックアップをとり、ハードディスクをフォーマットして空き容量を確保してください。データの断片化をできるだけ避けるためにも、定期的なハードディスクの「フォーマット」(初期化)作業をおすすめします。



1. [設定]を押す

- 20ページの「メニューの設定を変える」の操作に従い、「ディスクユーティリティ/保守」→「ディスクユーティリティ」画面を表示させます。

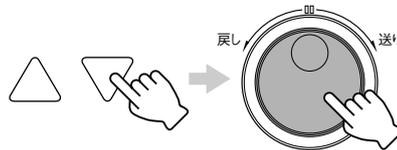


2. [▽]を押し、「フォーマット」項目を選び [▶]を押す

- フォーマット画面が表示されます。

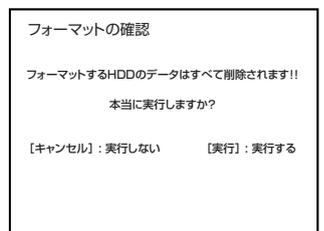


3. [△/▽]でフォーマットするハードディスクを選び、ジョグダイヤルを回し“する”を選ぶ



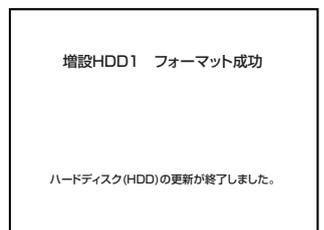
4. 「フォーマット開始」をジョグダイヤルを回して“する”にして[実行]を押す

- フォーマット確認画面が表示されます。



5. 再度[実行]を押す

- フォーマットが開始され、終了するとフォーマット成功画面が表示されます。その後、自動で運用可能状態になります。



メモ

- 画面に表示されるハードディスクの容量は、1GB=(1024)³Byteで計算しているため、実際の容量よりも小さく表示されます。

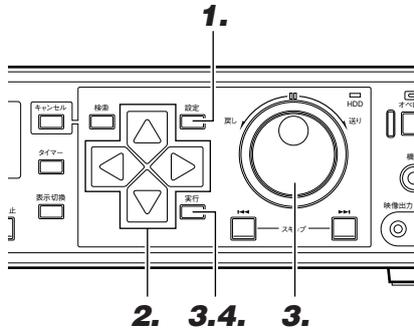
ご注意

- フォーマットを実行すると記録されたイベントはすべて消えてしまいます。大切なイベント記録は必ずバックアップをとってください。

ハードディスクをミラーリング設定する

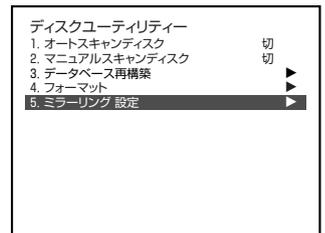
ミラーリングとは内蔵のふたつのハードディスクに、それぞれ同じデータを記録することをいいます。一方のハードディスクデータが破損しても、もう一方のハードディスクにより記録データの安全性を保持することができます。

■ミラーリングの設定



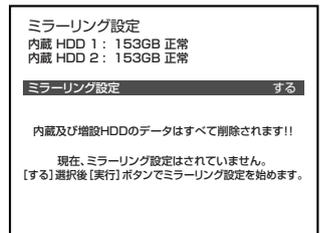
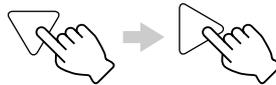
1. [設定]を押す

- 20ページの「メニューの設定を変える」の操作に従い、「ディスクユーティリティ／保守」→「ディスクユーティリティ」画面を表示させます。



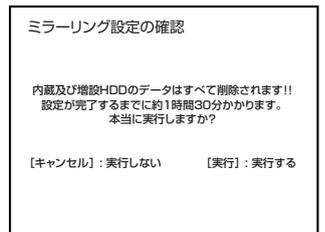
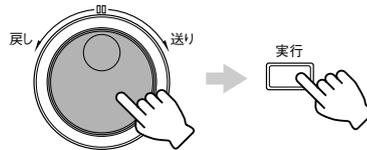
2. [▽]を押して「ミラーリング設定」項目を選び[▶]を押す

- ミラーリング設定画面が表示されます。



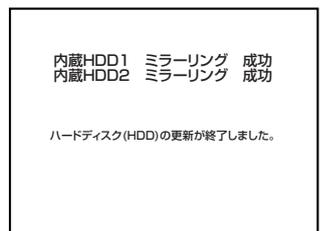
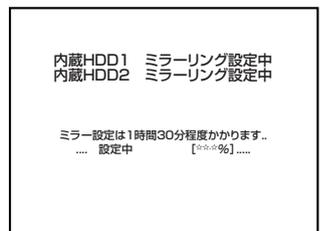
3. ジョグダイヤルを回して“する”を選び、[実行]を押す

- ミラーリング設定の確認画面が表示されます。



4. 再度[実行]を押す

- 設定に約1時間30分かかり、ミラーリング設定が終了します。
- ミラーリング設定が終了すると、ミラーリング設定成功画面が表示されます。その後、自動で運用可能状態になります。



メモ

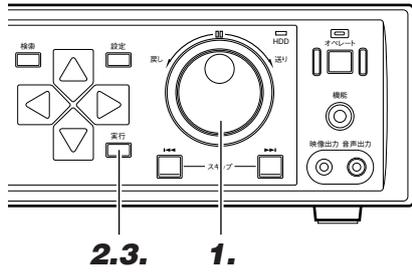
- ミラーリング設定中に、ミラーリングの解除をすることができます。(P.58 ページ)
- ミラーリングの設定処理中に、記録や再生などはできません。
- 画面に表示されるハードディスクの容量は、1GB=(1024)³Byteで計算しているため、実際の容量よりも小さく表示されます。

ご注意

- ミラーリング設定すると、ハードディスクの記録容量は約半分になります。記録時間の設定にはご注意ください。
- ミラーリングの設定は、内蔵ハードディスクでのみ行えます。増設のハードディスクでは、ミラーリングの設定はできません。
- ミラーリング設定を行っても、データの破損が起こらないことを保証することはできません。
- ミラーリング設定を実行すると、内蔵ハードディスクおよび、増設ハードディスクに記録されたイベントは、すべて消えてしまいます。大切なイベント記録はかならず、バックアップをとってください。
- ミラーリング設定をすると、記録設定の条件や動作状態によっては、再生時に再生速度が遅くなったり、映像と音声にずれが生じる場合があります。記録動作には支障はありません。
- ミラーリング設定が有効な状態で停電すると、バックグラウンドで複製処理が行われます。複製処理が行われているあいだは、記録データの安全性は保持できません。
- ハードディスクの状態によっては、ミラーリングの設定が失敗することがあります。その場合は一度ミラーリングを解除して、再度設定をやり直してください。

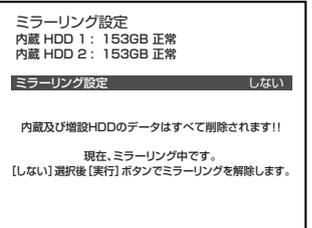
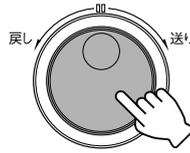
便利な機能 (つづき)

ハードディスクをミラーリング設定する (つづき)



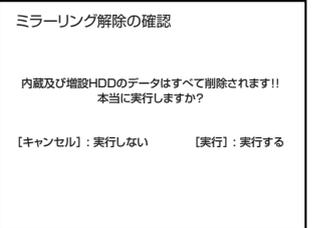
■ミラーリングの解除

1. ミラーリング設定中ジョグダイヤルを回して“しない”を選ぶ



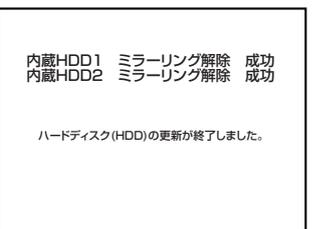
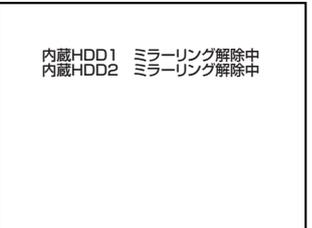
2. [実行]を押す

- ミラーリング解除の確認画面が表示されます。



3. 再度[実行]を押す

- ミラーリングの設定を中止し、ミラーリングモードが解除されます。
- ミラーリング解除が完了すると、ミラーリング解除成功画面が表示されます。その後、自動で運用可能状態になります。



メモ

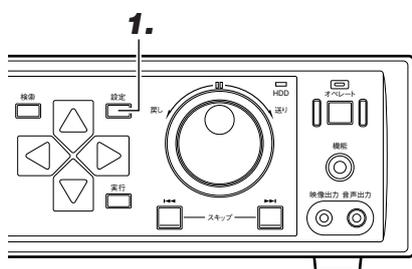
- ミラーリングの解除中に、記録や再生などはできません。
- 画面に表示されるハードディスクの容量は、1GB=(1024)³Byteで計算しているため、実際の容量よりも小さく表示されません。

ご注意

- ミラーリングの解除を行うと、内蔵ハードディスクおよび、増設ハードディスクに記録されたイベントは、すべて消えてしまいます。大切なイベント記録はかならず、バックアップをとってください。

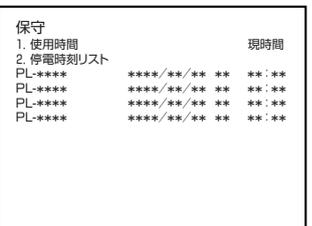
停電復帰記録のリストを見る

停電復帰した時の日付けや時間のリストを見ることができます。



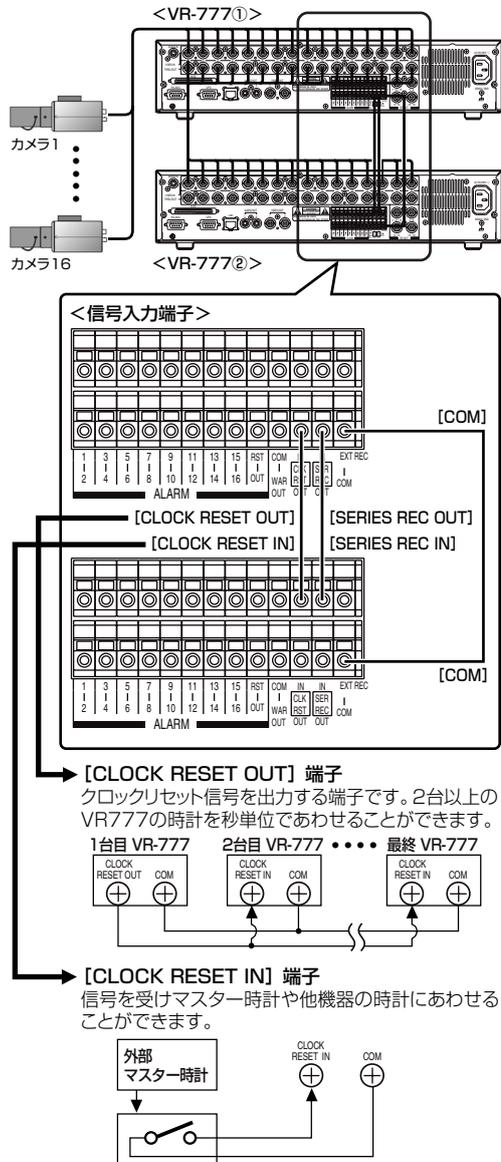
1. [設定]を押す

- 20ページの「メニューの設定を変える」の操作に従い、「ディスクユーティリティ/保守」→「保守」画面を表示させます。
- 「停電時刻リスト」が表示されます。



2台以上のVR-777を使って連続で記録を行う

2台以上のVR-777を使い、記録することができます。1台目のVR-777の記録がいっぱいになると、2台目のVR-777が記録を開始します。



接続

<信号入力端子>の接続

- 1台目のVR-777リアパネルの“SERIES REC OUT”を2台目のVR-777の“SERIES REC IN”に接続します。
- 1台目のVR-777の“CLOCK RESET OUT”を2台目VR-777の“CLOCK RESET IN”に接続します。
- 1台目と2台目のVR-777の“COM”を接続します。

<2台のVR-777の接続>

- 1台目のVR-777の [THRU OUT] 端子 1～16を2台目のVR-777の [VIDEO IN] 端子 1～16に接続します。

設定

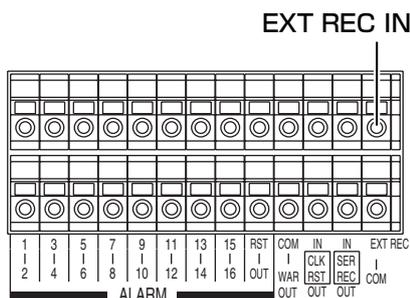
- 2台の「入力記録設定」(☞22ページ)を同じ設定にします。
- 「動作設定」(☞23ページ)で停電復帰後記録項目を“通常記録”以外に設定します。
- 1台目のVR-777の「動作設定」(☞23ページ)で、ループ記録を“切”に設定します。
- 「外部記録設定」(☞24ページ)のシリーズ記録設定を2台とも“入”に設定します。

メモ

- [CLOCK RESET OUT/IN] を接続すると1日2回、昼と夜の12時に2台以上のVR-777の時間を、同じ時刻になるよう合わせます。
- 接続は、使用機器の電源を切ってからおこなってください。
- 2台目のVR-777の記録停止は、2台目の [停止] ボタンでのみ行えます。
- オペレートOFF状態のときは、信号が入力されていても記録を開始しません。
- プログラムタイマースタンバイ状態のときは、記録を開始しません。
- 1台目のVR-777の電源が切れた場合、自動的に2台目のVR-777が記録を開始します。

外部からの制御信号で記録を始める

停止中に背面のEXT REC IN端子に外部機器からの信号が入力されると、記録を開始します。



設定

1. 「外部記録設定」の外部記録モードを“トリガ”か“マニュアル”に設定します。

メモ

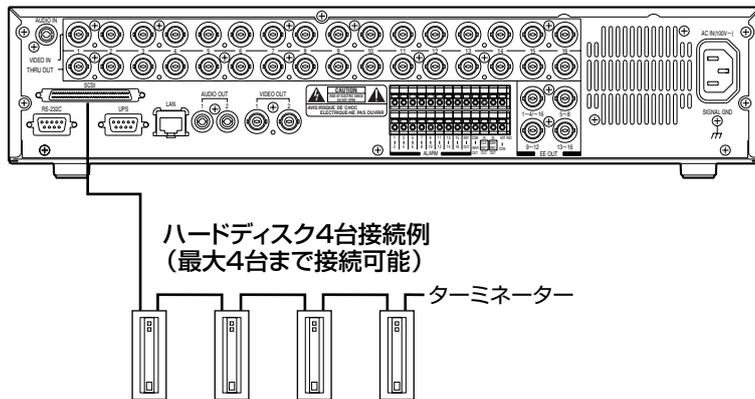
- “マニュアル”に設定している場合、信号入力が入っている間のみ、記録を行います。
- “トリガ”に設定している場合、信号入力が入ってから停止操作するまで記録を続けます。記録の停止操作はVR-777の [停止] ボタンでのみ行えます。外部機器から停止することはできません。
- オペレートOFF状態のときは、信号が入力されても記録を開始しません。
- プログラムタイマースタンバイ状態のときは、記録を開始しません。

便利な機能 (つづき)

ハードディスクの増設

VR-777では、2台の内蔵ハードディスクの他に、最大4台までハードディスクを増設することができます。ハードディスクの接続構成を変更する場合、下記手順で設定を行います。接続構成の変更には、新規、変更、切断の3つがあります。

< VR-777 リアパネル >



ハードディスク4台接続例
(最大4台まで接続可能)
ターミネーター

※ハードディスクを複数台接続した場合

- SCSI ID番号は、それぞれ異なる値に設定し、番号が重ならないようにしてください。
- 最終のハードディスクは、ターミネートしてください。

(SCSI IDの設定方法、およびターミネート方法は、接続ハードディスクの「取扱説明書」を、ご覧ください。)

< 接続構成の変更 >

- 新規…新規にハードディスクを接続します。
- 変更…前回まで接続されていたハードディスクを変更して、他のハードディスクを接続します。
- 切断…前回まで接続されていたハードディスクを切断します。切断処理を行うと、前回までに接続されていたハードディスクを、再度接続しても、ハードディスクに記録されていた映像を見ることはできなくなります。

メモ

- 接続可能な増設ハードディスクとケーブルにつきましては、お買い上げの販売店にご相談ください。
- 増設ハードディスクの電源を、VR-777の電源より後に入れても正常に動作しません。
- 増設ハードディスクの認識が正しく行なれない場合は、以下の方法で再起動してください。
 - HDD構成画面で[オペレート]ボタンを押す。
 - システム再起動(☰ 29ページ)を行う。
- 増設ハードディスクの電源は本体より先に切らないでください。
- 本体のオペレートOFF後に増設ハードディスクの電源を切る場合は、本体の電源も一緒に切ってください。

ご注意

- 記録中に増設ハードディスクの電源がOFFになると正常に記録することができなくなり、本機が自動的に再起動します。運用中に増設ハードディスクの電源をOFFにしないでください。

< 増設用 SCSI 規格 >

インターフェース	Ultra Wide SCSI
コネクタ	D-sub ハーフピッチ 68ピン
最大転送速度	20MB/s
SCSI ID	0～3を使用 (4以上は使用できません)

メモ

- 最大転送速度の値の保証はできません。
- 接続可能なハードディスク(HDD)とケーブルについては、お買い上げの販売店にご相談ください。

1. 電源を切る

- 14ページ「電源を入れる／切る」の“電源を切る”に従いVR-777の電源を切ります。
- オペレートオフの状態で作業を行なっても、外付けのハードディスクは確認されません。電源コードを抜いて再起動してください。

2. 外付けのハードディスクを接続し、電源を入れる

- VR-777 本体の電源を入れる前に外付けハードディスクの電源を入れます。

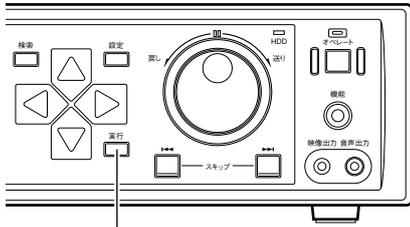
3. VR-777の電源を入れる

- 14ページ「電源を入れる／切る」の“電源を入れる”に従い電源を入れます。
- HDD再構成画面が表示されます。

HDD再構成
増設 HDD 1 : 153GB 新規
増設 HDD 2 : 153GB 新規
増設 HDD 3 : 153GB 新規

HDDの構成が変更されました。
上記HDD構成を適用するには[実行]ボタンを押してください。
(再構成するHDDのデータはすべて削除されます!!)

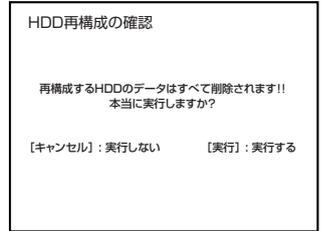
電源を切る場合は[キャンセル]ボタンを押してください。
再起動をする場合は[オペレート]ボタンを押してください。



4.5.

4. [実行]を押す

- HDD 再構成確認画面が表示されます。

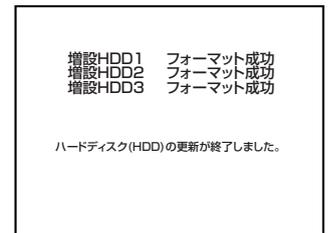
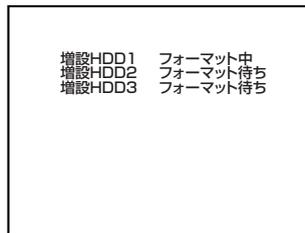


メモ

- 電源を入れ直しても、「HDD再構成画面」が表示されない場合、接続が正常にできていません。一度、VR-777と外付けハードディスクの電源をおとしてケーブル、ターミネーターおよび電源の接続を確認してください。
- HDD再構成画面で[キャンセル]を押すと、再構成を中止することができます。再構成を中止した場合、VR-777の電源を切ってください。また、[オペレート]ボタンを押すと、システムを再起動することができます。
- 接続構成の変更が、「切断」の場合、フォーマットではなく、切断処理が行われます。画面には「切断処理中」→「切断処理成功」と表示されます。
- フォーマット時間は、増設ハードディスク(120GB)1台あたり約30秒です。
- 接続構成の変更中に、記録や再生などはできません。
- 画面に表示されるハードディスクの容量は、1GB=(1024)³Byteで計算しているため、実際の容量よりも小さく表示されます。

5. [実行]を再度押す

- 増設ハードディスクのフォーマットがはじまります。
- 終わるとフォーマット成功画面が表示されます。その後、自動で運用可能状態になります。



ハードディスク異常時システム復旧機能

メモ

- システム復旧機能がはたらいたときにハードディスク修復機能が動作することがあります。その場合、しばらくの間、記録以外の操作を受け付けなくなります。(P.69ページ)
- [E-01] エラー表示中は、以下の操作を実行できません。
 - ・ データベース再構築
 - ・ フォーマット
 - ・ ミラーリング設定
 - ・ DVD-RAM コピー

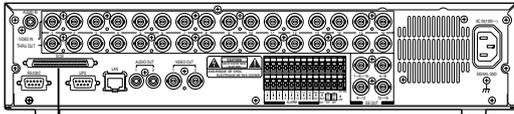
- 本機は、ハードディスクに障害が発生した場合、自動再起動により異常を通知するようになっています。
- 自動再起動時に障害のあるハードディスクを自動切断処理後、残ったハードディスクを使って動作を継続します。SCSIバスに障害がある場合は、全ての増設ハードディスクが切断処理されます。自動再起動後は、フロントディスプレイに「E-01」のエラーコードが表示されます。
- 自動再起動により障害が回復した場合は、通常に戻ります。その際、モニター画面に「HDD 確認のために再起動しました」のメッセージが表示されます。
- 再起動処理中の記録は行われません。
- 再起動できない致命的障害の場合は、自動復旧できません。

便利な機能 (つづき)

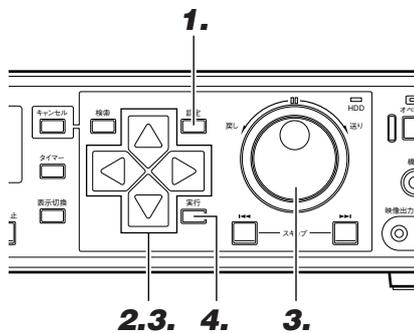
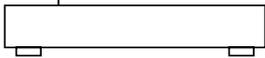
DVD-RAMにコピーする

DVD-RAM ドライブを接続すると、VR-777 に記録されているデータを DVD-RAM にコピーすることができます。

< VR-777 背面 >



< DVD-RAM ドライブ >



メモ

- DVD-RAM ドライブが接続されていない場合は、「ユーティリティ」画面の項目 6.DVD-RAM フォーマット 項目 7.DVD-RAM コピー は表示されません。
- DVD-RAM ドライブは2台以上接続できません。
- 接続可能な DVD-RAM ドライブとケーブルは、お買い上げの販売店にご相談ください。
- SCSI 端子に接続する機器は、増設ハードディスクと合わせて4台までとしてください。
- 増設ハードディスクと同時に接続する場合は、DVD-RAM ドライブがターミネーターに最も近い側になるようにしてください。
- DVD-RAM ドライブの SCSI ID は 4 にして使用してください。
- DVD-RAM コピー中は、本体で記録や再生を行えません。
- DVD-RAM コピー中は、ネットワークに接続できません。

ご注意

- DVD-RAM ドライブの電源は常時 ON にしてください。DVD-RAM が挿入されていない場合でも、電源を OFF にすると本機が正常に動作しないことがあります。

接続

- VR-777 リアパネルの [SCSI] 端子に DVD-RAM ドライブを接続します。

DVD-RAM のフォーマット

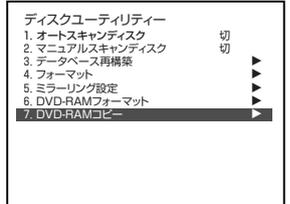
- DVD-RAM へのコピーを行う前に、「ディスクユーティリティ/保守」 → 「ディスクユーティリティ」 → 「6. DVD-RAM フォーマット」を実行してください。
 - DVD-RAM のフォーマットは VR-777 で行なってください。
 - DVD-RAM は FAT32 でフォーマットされます。
 - DVD-RAM フォーマット完了時は自動的に「ディスクユーティリティ/保守」画面に戻ります。

注意： DVD-RAM フォーマットを実行した場合、DVD-RAM の全てのデータは消去されます。

DVD-RAM へのコピー

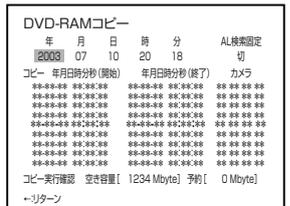
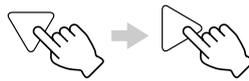
1. [設定]を押す

- 20ページの「メニューの設定を変える」の操作に従い、「ディスクユーティリティ/保守」 → 「ディスクユーティリティ」画面を表示させます。
- 記録中の場合は、記録を停止してください。



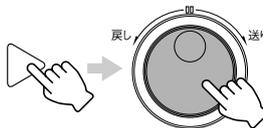
2. [▽]を押して「DVD-RAMコピー」項目を選び[▶]を押す

- DVD-RAM コピー画面が表示されます。



3. ジョグダイヤルを回して“年”を設定する

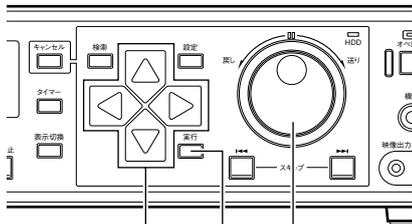
- [▶]とジョグダイヤルでコピーしたいデータの開始年月日時分秒を設定します。
- アラーム/センサーだけのデータを表示させたいときは「AL 検索固定」を「入」にします。



4. [実行]を押す

- データリストが表示され、指定開始年月日時分秒に最も近いデータリストにカーソルが移動します。
- アラーム/センサーのデータは黄色表示になります。



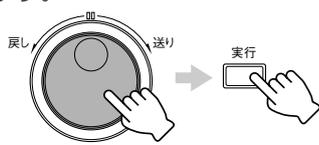


6.8. 5.7. 5.6.
8.9.

5. ジョグダイヤルを回しコピーしたいデータを選び、[実行]を押す

- 指定したデータの開始“年”にカーソルが移動します。
- [キャンセル]を押すと、操作4実行後の状態に戻ります。
- 元の開始/終了時間のままコピーしたい場合は、次に操作7.を行ないます。

DVD-RAMコピー					
年	月	日	時	分	AL検索設定
2003	06	01	10	30	切
コピー	年月日時分(開始)	年月日時分(終了)	カメラ		
	03-06-10 10:12:30	03-06-10 21:23:20	1 2 3 4		
○	03-06-04 11:12:21	03-06-07 21:20:22	1 2 3 4		
●	03-06-01 09:40:25	03-06-08 13:42:13	1 2 3 4		
	03-05-30 18:25:34	03-05-30 23:53:07	1 2 3 4		
○	03-05-20 01:56:47	03-05-21 18:56:32	1 2 3 4		
コピー実行確認	空き容量	10 Mbyte	予約	0 Mbyte	
←リターン	[実行]登録	[キャンセル]取消			



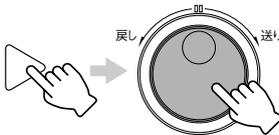
メモ

- コピー容量が残容量をオーバーしている場合は、実行できません。
- DVD-RAMにコピーされるデータは、設定した保存範囲から2秒程度前後することができます。
- コピー終了後に、[検索]を押すとDVD-RAM上のファイルリストが表示されコピー一覧を見ることができます。
 - 以前にコピーした映像データもリストに表示されます。
 - 以前にコピーした映像データと同一のものをコピーした場合、DVD-RAM上ではそれぞれ異なった名前で作成され、別々にリスト表示されます。
 - パソコンなどで映像データを削除した場合、リストからは消去されません。
- 5. でコピーしたいデータを指定して実行したときに、すでにコピー予約(“○”表示)されている場合は、“○”マークが消去され元の開始/終了時間に戻ります。改めて設定して実行してください。
- 映像データのファイル名については、VR-777 Playerの取扱説明書(バックアップの実行)を参照してください。
- ファイル名は変更しないでください。再生時に正しい情報が表示されなくなります。

6. ジョグダイヤルを回して保存範囲を設定する

- [▷]とジョグダイヤルで、コピー開始/終了時間を設定します。
- [キャンセル]を押すと、操作4実行後の状態に戻ります。
- 元の開始/終了時間を変更した場合は、緑色表示されます。

DVD-RAMコピー					
年	月	日	時	分	AL検索設定
2003	06	01	10	30	切
コピー	年月日時分(開始)	年月日時分(終了)	カメラ		
	03-06-10 10:12:30	03-06-10 21:23:20	1 2 3 4		
○	03-06-04 11:12:21	03-06-07 21:20:22	1 2 3 4		
●	03-06-01 09:40:25	03-06-08 13:42:13	1 2 3 4		
	03-05-30 18:25:34	03-05-30 23:53:07	1 2 3 4		
○	03-05-20 01:56:47	03-05-21 18:56:32	1 2 3 4		
コピー実行確認	空き容量	10 Mbyte	予約	0 Mbyte	
←リターン	[実行]登録	[キャンセル]取消			



7. [実行]を押す

- マークを表示させ、カーソルが全体に移動します。



※操作5.~7.を繰り返し、コピーしたいデータに○マークを表示させます。

DVD-RAMコピー					
年	月	日	時	分	AL検索設定
2003	06	01	10	30	切
コピー	年月日時分(開始)	年月日時分(終了)	カメラ		
	03-06-10 10:12:30	03-06-10 21:23:20	1 2 3 4		
○	03-06-04 11:12:21	03-06-07 21:20:22	1 2 3 4		
●	03-06-01 09:40:25	03-06-08 13:42:13	1 2 3 4		
	03-05-30 18:25:34	03-05-30 23:53:07	1 2 3 4		
○	03-05-20 01:56:47	03-05-21 18:56:32	1 2 3 4		
コピー実行確認	空き容量	10 Mbyte	予約	0 Mbyte	
←リターン	[実行]登録	[キャンセル]取消			

8. [▽]を押して「コピー実行確認」を選び、[実行]を押す

- DVD-RAM コピーの確認画面が表示されます。



DVD-RAMコピーの確認	
DVD-RAMへのコピーを開始します。 本当に実行しますか?	
[キャンセル]実行しない	[実行]実行する

ご注意

- コピー開始/終了時間の設定は、次の内容に注意して設定してください。
 - コピー開始/終了時間は、元データの範囲内で設定してください。
 - 開始時間は、終了時間以前の時間設定となります。
 - カレンダー上ありえない日付は、設定できません。
- DVD-RAMにコピーしたデータはVR-777本体では再生できません。再生は添付のアプリケーションソフトVR-777 Playerをインストールしたパソコン上で行なってください。市販の汎用再生ソフトでは、秒30コマ未満の設定で記録されたデータを再生できない場合があります。詳しくは、VR-777 Playerの取扱説明書を参照してください。

9. 再度[実行]を押す

- 本機がDVD-RAM コピーモードとなり、コピーを開始します。
- コピー中に[キャンセル]を押すとコピーが中止されます。
- コピーが終了するとコピー終了の画面が表示されます。



DVD-RAMコピー	
コピーが終了しました。	
[検索] DVD-RAM上のリストを見る	[オペレート] DVD-RAMを取り出さず終了

便利な機能 (つづき)

外部からのアラーム／センサー信号で記録を始める

背面のALARM IN 端子にアラーム機器からの信号が入力されると、メニューの「アラーム／センサー記録設定」(P25 ページ)で設定されている記録モードで記録を始めます。アラーム信号が入ったとき、VR-777 が記録中であれば、アラーム記録。停止中であれば“センサー記録”というように、VR-777 の状態によって呼称が変わります。

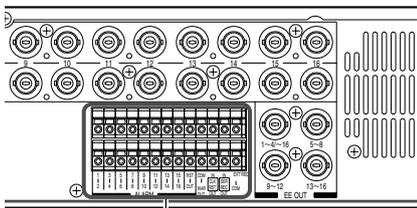
<設定例>

カメラ1~4、カメラ9~12の記録モードの設定をする。

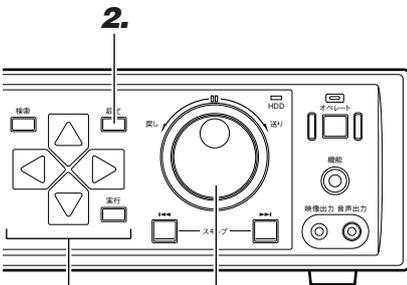
※ カメラ1~4、カメラ9~12の入力記録設定はあらかじめ済ませておきます。

☞P34 ページ

「通常記録をする」



1.



3.5.

4.5.

<記録モードの種類>

- アラーム : VR-777 が記録中のときだけ、アラーム記録を始めます。
- センサー : VR-777 が停止中のときだけ、センサー記録を始めます。
- アラーム／センサー : VR-777 が記録中には、アラーム記録を、停止中にはセンサー記録を始めます。

メモ

- 「外部入力動作設定」(P26 ページ)は、かならず“入”にしてください。“切”になっていると、設定がおわっても、アラーム信号での記録ができません。
- アラーム信号が入ってからセンサー記録を始めるまで、最大1秒程かかるのでプリセンサー記録を使用してください。(P114 ページ)

1. 背面の信号入出力端子にアラーム機器をつなぐ

- ALARM IN 1 ~ ALARM IN 4 と ALARM IN 9 ~ ALARM IN 12 に、それぞれアラーム機器をつなぎます。

2. [設定]を押す

- 20ページの「メニューの設定を変える」の操作に従い、「アラーム／センサー記録設定」画面を表示させます。



3. [▽]を押して「入力ブロック」項目を選ぶ

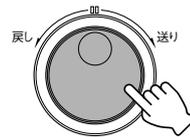
- カーソルを合わせます。



1. 入力ブロック	1
2. 記録モード	アラーム
3. 記録コマ数	1秒に30コマ
4. 記録画質	H
5. 記録時間	3分
6. 音声記録	入切
7. プリセンサー記録	入切
8. プリセンサー記録時間	10秒
9. 外部入力動作設定	切
10. モーションディテクト動作設定	切
11. モーションディテクト詳細設定	▶

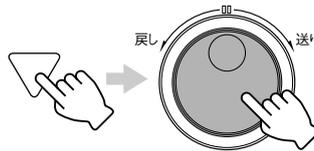
4. ジョグダイヤルを回して“1”を選ぶ

- カメラ1~カメラ4の設定ができます。



1. 入力ブロック	1
2. 記録モード	アラーム
3. 記録コマ数	1秒に30コマ
4. 記録画質	H
5. 記録時間	3分
6. 音声記録	入切
7. プリセンサー記録	入切
8. プリセンサー記録時間	10秒
9. 外部入力動作設定	切
10. モーションディテクト動作設定	切
11. モーションディテクト詳細設定	▶

5. [▽]を押してジョグダイヤルを回し、記録モードを選び、設定する



1. 入力ブロック	1
2. 記録モード	アラーム
3. 記録コマ数	1秒に30コマ
4. 記録画質	H
5. 記録時間	3分
6. 音声記録	入切
7. プリセンサー記録	入切
8. プリセンサー記録時間	10秒
9. 外部入力動作設定	切
10. モーションディテクト動作設定	切
11. モーションディテクト詳細設定	▶

“記録モード”を選びます。

記録時の記録コマ数を選びます。

記録時の記録画質を選びます。

記録時の記録時間を選びます。

記録時に音声記録するかどうかを選びます。

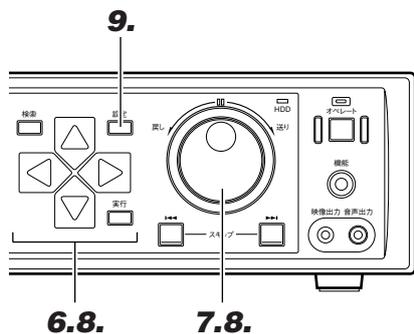
プリセンサー記録を使うかどうかを選びます。

☞P114ページ「プリセンサー記録について」

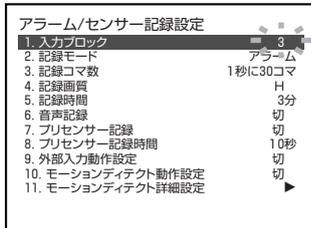
プリセンサー記録時の記録時間を選びます。

記録モードの動作設定をします。

☞P26ページ「アラーム／センサー記録設定画面」

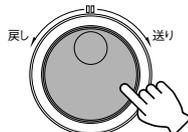


6. [▽/△]を押してカーソルを「入力ブロック」項目に合わせる



7. ジョグダイヤルを回して「3」を選ぶ

- カメラ9～カメラ12の設定ができます。

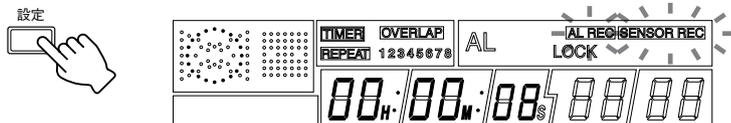


8. 操作5と同様に記録モードを選び、設定を行う

9. [設定]を押してメニュー設定を終了する

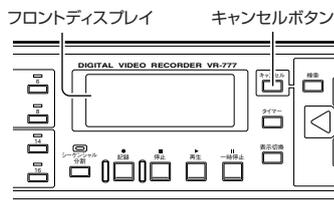
- 通常画面に戻ります。
- フロントディスプレイに“AL REC”もしくは“SENSOR REC”が表示されます。

フロントディスプレイ



メモ

- 記録モードをアラームに設定した場合は、メニュー設定が終了したら [記録] ボタンを押してください。アラーム入力があると、設定したモードで、アラーム記録が始まります。
- 記録モードをセンサーに設定した場合は、メニュー設定後 [停止] ボタンを押してください。アラーム入力があると、設定したモードでセンサー記録が始まります。
- アラームもしくはセンサー記録中のブザー音は [キャンセル] を押して止めることができます。再度 [キャンセル] ボタンを押すとアラーム記録の場合は通常記録へもどり、センサー記録の場合はとまります。
- その後、再度 [キャンセル] ボタンを押すとフロントディスプレイのアラーム/センサーの点滅(AL)が消えます。



■アラームもしくは、センサー記録中を知らせる

<p>本体表示設定/ブザー設定 【本体表示設定】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. アラーム/センサー動作表示 2. アラーム/センサー点滅 3. 入力シーケンシャルモニター 4. 入力信号異常表示 5. ワーニング表示 <p>【ブザー設定】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. HDDエンド 2. アラーム/センサー 3. ワーニング 	<p>入</p> <p>入</p> <p>入</p> <p>入</p> <p>入</p> <p>入</p> <p>入</p>	<p>“入”に設定すると、アラームもしくはセンサー記録中、フロントディスプレイに [AL] が表示されます。</p> <p>“入”に設定すると、アラームもしくはセンサー記録後、フロントディスプレイに [AL] が点滅表示されます。</p> <p>“入”に設定するとブザーが鳴ります。</p>
<p>モニター表示設定</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. EE OUT1～4/～16 2. 1画面シーケンシャル設定 3. 4分割画面自動切替設定 4. アラーム/センサー表示切換 	<p>4分割 ▶</p> <p>1秒</p> <p>1秒</p> <p>1秒</p> <p>1秒</p> <p>切</p>	<p>アラーム信号が入ったときのモニター画面切り換えを設定します。 ※24ページ「モニター表示設定画面」</p>

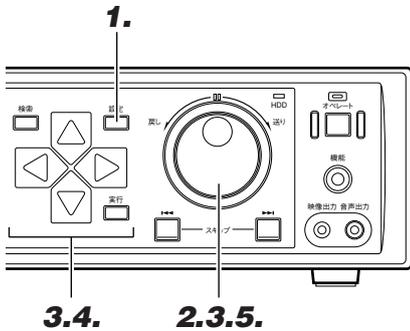
ご注意

- アラーム記録が終了した時点から約5秒以内に再度、アラーム記録が行われた場合、記録開始時間が数秒遅れる場合があります。同様にリストに表示される記録開始時間も、実際に検出した時間より数秒おくれた時間が登録されます。

便利な機能 (つづき)

モーションディテクト機能を使う

VR-777はモニター画面を150エリアに分割し、設定したエリア内映像の“動き”を自動検出し、アラーム/センサー記録を始めるモーションディテクト機能を備えています。

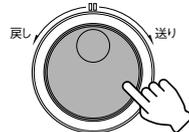


1. [設定]を押す

- 20ページの「メニューの設定を変える」の操作に従い、「アラーム/センサー記録設定」画面を表示させます。

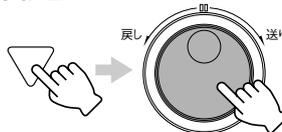


2. ジョグダイヤルを回して入力ブロックを選ぶ



アラーム/センサー記録設定	
1. 入力ブロック	1
2. 記録モード	アラーム
3. 記録コマ数	1秒に30コマ
4. 記録画質	H
5. 記録時間	3分
6. 音声記録	入切
7. プリセンサー記録	入切
8. プリセンサー記録時間	10秒
9. 外部入力動作設定	切
10. モーションディテクト動作設定	切
11. モーションディテクト詳細設定	▶

3. [▽]を押してジョグダイヤルを回し、設定する



アラーム/センサー記録設定	
1. 入力ブロック	1
2. 記録モード	アラーム
3. 記録コマ数	1秒に30コマ
4. 記録画質	H
5. 記録時間	3分
6. 音声記録	入切
7. プリセンサー記録	入切
8. プリセンサー記録時間	10秒
9. 外部入力動作設定	切
10. モーションディテクト動作設定	切
11. モーションディテクト詳細設定	▶

- “記録モード”をえらびます。
- 記録時の記録コマ数を選びます。
- 記録時の記録画質を選びます。
- 記録時の記録時間を選びます。
- 記録時に音声記録するかどうかを選びます。
- プリセンサー記録を使うかどうかを選びます。
☞ 114ページ「プリセンサー記録について」
- プリセンサー記録時の記録時間を選びます。
- モーションディテクトの動作設定をします。
☞ 26ページ「アラーム/センサー記録設定画面」

ご注意

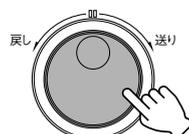
- カメラを接続した場合、蛍光灯などのフリッカーにより、モーションディテクトの誤動作が発生することがあります。この場合は、カメラをフリッカーレスに設定してください。(☞ 使用カメラの取扱説明書)
- 「モーションディテクト動作設定」(☞ 26ページ)は、かならず“切”以外を選んでください。設定がおわっても、モーションディテクト動作しません。
- モーションディテクト機能は盗難や火災などを防止するための機能ではありません。万一発生した事故や損害に対する責任についてはご容赦ください。
- アラーム記録が終了した時点から約5秒以内に再度、アラーム記録が行われた場合、記録開始時間が数秒遅れる場合があります。同様にリストに表示される記録開始時間も、実際に検出した時間より数秒おくれた時間が登録されます。

4. [▽]を押して「モーションディテクト詳細設定」項目を選び[▶]を押す



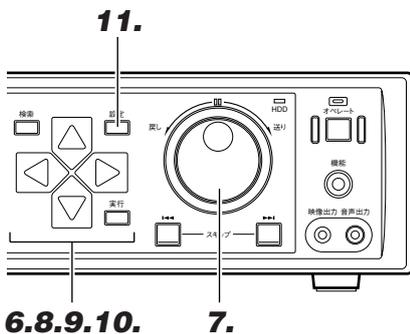
- 「モーションディテクト設定画面」が表示されます。

5. ジョグダイヤルを回し、入力ブロックを選びます



モーションディテクト設定	
1. 入力ブロック	1
2. カメラ 1シーン	エリア設定
3. カメラ 2シーン	エリア設定
4. カメラ 3シーン	エリア設定
5. カメラ 4シーン	エリア設定

- 入力ブロックを“1”に設定：カメラ1～カメラ4の動き検出を設定します。
- 入力ブロックを“2”に設定：カメラ5～カメラ8の動き検出を設定します。
- 入力ブロックを“3”に設定：カメラ9～カメラ12の動き検出を設定します。
- 入力ブロックを“4”に設定：カメラ13～カメラ16の動き検出を設定します。



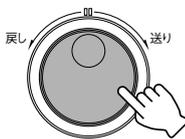
6. [▽]を押しカーソルを「シーン」項目に合わせる

- 動きを検出したいカメラにカーソルを合わせます。



7. ジョグダイヤルを回して設定値を選ぶ

- 「シーン」項目は26ページの「シーンの設定値」からいずれかを選びます。
- マニュアルを選んだ場合、さらに「カメラ別詳細設定」で検出感度、停止感度、対象サイズレベルが設定できます。



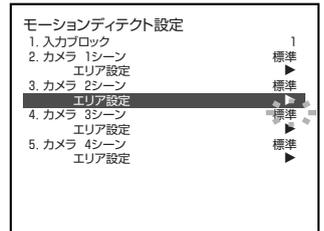
<マニュアル設定のしかた>

- 検出感度、停止感度、対象サイズレベルの数値を決めるときには、シーンの設定値に標準以外を選んだときに表示される、詳細設定の値を参考にしてください。(P.68 ページ「設定について」)

メモ

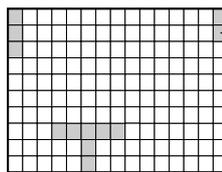
- 「エリア設定」画面に入る前に「入力記録設定」を変更したい場合は、一度設定画面を閉じてから、再度「エリア設定」画面を開くようにしてください。「エリア設定」画面の背景にライブ画像が表示されない場合があります。
- 動きを検出するエリアはモニター画面を150エリアに分割されています。150エリアすべてを設定したいときは、[実行]を長押しします。
- 150エリア全てをキャンセルしたいときは、[キャンセル]を長押しします。
- モーションディテクト機能の記録モード(画質やコマ数)は、アラーム/センサー記録設定と同じになります。(P.64 ページ「外部からのアラーム/センサー信号で記録を始める」)
- 設定が終了したカメラについては、実際に撮影画像を動作させて、モーションディテクト機能による発報および、検出感度をご確認ください。

8. [▽]を押しカーソルを「エリア設定」項目に合わせる



9. [▶]を押す

- 動きを検出をするエリアを選びます。



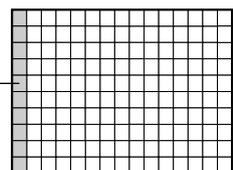
[△/▽/◀/▶]で選択エリアを選び、[実行]を押すとモニター画面のエリア色が変わります。設定を解除するときは[キャンセル]を押します。

- ・同時押しで斜め移動できます。
- ・キーを押し続けると連続移動できます。

- 「エリア設定」画面で[検索]を長押しするとチェックモードが開きます。(P.68 ページ「チェックモードについて」)
- チェックモードを終了するには、もう一度[検索]を押します。

10. 左列のエリアを選択して、[◀]を押し[モーションディテクト詳細設定]画面に戻る

設定中のエリアが左列にあるときに [◀] を押し戻ります。



※他のカメラについて設定するときは3.～10.を繰り返します。

11. [設定]を押して終了する

- 通常画面に戻ります。



便利な機能 (つづき)

モーションディテクトのチェックモードおよび設定のガイダンス

チェックモードについて

■画面イメージ

エリア設定画面で検索ボタンを長く押すと、チェックモードの画面が開きます。

■画面内容設定

- **アラームマーク：**
アラーム検出継続中の場合、画面左上に赤い●が表示されます。
- **検出エリアの境界線：**
エリア設定画面の設定単位エリアの境界線です。
- **検出指定領域枠：**
エリア設定で指定された領域が白枠で表示されます。
- **検出ポイント(白)：**
検出感度に達した動きのあったポイントを白の点で表示します。白い点の個数が対象サイズレベルの個数に達すると、アラーム検出となります。
- **検出ポイント(緑)：**
停止感度と検出感度の中間の動きのあったポイントを緑の点で表示します。
- **検出ポイント合計グラフ：**
白い点の表示個数の変化を、横軸を時間軸として表示します。



設定について

■シーン別設定値

標準以外の場合、メニューのシーンの右横の矢印から設定値を参照することができます。

■設定値とアラームの確認方法

シーンとエリア設定を行ない、チェックモードにて検出させたい動きのあったときに、アラームマークが表示されることを確認してください。アラームマークが表示されない場合、シーンを変更するか、検出エリアを広げてください。

■マニュアル設定について

標準、もしくは他のシーンでご希望の検出ができない場合、マニュアル設定の3つのパラメータの値を、「表1：シーン別設定値」、「表2：対象サイズレベルとアラーム動作最低検出ポイント数」を参考に变更してお使いください。

表1：シーン別設定値

シーン	詳細設定			アラーム動作最低検出ポイント数(※1)
	動作感度	停止感度	対象サイズレベル	
標準	—	—	—	2
出入口 高	10	+1	2	2
出入口 低	7	+4	3	4
通路 高	9	+0	2	2
通路 低	8	+3	3	4
レジ/両替機 高	10	+2	1	1
レジ/両替機 低	10	+2	3	4
ATM 高	10	+3	1	1
ATM 低	8	+5	8	20(※2)
コピー 高	10	+4	2	2
コピー 低	7	+8	3	4
通用門 高	14	+0	1	1
通用門 低	10	+4	5	8
駐車場 高	14	+0	1	1
駐車場 低	10	+4	6	10(※2)
低照度監視 高	15	+0	2	2
低照度監視 低	12	+0	4	6
エレベータ	8	+4	2	2
カウンタ	6	+5	4	6

(※1) チェックモードで表示される白い点の数

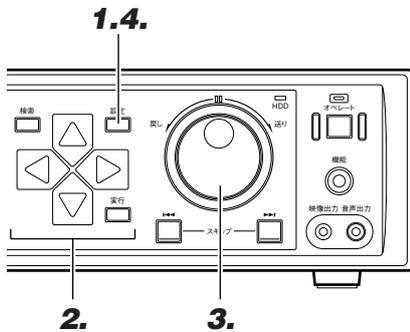
(※2) 1つのエリア内の最大検出ポイントは9個です。検出ポイントの合計が最低検出ポイント数を超えるようにエリア数を設定してください。

表2：対象サイズレベルとアラーム動作最低検出ポイント数

対象サイズレベル	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
アラーム動作最低検出ポイント数	1	2	4	6	8	10	15	20	25	30

停電復帰後に記録をつづける

VR-777は、停電が発生しても、停電の復帰後に自動で記録を始める停電復帰記録機能を備えています。この機能を使えば、記録中に停電があっても復旧作業の手間を省くことができます。



1. [設定]を押す

- 20ページの「メニューの設定を変える」の操作に従い、「動作設定／外部記録設定」画面を表示させます。

動作設定／外部記録設定	
【動作設定】	
1. 停電復帰後記録	切
2. ループ記録	切
3. RS-232C接続	通常
4. 電子透かし画像	切
5. オペロック設定	すべて
【外部記録設定】	
1. 外部記録モード	切
2. シリウス記録設定	切

2. [▽]を押して「停電復帰後記録」項目を選ぶ

- カーソルを合わせます。

3. ジョグダイヤルを回して動作モードを選ぶ

- 停電前モード : 記録中に停電があった場合、停電の復帰後に記録を始めます。ただし、センサー記録中(☞64ページ)に停電があった場合は、復帰しても記録は、始まりません。
- 通常記録 : 停電前の動作に関係なく、停電の復帰後に記録を始めます。

動作設定／外部記録設定	
【動作設定】	
1. 停電復帰後記録	切
2. ループ記録	切
3. RS-232C接続	通常
4. 電子透かし画像	切
5. オペロック設定	すべて
【外部記録設定】	
1. 外部記録モード	切
2. シリウス記録設定	切

メモ

- モニターに「停電履歴が更新されました」と表示されるのは、「オンスクリーン表示」(☞21ページ)でワーニング表示が「入」に設定されている場合のみです。表示は[キャンセル]を押すと消えます。
- 停電復帰した時の日付けや時間のリストを見ることができます。(☞58ページ)

ご注意

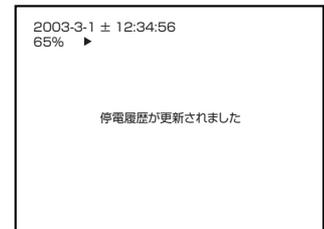
- 停電復帰直後はハードディスクのチェック／修復を行うため、記録を始めるまでに時間がかかる場合があります。(☞ハードディスク修復機能)
- プログラムタイマー中の停電復帰では、その動作に従います。
- 「ハードディスクを修復中です」の表示中、記録以外の操作はできません。(☞ハードディスク修復機能)

4. [設定]を押し終了する

- 通常画面に戻ります。

■停電発生記録を知らせる

- 停電が発生した場合、モニター画面に次のように表示されます。また、記録中に停電した場合は、「停電履歴が更新されました」と「ハードディスクを修復中です」が交互に表示されます。



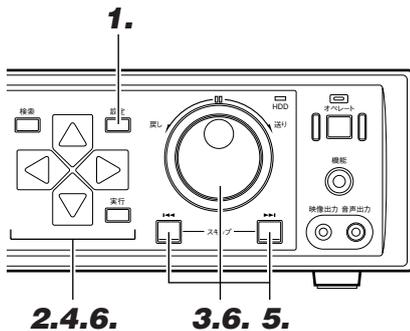
ハードディスク修復機能

- 本機は、ハードディスクの異常時など、システム復旧機能(☞P.61)が動作したとき、および記録中に停電が起きたときに、自動でハードディスクの修復をする機能があります。
- この機能が動作しているあいだは、記録操作のみ行えます。再生・検索、メニュー操作、ネットワーク操作、RS-232C操作(一部)などはできません。
- ハードディスク修復後は、マニュアルスキャンディスクの実行を推奨します。
- 「ハードディスクを修復中です」の表示中は[キャンセル]ボタンを押しても表示は消えません。また、「停電履歴が更新されました」の表示と交互に表示されている場合に[キャンセル]ボタンを押すと、「停電履歴が更新されました」の表示のみが消えます。
- ハードディスク修復後は、メンテナンスモードになります。しばらくの間、再生がとぎれたり、検索に時間がかかります。
- 以下の件にあてはまる場合、記録を開始する前にハードディスクの修復を行います。そのため、記録を開始するまでに時間がかかります。
 - ・オートスキャンディスクが「ON」の場合。(☞29ページ)
 - ・ミラーリング設定時にどちらかのハードディスクが故障した場合。(☞29ページ)

カメラチャンネル画面ごとにタイトルをつける

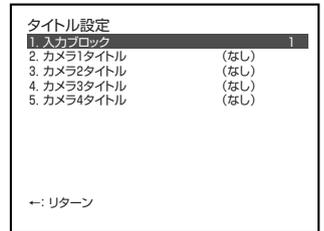
<設定例>

カメラ1のタイトルに“スロット島A”を登録します。



1. [設定]を押す

- 20ページの「メニューの設定を変える」の操作に従い「タイトル設定」画面を表示させます。

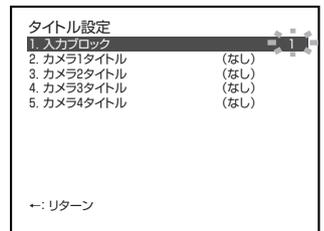
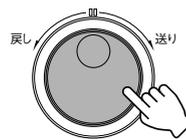


2. [▽]を押して「入力ブロック」項目を選ぶ

- カーソルを合わせます。

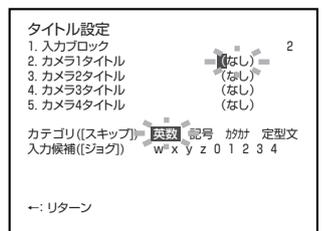


3. ジョグダイヤルを回して入力ブロック“1”を選ぶ



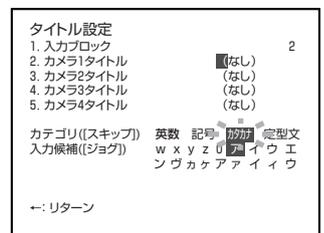
4. [▽]を押し「カメラ1タイトル」項目を選ぶ

- カーソルを合わせます。



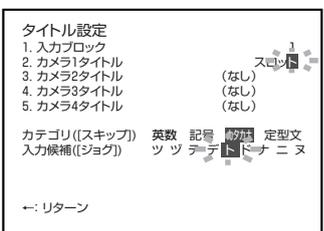
5. [スキップ]を押してカテゴリを選ぶ

- [カタカナ] を選びます。



6. ジョグダイヤルを回して文字を選ぶ

- “ス”にカーソルを合わせたら[▷]を押してカーソルを送り、続いて“ロ”“ッ”“ト”を選びます。



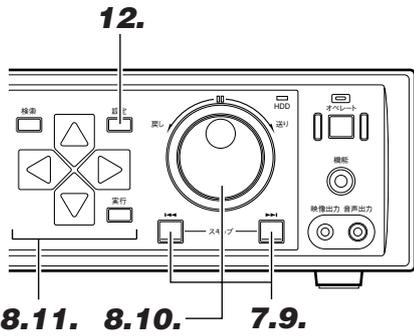
<カメラタイトルで選べる文字>

(パソコンからの設定ではこの限りではありません)

- 英数: ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ
0123456789
- 記号: !#\$%&()*+,-./:;<=>?@^_`{|}~
- カタカナ: ヲアイウエオカキクケコサシスセソチツテトナニヌネノ
ハヒフヘホマミムメモヤヨリルレロワヅヅ
- 定型文: カメラ、エレベーター、エントランス、ホール、非常口、通路、廊下、倉庫、階、車庫、出口、入口、風除室、東、西、南、北、上、下、左、右、券売機、両替機、計数機、島

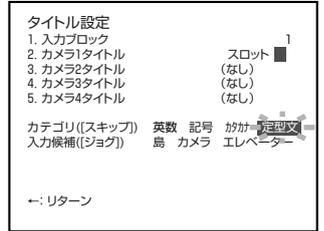
※カメラタイトルは、カタカナおよび定型文の場合、最大10文字まで登録できます。

便利な機能 (つづき)



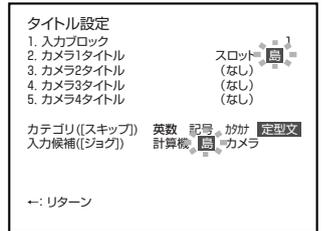
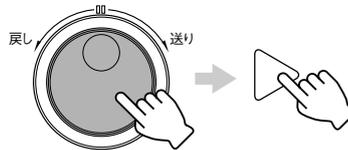
7. [スキップ]を押してカテゴリを選ぶ

- [定型文] を選びます。



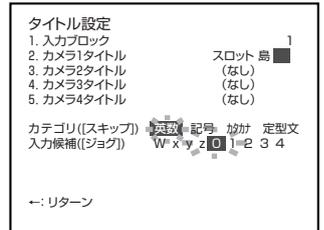
8. ジョグダイヤルを回して“島”を選ぶ

- “島” にカーソルを合わせたら [▷] を押してカーソルを送ります。

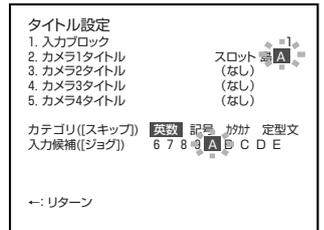
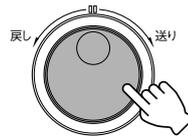


9. [スキップ]を押してカテゴリを選ぶ

- [英数] を選びます。

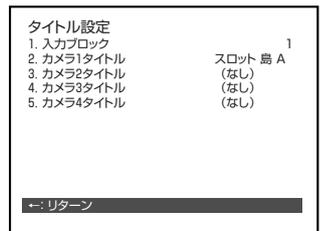


10. ジョグダイヤルを回して“A”を選ぶ



※他のカメラも登録するときは、2.～10.を繰り返します。

11. [▽]を押し「←:リターン」にカーソルを合わせ[◀]を押す



メモ

- 1回登録した文字を消すには、[◀/▶]を押して文字を選び[キャンセル]を押します。

12. [設定]を押して終了する

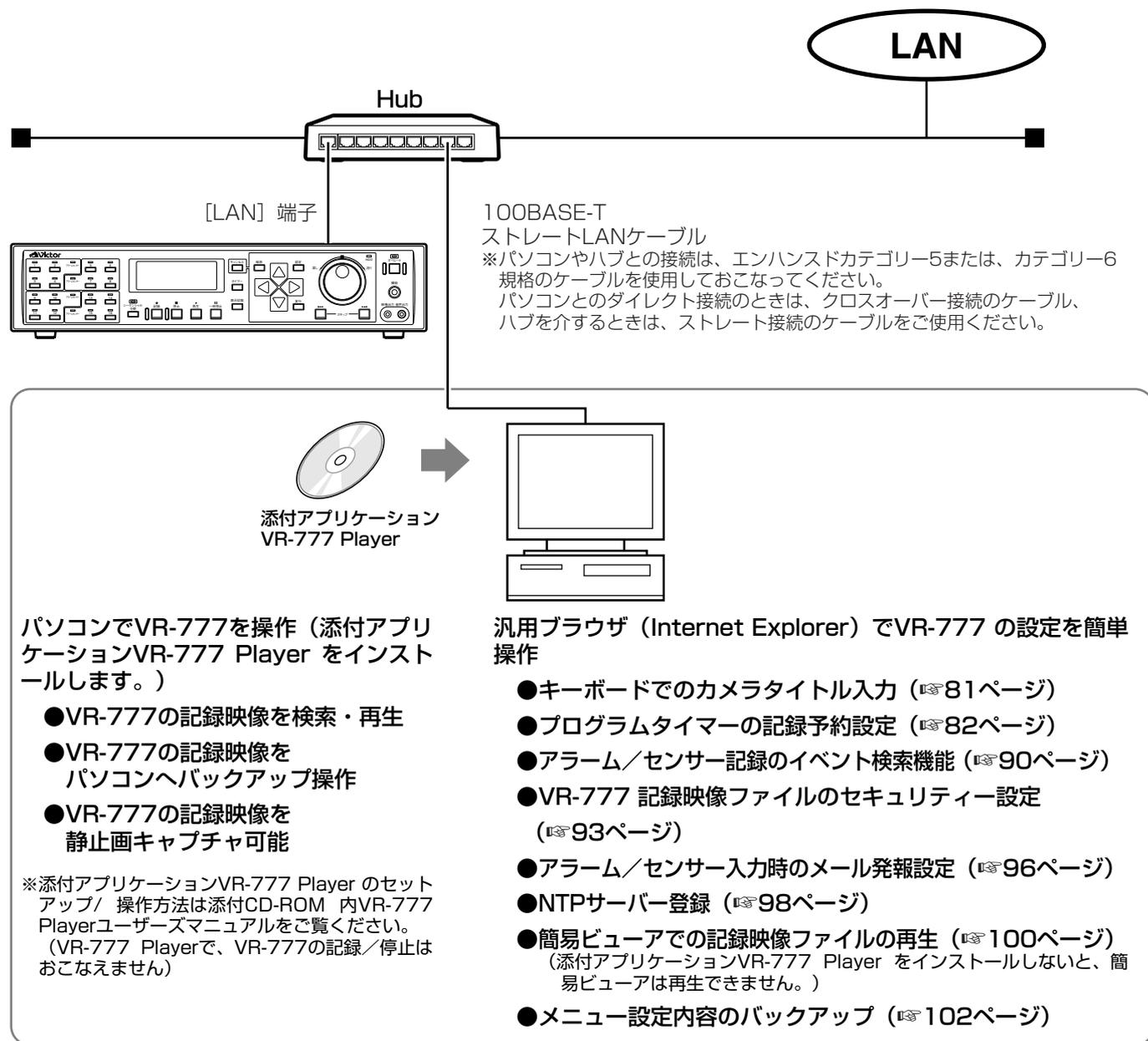
- 通常画面に戻ります。



パソコンに接続して使う — Web ブラウザとは —

こんなことができます

LANケーブルでパソコンとつなぐことにより、VR-777で記録した映像をパソコンのモニターで見ることができます。



メモ

- 上記パソコンの仕様は、アプリケーションソフトを快適にお使いいただくための目安であり、動作の保証をするものではありません。動作環境条件を満たしているパソコンをお使いの場合でも、お客様の使用状況によっては快適にお使いいただけない場合があります。

ご注意

- VR-777 1 台に対して、複数のパソコンから同時に再生することはできません。

Webブラウザを正しくお使いいただくためのご注意

■接続可能なパソコンの仕様

- OS : Windows2000 Professional SP4(JP) /
Windows XP Professional SP1 (JP)
Windows XP Home Edition SP1 (JP)
- CPU : PentiumⅢ 800MHz以上
- メモリ : 256 MB以上
- ハードディスク :
添付アプリケーションソフトのインストールに50 MB以上の
空き容量が必要です。
- モニター : (XGA (1024×768ピクセル) 以上必須)
(SXGA (1280×1024ピクセル) 推奨)

※Internet ExplorerはVer. 5.5 (SP2) / Ver.6.0で動作確認を行なっています。なお、Internet Explorerのver.5.0では動作しません。

■その他の注意

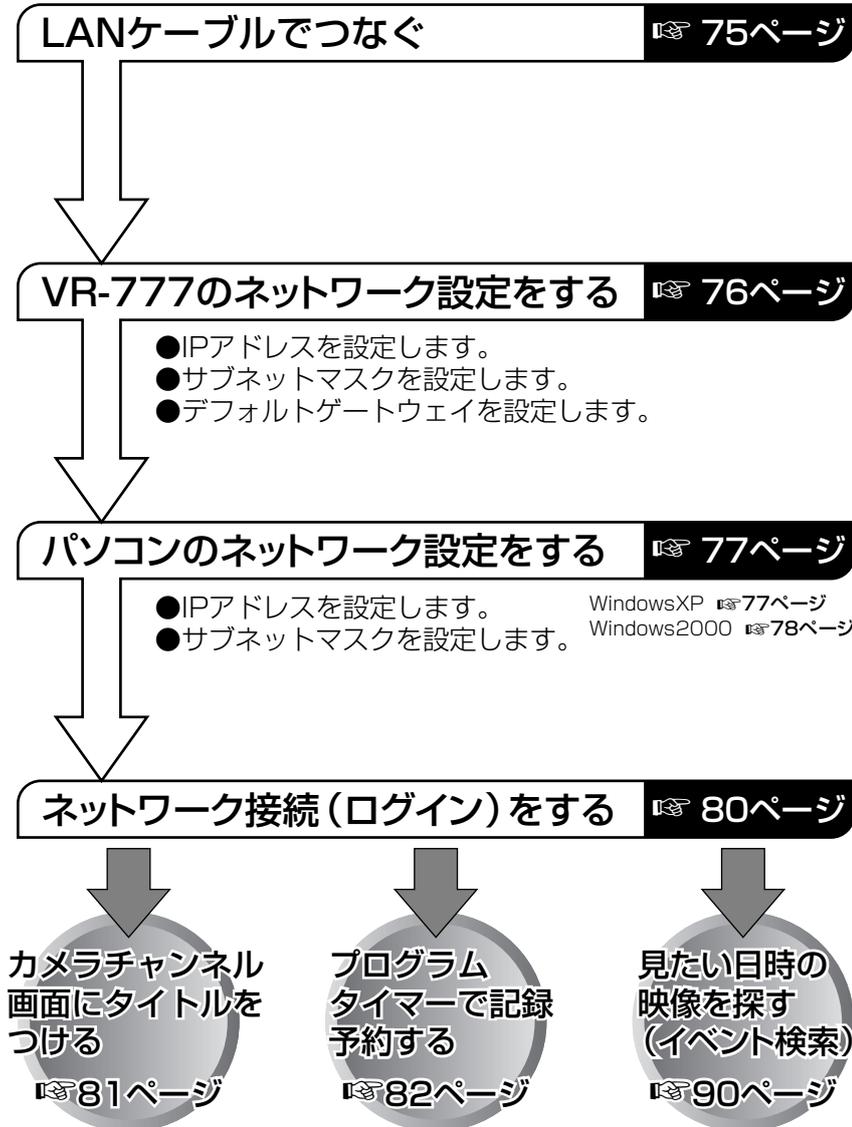
- ・Webブラウザは、イントラネット環境での利用を前提としていますので、Internet Explorerの設定の中で[インターネットオプション]→[接続]で、プロキシサーバ使用を無効にしてください。
- ・VR-777が記録中、タイマースタンバイ中、オペレーション処理中は、VR-777の本体操作を優先しています。そのため、Webブラウザおよび簡易ビューアからの操作は制限されます。

メモ

- パソコンの仕様は、アプリケーションソフトを快適にお使いいただくための目安であり、動作の保証をするものではありません。動作環境条件を満たしているパソコンをお使いでも、お客様の使用状況によっては快適にお使いいただけない場合があります。

パソコンに接続して使うーWeb ブラウザとはー (つづき)

準備の流れ



メモ

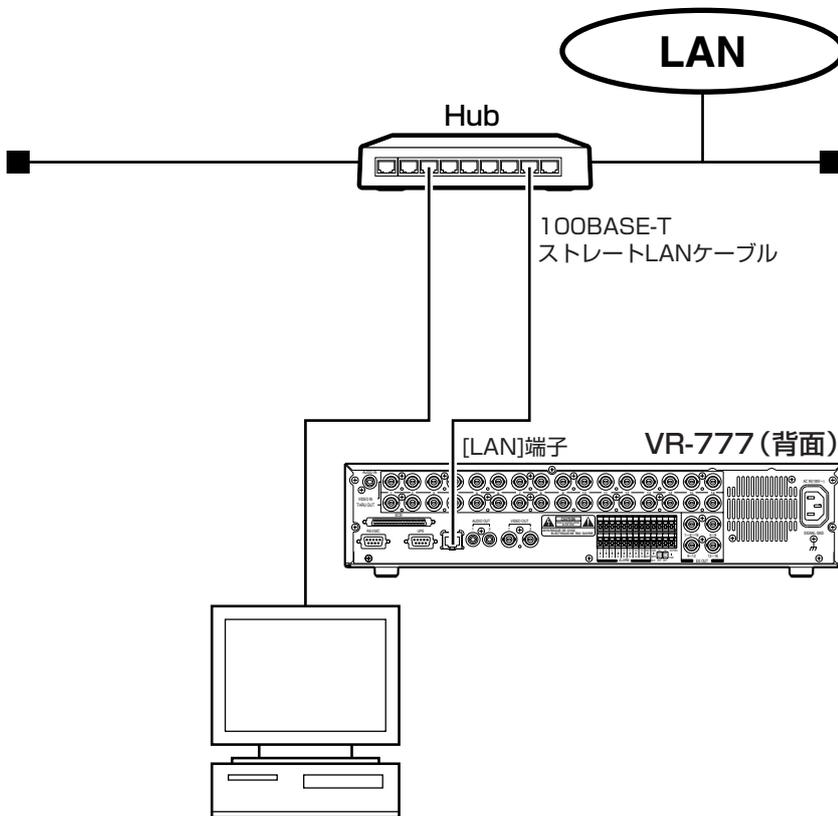
- ◆IPアドレスとは. . . 111ページ
- ◆サブネットマスクとは. . . 111ページ
- ◆デフォルトゲートウェイとは. . . 111ページ

- ◆ログインとは. . . 111ページ

パソコンに接続して使うーWeb ブラウザ接続と準備ー

LANケーブルでつなぐ

■ネットワーク (LAN) につなぐ



メモ

◆LANとは. . .
☞ 111ページ

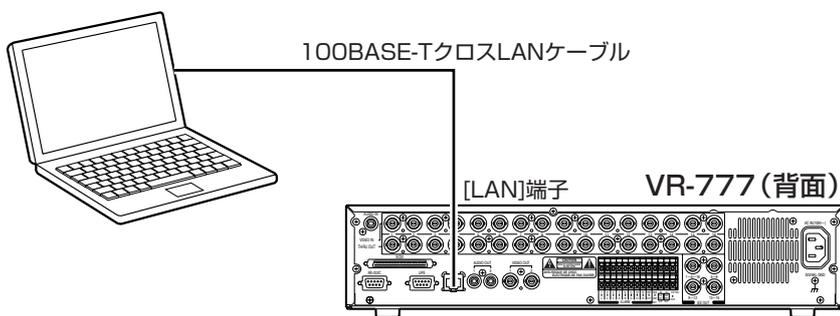
◆パソコンやHub との接続は、エンハンスドカテゴリ-5または、カテゴリ-6規格のケーブルを使用してください。パソコンとのダイレクト接続のときは、クロスオーバー接続のケーブル、Hub を介するときは、ストレート接続のケーブルを使用してください。

◆既存のLAN 回線に接続する場合には、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

ご注意

◆VR-777 1台に対して、複数のパソコンから同時に再生することはできません。

■ピアツーピアでつなぐ場合



メモ

◆ピアツーピアとは. . .
☞ 111ページ

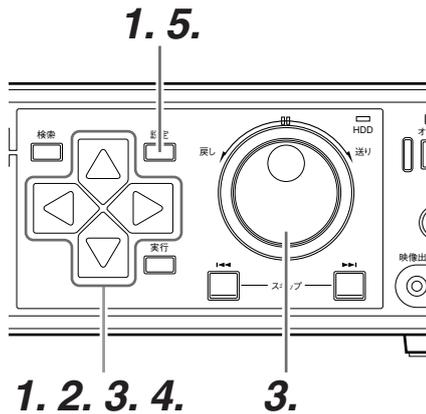
ご注意

●LANケーブルの接続は、VR-777の電源コードを抜いてからおこなってください。

パソコンに接続して使うーWeb ブラウザ接続と準備ー（つづき）

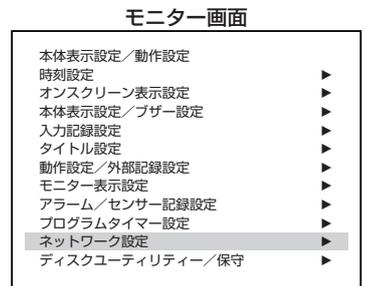
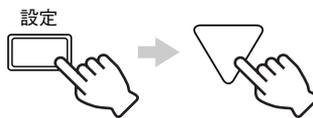
VR-777のネットワーク設定をする

最初の設定はVR-777につないだモニター画面を見ながら、VR-777本体で行います。



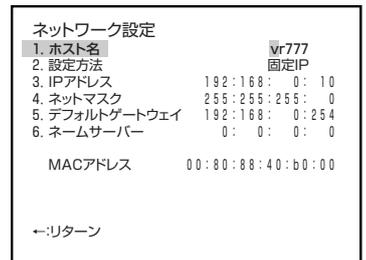
1. [設定]を押す

・[▽]を押してカーソルを「ネットワーク設定」に合わせます。



2. [▶]を押す

・「ネットワーク設定」画面を表示させます。



※工場出荷状態は次のように設定されています。

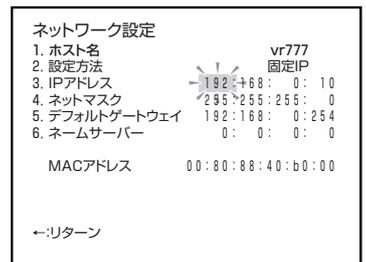
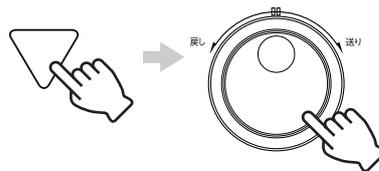
- 設定方法：固定IPアドレス(DHCPサーバ使用しない)
- IPアドレス：192.168.0.10
- サブネットマスク：255.255.255.0
- デフォルトゲートウェイ：192.168.0.254

VR-777をつなぐLAN環境で、各設定値が規定されているときは、ネットワーク管理者にご相談ください。

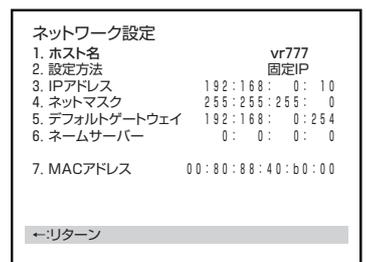
メモ

- ・設定方法をDHCPに設定した場合、このメニュー画面を抜けて再度表示させるとDHCPサーバーから割り振られたIPアドレスが表示されます。(変更はできません。)
- ・設定方法に「DHCP」を選んだ場合、本機は起動時および設定変更時のみIPアドレスの取得動作を行いません。起動後にネットワークが有効になった場合は、IPアドレスの取得のため、設定方法を一旦別のものに変更してから「DHCP」に設定し直してください。

3. [▽]を押して変えたい項目にカーソルを合わせ ジョグダイヤルを回す



4. [▽]を押してカーソルを「←：リターン」に合わせ、[◀]を押す



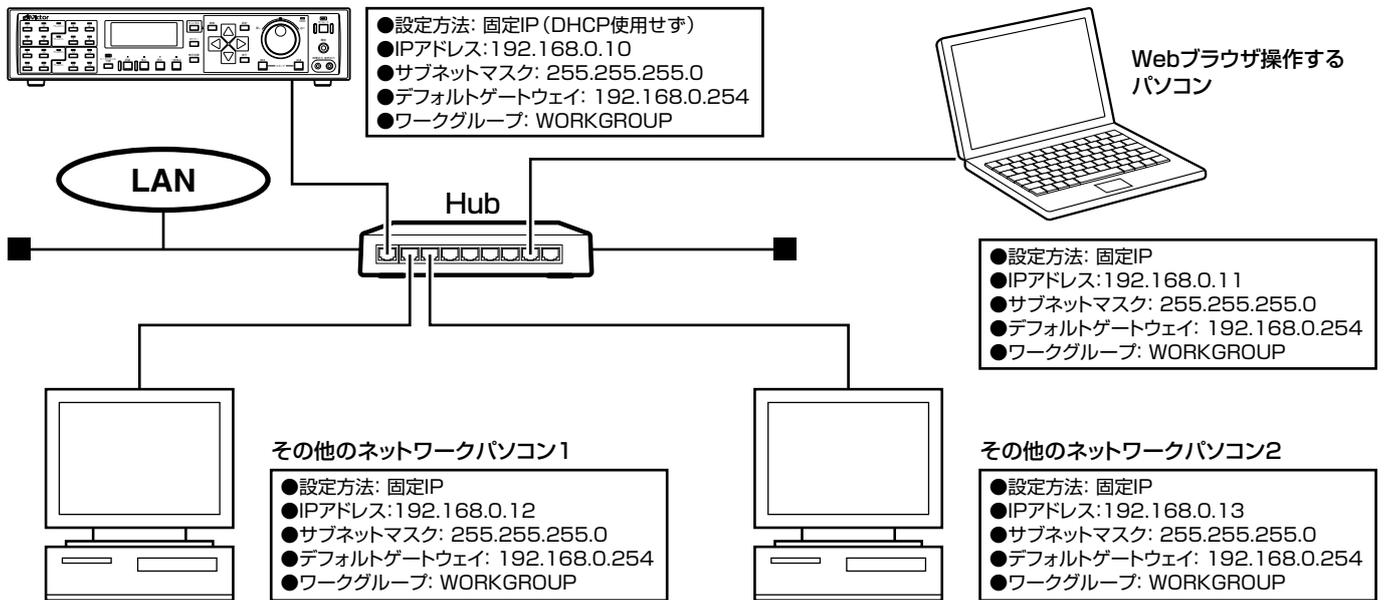
5. [設定]を押し終了する

・通常画面に戻ります。



ここでは、VR-777の工場出荷設定を利用し、小規模のLANを構築する場合を設定例として説明します。

■設定例



パソコンのネットワーク設定をする (Windows XPの場合)

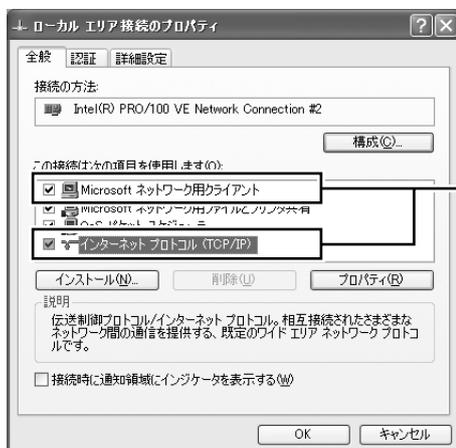
Windows XPの場合

1. スタート をクリックする

・「マイネットワーク」を右クリックし、「プロパティ」を選びます。

2. Web ブラウザ操作するパソコンがつながれているネットワークを選ぶ

・右クリックし「プロパティ」を選びます。



①チェックがついていることを確認します。

・79 ページ **3.**に進んでください。

メモ

●「Microsoftネットワーク用クライアント」と「インターネットプロトコル(TCP/IP)」が表示されないときはインストールしてください。

インストール方法については、Windowsのヘルプをご覧ください。

◆TCP/IPとは...
111ページ

◆DHCPとは...
111ページ

◆ワークグループとは...
111ページ

パソコンに接続して使うーWeb ブラウザ接続と準備ー（つづき）

パソコンのネットワーク設定をする（Windows 2000の場合）

Windows 2000の場合

1. をクリックする

- ・「設定」→「コントロールパネル」をクリックします。
- ・「ネットワークとダイヤルアップ接続」をダブルクリックして開きます。

2. 「ローカルエリア接続」を選ぶ

- ・「ローカルエリア接続」を右クリックし「プロパティ」をクリックします。



- ・79ページ **3.**に進んでください。

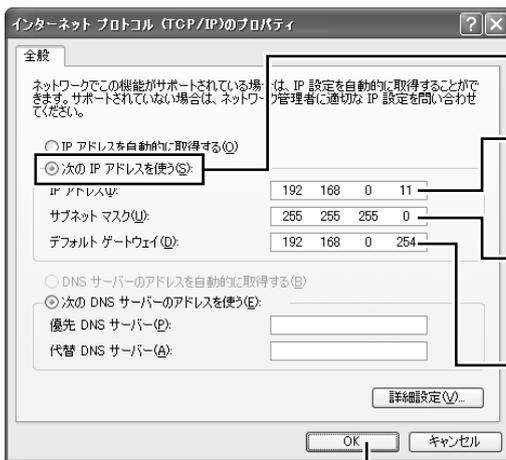
パソコンのネットワーク設定をする (Windows 2000/XPの場合)

3. 「インターネットプロトコル(TCP/IP)」を選び、**プロパティ(R)** をクリックする



①「インターネットプロトコル (TCP/IP)」を選びます。

②「プロパティ」をクリックします。



③「次のIPアドレスを使う」を選びます。

④「IPアドレス」を 192.168.0.11 に設定します。

⑤「サブネットマスク」を 255.255.255.0 に設定します。

⑥「デフォルトゲートウェイ」を 192.168.0.254 に設定します。

⑦「OK」をクリックします。

4. 「ローカルエリア接続のプロパティ」画面の **OK** をクリックする



①「OK」をクリックします。

メモ

●画面はWindows XPのもので、Windows 2000の場合は、画面が多少異なります。

ご注意

●ネットワーク環境内で同じIPアドレスを使わないように設定してください。

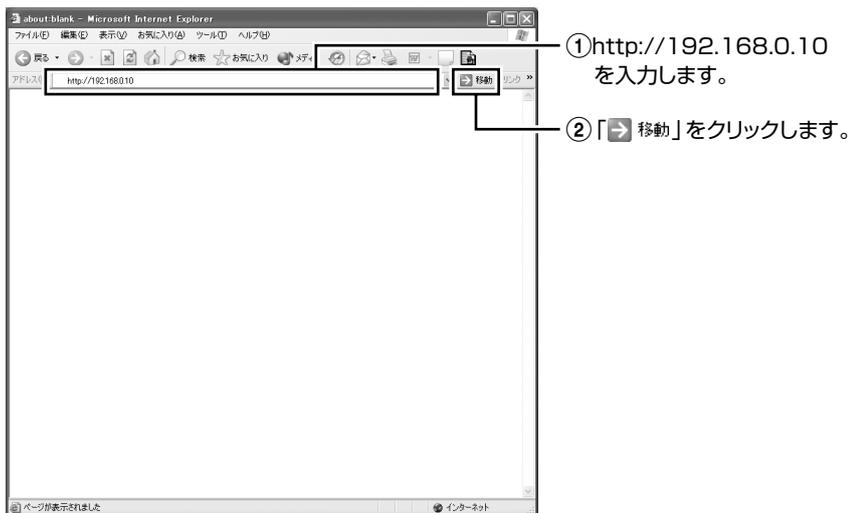
●パソコンのネットワーク設定では、1つのNICに対して、複数のIPアドレスを登録しないでください。

パソコンに接続して使う—Webブラウザ接続と準備—（つづき）

ネットワーク接続（ログイン）する

1. Webブラウザを起動する

2. アドレス欄にVR-777のIPアドレス(工場出荷時設定: 192.168.0.10)を入力する



3. VR-777へのログインパスワードを入力する



トップページ



メモ

◆VR-777へのログインパスワードはWebブラウザ操作で変更することができます。

📖 93ページ

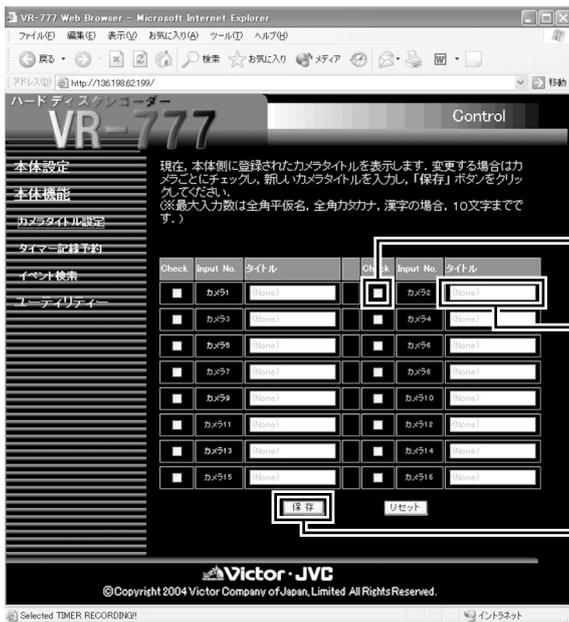
工場出荷時は
ユーザー名: admin (小文字)
パスワード: vr-777 (小文字)

パソコンに接続して使う—Web ブラウザふだんの使い方—

カメラチャンネル画面にタイトルをつける

1. **本体機能** → **カメラタイトル設定** をクリックする

2. カメラタイトルを設定する



①チェックボタンをクリックします。

②カメラタイトル文字を入力します。

③「保存」をクリックします。

メモ

●カメラタイトルは、半角英数字、全角英数字、全角ひらがな、全角カタカナ、漢字が使用できます。また、半角文字の場合は、最大20文字まで、全角文字の場合は、最大10文字まで設定できます。

●空白の状態で「保存」をクリックすると、カメラタイトルは初期化されます。

●VR-777側で認識できる全角文字は、第1水準漢字(2965文字)、第2水準漢字(3390文字)のみのため、一部のOSに依存する文字は本体では空白として表示します。(例:①、②、Ⅰ、Ⅱ、(株)など)

●「保存」をクリックすると、設定したタイトルがVR-777本体に保存されます。

●「保存」をクリックしたら、修正は行えません。再度入力してください。

●「リセット」をクリックすると、本体の設定値に戻ります。

●Input Noの「カメラXX」部分がオレンジの場合は、本体メニューの入力記録設定が「カメラ XX 切」であることを表します。

ご注意

●チェックボックスをクリックしないとカメラタイトル文字を入力することはできません。

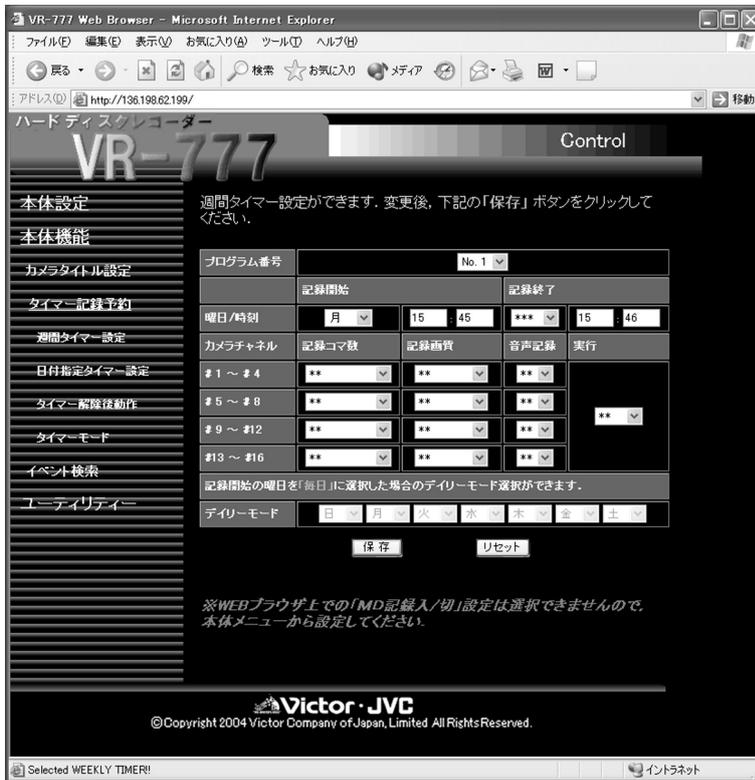
●「保存」は更新したい全てのカメラタイトル設定を行ってからクリックしてください。

●VR-777が記録中の場合、カメラタイトルの変更は行えません。

パソコンに接続して使う—Web ブラウザふだんの使い方— (つづき)

プログラムタイマーで記録予約する (設定画面について)

1. **本体機能** → **タイマー記録予約** → **週間タイマー設定**
をクリックする



■プログラムリスト (タイマー記録予約状況表示)

- ・タイマー記録予約状況の表示と、記録予約の変更/削除ができます。



メモ

英記表示の意味

- SPE : 記録コマ数
- QUL : 記録画質
- AUD : 音声記録

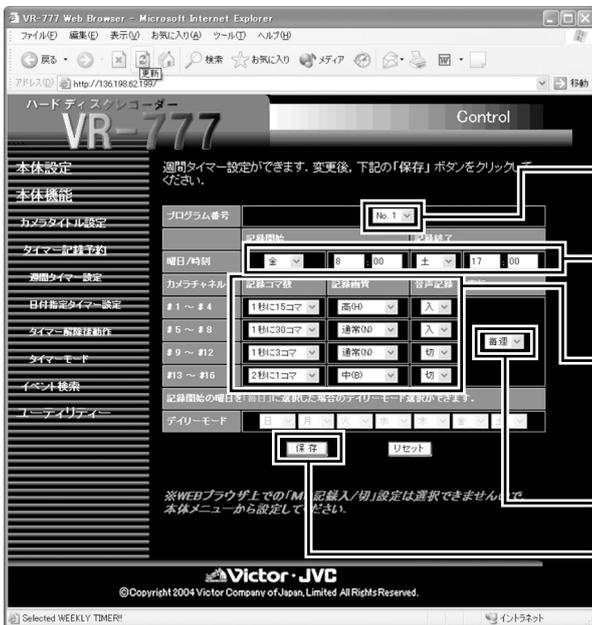
プログラムタイマーで記録予約する（毎週決められた時間に記録を始める）

<設定例> 毎週金曜日の午前8:00～土曜の午後5:00に記録する。

■記録モード

・カメラ1～4	・カメラ5～8	・カメラ9～12	・カメラ13～16
記録コマ数 : 15	記録コマ数 : 30	記録コマ数 : 3	記録コマ数 : 1/2
記録画質 : H	記録画質 : N	記録画質 : N	記録画質 : B
音声記録 : 入	音声記録 : 入	音声記録 : 切	音声記録 : 切

1. 本体機能 → タイマー記録予約 → 週間タイマー設定 をクリックする



- ① 記録予約する番号を選びます。
- ② 記録開始の曜日/時間と終了の曜日/時間を選びます。
- ③ カメラチャンネルごとの[記録コマ数][記録画質][音声記録]を選びます。
- ④ “毎週”を選びます。
- ⑤ 「保存」をクリックします。



- ⑥ プログラムリストで予約設定の確認をします。

メモ

- 週間タイマー設定では、最大8件のタイマー記録予約が行えます。
- 「番号」には、現在予約されていない番号のみ表示されます。
- 記録コマ数の「10秒に1コマ」または「5秒に1コマ」を選んだ場合、音声記録は「切」に設定され、変更できません。
- 「保存」をクリックすると、VR-777本体に、設定が保存されます。
- 設定を間違えた場合は、「リセット」をクリックしてください。
- 「保存」をクリックした後に、設定値をもとに戻すことはできません。

ご注意

- VR-777の「入力記録設定画面」であるブロックのカメラ設定が全て「切」の場合、そのブロックの「記録コマ数」「記録画質」「音声記録」は変更できません。
- タイマープログラムごとにモーションディテクトのON/OFFを設定したい場合は、本機のメニューで設定してください。(P.44ページ)

2. プログラムタイマースタンバイにする

☞ 87 ページ「VR-777 をプログラムタイマースタンバイにする」

パソコンに接続して使う—Web ブラウザふだんの使い方— (つづき)

プログラムタイマーで記録予約する (毎日決められた時間に記録を始める)

<設定例> 毎日、午前8:00~午後5:00に記録する。

■記録モード

・カメラ1~4	・カメラ5~8	・カメラ9~12	・カメラ13~16
記録コマ数 : 15	記録コマ数 : 30	記録コマ数 : 3	記録コマ数 : 1/2
記録画質 : H	記録画質 : N	記録画質 : N	記録画質 : B
音声記録 : 入	音声記録 : 入	音声記録 : 切	音声記録 : 切

1. 本体機能 → タイマー記録予約 → 週間タイマー設定 をクリックする

① 記録予約する番号を選びます。

② 記録開始の曜日/時間と終了の曜日/時間を選びます。[開始曜日]には「毎日」を選びます。

③ カメラチャンネルごとの[記録コマ数][記録画質][音声記録]を選びます。

④ 「入」を選びます。

⑤ 「保存」をクリックします。

すべての曜日が選択されていることを確認してください。

メモ

- 「開始曜日」で「毎日」を選ぶと、「終了曜日」は設定できません。
- 「開始曜日」で「毎日」を選ぶと、「実行」は「入」、「切」しか選択できません。

メモ

プログラムリスト(週間タイマー設定)設定値を変える場合は「変更」を、取り消す場合は「削除」をクリックします。

英記表示の意味

- SPE : 記録コマ数
- QUL : 記録画質
- AUD : 音声記録

● タイマープログラムごとにモーションディテクトのON/OFFを設定したい場合は、本機のメニューで設定してください。(P.46ページ)

プログラムリスト(週間タイマー設定)

リストから変更する場合は「変更」ボタンを、削除する場合は「削除」ボタンをクリックしてください。尚、プログラム内容が黄色の場合、タイマー中のMD記録は作動しません。

No.	開始日時	終了日時	#1~#4			#5~#8			#9~#12			#13~#16			実行
			SPE	QUL	AUD	SPE	QUL	AUD	SPE	QUL	AUD	SPE	QUL	AUD	
1	毎日 08:00	*** 17:00	15	H	A	30	N	A	3	N	-	1/2	B	-	入
2	月	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	実行
3	火	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	実行
4	水	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	実行
5	木	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	実行
6	金	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	実行
7	土	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	実行
8	毎日	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	実行

※ 曜日の欄は週間タイマー設定のデフォルトモードが有効になっています。

タイマー記録予約状況 (週間)

2. プログラムタイマースタンバイにする

☞ 87 ページ 「VR-777 をプログラムタイマースタンバイにする」

プログラムタイマーで記録予約する（決められた曜日、決められた時間に記録を始める）

<設定例> 毎週、月曜、水曜、金曜の午前9:30～午後10:30に記録する。

■記録モード

・カメラ1～4	・カメラ5～8	・カメラ9～12	・カメラ13～16
記録コマ数 : 15	記録コマ数 : 30	記録コマ数 : 3	記録コマ数 : 1/2
記録画質 : H	記録画質 : N	記録画質 : N	記録画質 : B
音声記録 : 入	音声記録 : 入	音声記録 : 切	音声記録 : 切

1. 本体機能 → タイマー記録予約 → 週間タイマー設定 をクリックする

メモ

- 「開始曜日」で「毎日」を選ぶと、「終了曜日」は設定できません。
- 「開始曜日」で「毎日」を選ぶと、「実行」は「入」、「切」しか選択できません。

メモ

- 「開始曜日」が「毎日」のときデイリーモードは設定できません。記録したくない曜日は「***」を選び「保存」をクリックします。

プログラムリスト(週間タイマー設定)設定値を変える場合は「変更」を取り消す場合は「削除」をクリックします。他の記録予約で、「毎日」を選んでいられる予約番号があるときは注意してください。「毎日」を選んでいるすべての記録予約が設定されます。

- 「保存」をクリックすると、VR-777本体に、設定が保存されます。
- 設定を間違えた場合は、「リセット」をクリックします。本体側に記録された設定に戻ります。
- 「保存」をクリックした後に、設定値をもとに戻すことはできません。

●タイマープログラムごとにモーションディテクトのON/OFFを設定したい場合は、本機のメニューで設定してください。(P.48ページ)

タイマー記録予約状況(週間)

2. プログラムタイマースタンバイにする

☞ 87 ページ「VR-777 をプログラムタイマースタンバイにする」

パソコンに接続して使う—Web ブラウザふだんの使い方— (つづき)

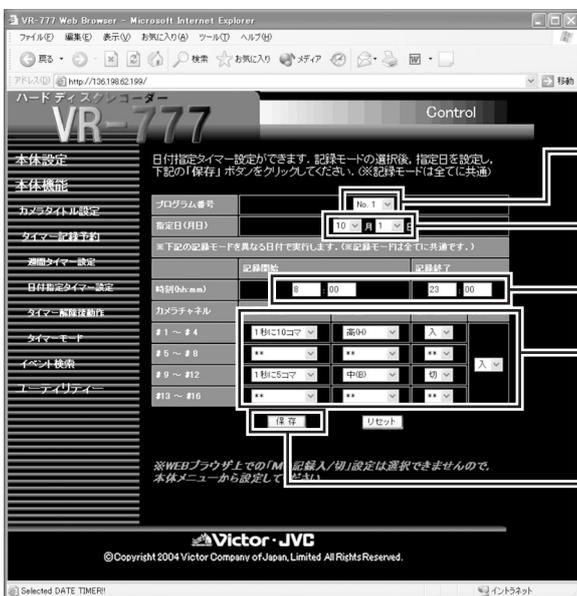
プログラムタイマーで記録予約する (日付を指定して記録を始める)

<設定例> 10月1日の午前8:00～午後11:00に記録する。

■記録モード

・カメラ1～4	・カメラ5～8	・カメラ9～12	・カメラ13～16
記録コマ数 : 10	記録せず	記録コマ数 : 5	記録せず
記録画質 : H		記録画質 : B	
音声記録 : 入		音声記録 : 切	

1. 本体機能 → タイマー記録予約 → 日付指定タイマー設定 をクリックする



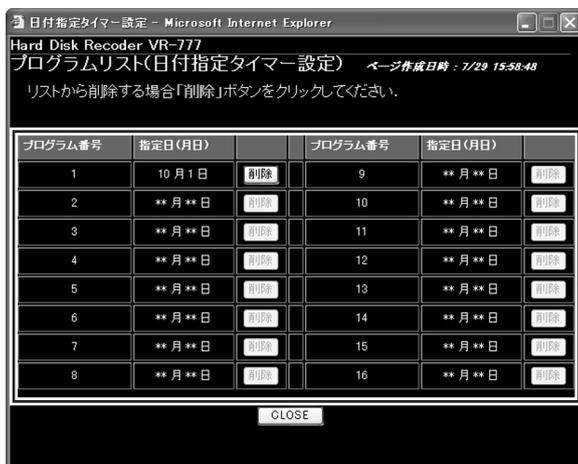
- ① 記録予約する番号を選びます。
- ② 記録する日付けを選びます。
- ③ 記録する時間を選びます。
- ④ カメラチャンネルごとの[記録コマ数][記録画質][音声記録][実行]を選びます。
- ⑤ 「保存」をクリックします。

メモ

- 日付指定タイマー設定では、指定した記録モードで最大16件のタイマー記録予約が行えます。
- 「リセット」をクリックすると、直前に「保存」した値に戻ります。
- 「保存」をクリックすると、VR-777本体に設定が保存されます。
- 設定を間違えた場合は「リセット」をクリックします。
- 「保存」をクリックしたあとに、設定値をもとに戻すことはできません。

ご注意

- VR-777の「入力記録設定画面」であるブロックのカメラ設定が全て「切」の場合、そのブロックの「記録コマ数」「記録画質」「音声記録」は変更することはできません。
- タイマープログラムごとにモーションディテクトのON/OFFを設定したい場合は、本機のメニューで設定してください。(P. 50ページ)



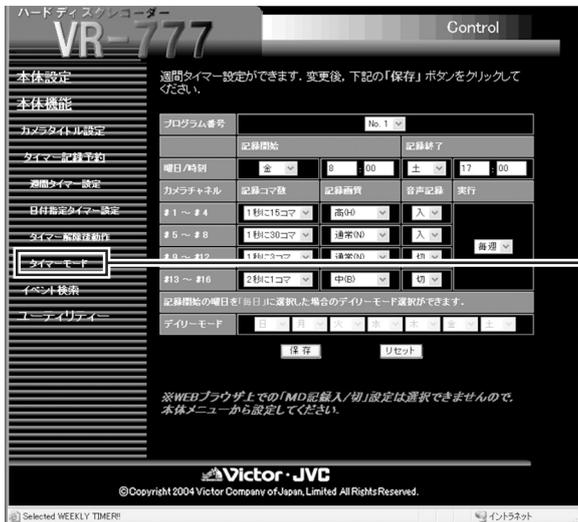
タイマー記録予約状況 (日付指定)

2. プログラムタイマースタンバイにする

87 ページ 「VR-777 をプログラムタイマースタンバイにする」

VR-777をプログラムタイマースタンバイにする

1. 本体機能 → タイマー記録予約 → タイマーモード をクリックする



① 「タイマーモード」をクリックします。

2. 実行 をクリックする



① 「実行」をクリックします。

3. タイマースタンバイを解除する場合、解除 をクリックする



① 「解除」をクリックします。

メモ

- タイマー記録予約の実行モードが1つも有効でない場合で、かつセンサー設定が行われていない場合、タイマーモードを実行することはできません。

メモ

- タイマースタンバイを「解除」した後の動作は、「タイマー解除後動作」で確認できます。
P.88ページ
- Webブラウザ操作で、タイマー解除動作に関する設定変更および記録の停止は、行えません。
P.28ページ

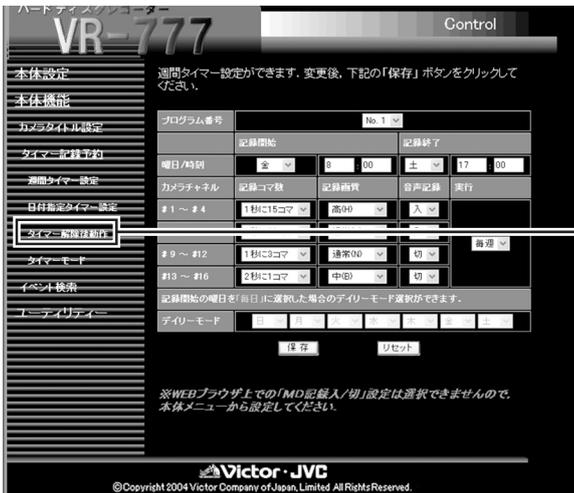
ご注意

- タイマースタンバイが有効な場合、「解除」ボタンが表示されますが、タイマー解除動作を確認した上でご利用ください。

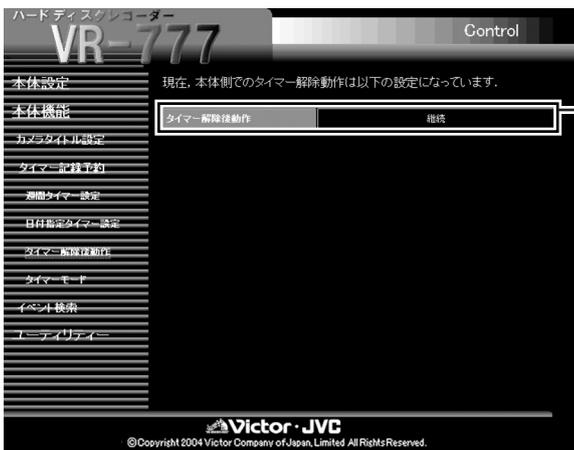
パソコンに接続して使う—Web ブラウザふだんの使い方—（つづき）

タイマー解除後の記録動作を確認する

1. **本体機能** → **タイマー記録予約** → **タイマー解除後動作** をクリックする

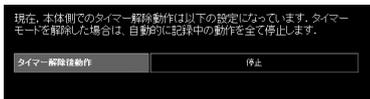


① 「タイマー解除後動作」をクリックします。

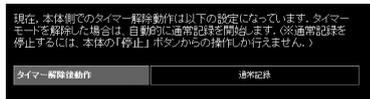


② 現在の「タイマー解除後動作」の設定状況を表示します。
例) タイマー解除後動作: 「継続」

▼タイマー解除後動作:「停止」の場合



▼タイマー解除後動作:「通常記録」の場合



メモ

●タイマー解除後動作は、VR-777本体で設定します。タイマー予約解除後の動作は、次の3 つの中から選択できます。

- 『継続』 : タイマー記録中であれば、そのまま記録を継続します。
- 『停止』 : タイマー記録中か否かに関わらず、停止状態とします。
- 『通常記録』: タイマー記録中か否かに関わらず、通常記録を開始します。

ご注意

●Webブラウザ操作で、タイマー解除後動作は設定確認のみで、設定変更は行えません。(P.50ページ)

プログラムタイマーの記録予約を変更／取り消しをする

■ [週間タイマー設定] の場合

1. **本体機能** → **タイマー記録予約** → **週間タイマー設定** をクリックする



■ 予約を変更する。
「変更」をクリックして
タイマー記録予約設定
エリアで設定をやり直
します。

■ 予約を取り消す。
「削除」をクリックします。

メモ

- 「変更」ボタンをクリックすると、プログラムリストに、現在の設定値が表示されます。
- プログラムタイマーを実行する／しないを変更する場合は、プログラムごと「変更」をクリックし、週間タイマー設定の実行欄を入／切します。
- 「削除」をクリックすると、週間タイマー日付指定タイマーに関わらず、そのプログラム内容は破棄(クリア)され、初期値になります。「削除」する前の状態に戻すには、再度タイマー設定をおこなってください。

■ [日付指定タイマー設定] の場合

1. **本体機能** → **タイマー記録予約** → **日付指定タイマー設定** をクリックする



■ 予約を取り消す。
「削除」をクリックします。

パソコンに接続して使う—Web ブラウザふだんの使い方— (つづき)

見たい日時の映像を探す (イベント検索)

アラーム/センサー記録を探す

1. 本体機能 → イベント検索 → アラーム/センサー検索 をクリックする



- ① 検索するアラーム/センサーchを選びます。
- ② 日時を指定します。
- ③ 検索結果の表示方法を選びます。
- ④ 「検索」をクリックします。

Hard Disk Recorder VR-777
アラーム/センサー検索結果 ページ作成日時: 9/1 15:54:30

ALM番号	属性	カメラチャンネル	開始時刻	終了時刻	記録時間	
000017	S	1 2	2003-09-01 15:35:31	2003-09-01 15:35:40	00:00:09	再生
PreSen	P	1 2	2003-09-01 15:35:23	2003-09-01 15:35:31	00:00:08	再生
000016	M	5	2003-09-01 15:35:15	2003-09-01 15:35:24	00:00:09	再生
PreSen	P	5	2003-09-01 15:35:12	2003-09-01 15:35:14	00:00:02	再生
PreSen	P	1 2	2003-09-01 15:35:12	2003-09-01 15:35:22	00:00:10	再生
000015	A	1 2	2003-09-01 15:33:59	2003-09-01 15:34:06	00:00:09	再生
000014	M	A 5	2003-09-01 15:33:47	2003-09-01 15:33:57	00:00:10	再生
000013	M	A 5	2003-09-01 15:33:27	2003-09-01 15:33:36	00:00:09	再生
000012	A	1 2	2003-09-01 15:33:23	2003-09-01 15:33:32	00:00:09	再生
000011	A	1 2	2003-09-01 15:31:06	2003-09-01 15:31:15	00:00:09	再生
000010	M	A 5	2003-09-01 15:30:52	2003-09-01 15:31:01	00:00:09	再生
000009	M	S 5	2003-09-01 15:30:34	2003-09-01 15:30:43	00:00:09	再生
PreSen	P	5	2003-09-01 15:30:33	2003-09-01 15:30:34	00:00:01	再生
000008	S	1 2	2003-09-01 15:30:27	2003-09-01 15:30:37	00:00:10	再生
PreSen	P	5	2003-09-01 15:30:23	2003-09-01 15:30:33	00:00:10	再生

次の9件に続く

- ⑤ 検索結果が表示されます。
- ⑥ 検索結果のウィンドウを閉じます。

2. 見たいイベントの [再生] をクリックする

- ・ビューアウィンドウが開き、アラーム/センサー時に記録されたカメラチャンネルの再生が始まります。
(100 ページ)

<①の選択項目>

- ・全てのアラーム/センサーchの中から
- ・ch1~ch16(カメラch指定)

<③の選択項目>

- ・以前: 指定日時より古いアラームイベントを⑤に新しい順に表示します。
- ・以後: 指定日時より新しいアラームイベントを⑤に古い順に表示します。

VR-777の動作設定/外部記録設定の中の「5.RS-232C接続」でSW-2200を有効にした場合は、ALM情報の中のカテゴリ番号、ポジション番号による検索が行えます。

メモ

- 1回の検索で最大15件表示します。
- 検索結果が15件を超える場合は、検索結果一覧の下に「次の15件に続く」が表示されます。「次の15件に続く」をクリックすると続きの検索結果が表示されます。
- 同様に「前の15件に続く」をクリックすると前の検索結果が表示されます。
- VR-777でアラーム情報を削除すると、アラーム検索は行えません。

<⑤の表示内容>

- ・ ALM番号 (アラーム番号)
- ・ 属性
 - A : アラーム記録 (オレンジ)
 - S : センサー記録 (オレンジ)
 - (モーションディテクトによるアラーム/センサー記録の場合、(M)も表示されます。)
 - P : プリセンサー記録 (ピンク)
- ・ カメラチャンネル:
 - 入力カメラ番号を表わします。
 - 通常記録時は白、アラーム/センサー記録時はオレンジ、プリセンサー記録時はピンク、またアラーム/センサー記録時でアラーム入力があったチャンネルのみ赤となります。
- ・ 開始日時
- ・ 終了日時
- ・ 記録時間
- ・ ALM情報 (ポジション番号、アラーム種別、カテゴリ番号)
(SW-2200接続が有効な場合のみ)

ご注意

- 再生映像をご覧になるためには、添付アプリケーションソフト「VR-777 Player」のインストールが必要です。

見たい日時の映像を探す (イベント検索)

日時を指定して探す

1. 本体機能 → イベント検索 → ダイレクト日時検索 をクリックする



- ① 見たい映像の日時を入力します。
- ② カメラ番号の指定があれば選びます。
- ③ 「検索」をクリックします。

<②の選択項目>

- ・ 全てのカメラchの中から
- ・ ch1~ch16 (カメラch指定)
- ・ ch1~ch4, ch5~ch8, ch9~ch12, ch13~ch16 (ブロック指定)

Hard Disk Recorder VR-777
ダイレクト日時検索結果 ページ作成日時: 9/1 15:55:30

属性	開始時刻	終了時刻	記録時間	カメラチャンネル	
P	2003-09-01 15:30:01	2003-09-01 15:30:11	00:00:10	1 2 - -	再生
P	2003-09-01 15:30:11	2003-09-01 15:30:19	00:00:08	1 2 - -	再生
S	2003-09-01 15:30:19	2003-09-01 15:30:26	00:00:07	1 2 - -	再生
P	2003-09-01 15:30:23	2003-09-01 15:30:33	00:00:10	5 - - -	再生
S	2003-09-01 15:30:27	2003-09-01 15:30:37	00:00:10	1 2 - -	再生
P	2003-09-01 15:30:33	2003-09-01 15:30:34	00:00:01	5 - - -	再生
S	2003-09-01 15:30:34	2003-09-01 15:30:43	00:00:09	5 - - -	再生
N	2003-09-01 15:30:47	2003-09-01 15:31:53	00:01:06	13 - - -	再生
N	2003-09-01 15:30:47	2003-09-01 15:31:53	00:01:06	9 - - -	再生
N	2003-09-01 15:30:47	2003-09-01 15:31:06	00:00:19	1 2 - -	再生
N	2003-09-01 15:30:47	2003-09-01 15:30:51	00:00:04	5 - - -	再生
A	2003-09-01 15:30:52	2003-09-01 15:31:01	00:00:09	5 - - -	再生

CLOSE

- ④ 検索結果が表示されます。

<④の表示内容>

- ・ 属性
 - A : アラーム記録(オレンジ)
 - S : センサー記録(オレンジ)
 - P : プリセンサー記録(ピンク)
 - N : 通常記録(白)
- ・ 開始時刻
- ・ 終了時刻
- ・ 記録時間
- ・ カメラチャンネル
- ・ ALM情報 (ポジション番号、アラーム種別、カテゴリー番号)
(SW-2200接続が有効な場合のみ)

ご注意

- 再生映像をご覧になるためには、添付アプリケーションソフト「VR-777 Player」のインストールが必要です。

2. 見たいイベントの「再生」をクリックする

- ・ ビューアウィンドウが開き、指定した日時からの再生が始まります。
(100 ページ)

パソコンに接続して使う—Web ブラウザふだんの使い方— (つづき)

見たい日時の映像を探す (イベント検索)

期間を指定して探す

1. 本体機能 → イベント検索 → 期間検索 をクリックする

① 検索を開始/終了する日時を入力します。

② 検索結果の表示方法を選びます。

③ カメラ番号の指定があれば選びます。

④ 絞り込み検索をするときは条件を選びます。

⑤ 「検索」をクリックします。

⑥ 検索結果が表示されます。

属性	開始時刻	終了時刻	記録時間	カメラチャンネル	
N	2003-09-01 15:24:08	2003-09-01 15:25:43	00:01:35	13	再生
N	2003-09-01 15:24:08	2003-09-01 15:25:43	00:01:35	9	再生
N	2003-09-01 15:24:08	2003-09-01 15:25:43	00:01:35	5	再生
N	2003-09-01 15:24:08	2003-09-01 15:24:22	00:00:14	1 2	再生
A	2003-09-01 15:24:23	2003-09-01 15:24:32	00:00:09	1 2	再生
N	2003-09-01 15:24:33	2003-09-01 15:24:41	00:00:08	1 2	再生
A	2003-09-01 15:24:42	2003-09-01 15:24:51	00:00:09	1 2	再生
N	2003-09-01 15:24:52	2003-09-01 15:25:09	00:00:17	1 2	再生
A	2003-09-01 15:25:10	2003-09-01 15:25:20	00:00:10	1 2	再生
N	2003-09-01 15:25:21	2003-09-01 15:25:44	00:00:23	1 2	再生
N	2003-09-01 15:28:14	2003-09-01 15:28:53	00:00:39	1 2	再生
N	2003-09-01 15:28:14	2003-09-01 15:28:53	00:00:39	13	再生
N	2003-09-01 15:28:14	2003-09-01 15:28:53	00:00:39	9	再生
N	2003-09-01 15:28:14	2003-09-01 15:28:28	00:00:14	5	再生
A	2003-09-01 15:28:29	2003-09-01 15:28:38	00:00:09	5	再生

次の 15 件に続く

CLOSE

2. 見たいイベントの「再生」をクリックする

・ビューアウィンドウが開き、再生が始まります。(100 ページ)

<②の選択項目>

- ・昇順：古い順に表示します。
- ・降順：新しい順に表示します。

<③の選択項目>

- ・全てのカメラchの中から
- ・ch1～ch16 (カメラch指定)
- ・ch1～ch4, ch5～ch8, ch9～ch12, ch13～ch16 (ブロック指定)

<④の選択項目>

- ・全てのイベント記録 (記録データ全てのイベントを表示します。)
- ・アラーム/センサー記録のみ (アラーム/センサー記録のイベントだけを表示します。)
- ・通常記録のみ (アラーム/センサー記録を除いた記録のイベントを表示します。)

<⑥の表示内容>

- ・属性
 - A : アラーム記録 (オレンジ)
 - S : センサー記録 (オレンジ)
 - P : プリセンサー記録 (ピンク)
 - N : 通常記録 (白)
- ・開始時刻
- ・終了時刻
- ・記録時間
- ・カメラチャンネル
- ・ALM情報 (ポジション番号、アラーム種別、カテゴリー番号)
(SW-2200接続が有効な場合のみ)

メモ

- 検索結果は 1 画面で最大 15 件の表示をします。
- 検索結果が 15 件を超える場合は、検索結果一覧の下に「次の 15 件に続く」が表示されます。「次の 15 件に続く」をクリックすると続きの検索結果が表示されます。
- 同様に「前の 15 件に続く」をクリックすると前の検索結果が表示されます。

ご注意

- 再生映像をご覧になるためには、添付アプリケーションソフト「VR-777 Player」のインストールが必要です。

VR-777へのアクセスを制限する

ネットワーク環境内で、多くのユーザーがVR-777を共有している場合は、VR-777の設定やデータ保護のため、誰にどの程度のアクセスを許可するかを決めるアクセス権の設定が必要になります。

VR-777では、映像ファイル(イベントファイル)が格納されたフォルダに対して共有レベルの設定をすることができます。

1. 本体設定 → アクセスユーザー登録 をクリックする

- ① 使用者名(任意)を入力します。
- ② Windowsで設定されているユーザー名を入力します。
- ③ パスワードを入力します。設定したパスワードは忘れないようにご注意ください。
- ④ 確認用にもう一度パスワードを入力します。
- ⑤ アクセス権限を選びます。
- ⑥ 「登録」をクリックします。

■ アクセス権限登録者を確認する

1. 本体設定 → アクセスユーザー表示 をクリックする

- ① 登録者の一覧が表示されます。
- ◆ 「削除」をクリックすると登録者データの内容を取り消すことができます。
- ◆ 「変更」をクリックすると登録者データの内容を変更できます。

メモ

● Windows で設定されているユーザー名の確認方法は、Windows のヘルプをご覧ください。

● アクセス権限の設定レベルは次のようになっています。

	VR-777 の設定	タイマー 設定	イベント 検索	ユーティリティ
Administrators	可	可	可	可
Operators	不可	可	可	不可
Users	不可	不可	可	不可

● 工場出荷時は、以下の2つのユーザー名が登録されています。

	①	②
ユーザー名	admin	guest
パスワード	vr-777	vr-777
アクセス権限	Administrators	Operators

ご注意

● アクセスユーザー登録を変更したときは、同じユーザー名、パスワードでWindows のアカウント登録をやり直してください。

ユーザーアカウントの登録方法は、Windows のヘルプをご覧ください。

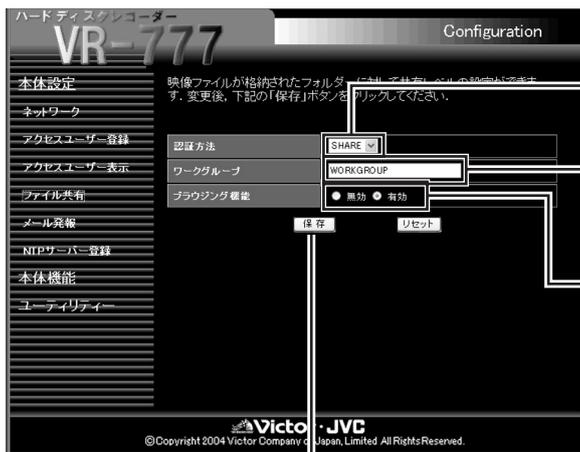
● 最後の Administrators 権限のパスワードを忘れた場合、ユーザーによる復旧は行えません。(P.108ページ)

パソコンに接続して使うーWeb ブラウザ便利な機能ー（つづき）

VR-777の記録映像ファイルへのアクセスを制限する

ネットワーク環境内で、多くのユーザーがVR-777を共有している場合は、VR-777の設定やファイル保護のため、誰にどの程度のアクセスを許可するかを決めるアクセス権の設定が必要になります。VR-777では、映像ファイル(イベントファイル)が格納されたフォルダに対して、共有レベルの設定ができます。

1. 本体設定 → ファイル共有 をクリックする



- ① [認証方法]を選びます。
- ② LANで登録されているワークグループ名を入力します。
- ③ “有効”を選ぶと、映像データを一覧表示できます。
- ④ 「保存」をクリックします。

<①の選択項目>

- ・ シェアレベル:
アクセスユーザー登録(☞ 93ページ)されているパスワードだけで認証をおこないます。
- ・ ユーザーレベル:
ユーザー名とパスワードの両方で認証を行います。

メモ

- 工場出荷時の設定は
認証方法：SHARE
ワークグループ：WORKGROUP
ブラウジング機能：有効

ご注意

- 映像ファイルを再生中にアクセス権限を変更すると、Windows を再起動する必要があります。

☞ 111ページ「ブラウジング機能」

■ [認証方法][ブラウジング機能]の各設定の組み合わせで、セキュリティーレベルを4段階の中から選ぶことができます。

セキュリティーレベル

低

高

認証方法	シェアレベル	シェアレベル	ユーザーレベル	ユーザーレベル
ブラウジング機能	有効	無効	有効	無効
	VR-777に登録されたユーザーの“ユーザー名”と“パスワード”を認証します。未登録ユーザーは“guest”の“パスワードなし”でアクセスできます。ネットワーク環境内の他のPCから映像ファイルの一覧表を参照できます。	VR-777に登録されたユーザーの“ユーザー名”と“パスワード”を認証します。未登録ユーザーは“guest”の“パスワードなし”でアクセスできます。他のPCから映像ファイルの一覧表を参照できません。	VR-777に登録されたユーザーの“ユーザー名”と“パスワード”を認証します。ネットワーク環境内の他のPCから映像ファイルの一覧表を参照できます。	VR-777に登録されたユーザーの“ユーザー名”と“パスワード”を認証します。他のPCから映像ファイルの一覧表を参照できません。

パソコンからVR-777のネットワーク設定を変える

VR-777のメニュー[ネットワーク設定]の内容を、Web ブラウザ操作で変更することができます。

1. 本体設定 → ネットワーク をクリックする



- ① IPアドレスの設定方法を選びます。
・固定IP:DHCPサーバーを使用しない。
・DHCP:DHCPサーバーを使用する。
・切:全てのネットワーク接続を禁止する。
- ② ネットワーク環境内で自機をあらわす名前を入力します。
- ③ ドメイン名を入力します。
- ④ “IPアドレス” “サブネットマスク” “デフォルトゲートウェイ” “ネームサーバー”を入力します。
- ⑤ 「保存」をクリックします。

メモ

- ◆ドメイン名とは. . .
☞ 111ページ
- ◆DHCPとは. . .
☞ 111ページ
- ◆ホスト名とは. . .
☞ 111ページ

ご注意

- VR-777のネットワーク設定を変えると、パソコンのネットワーク設定変更も必要になります。変更の際はネットワーク管理者にご相談ください。
- VR-777のネットワーク設定を変えた場合、パソコンのネットワーク設定も変更し、再度Webブラウザを起動してください。

オープンソースソフトウェア情報の表示

1. ユーティリティ → オープンソース をクリックする



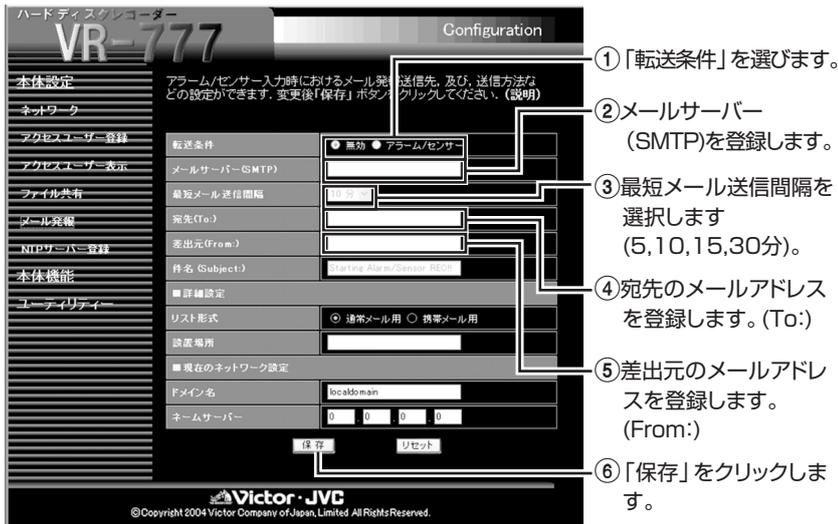
- ① 「オープンソース」をクリックします。

パソコンに接続して使うーWeb ブラウザ便利な機能ー（つづき）

アラーム／センサー入力時のメール発報設定をする

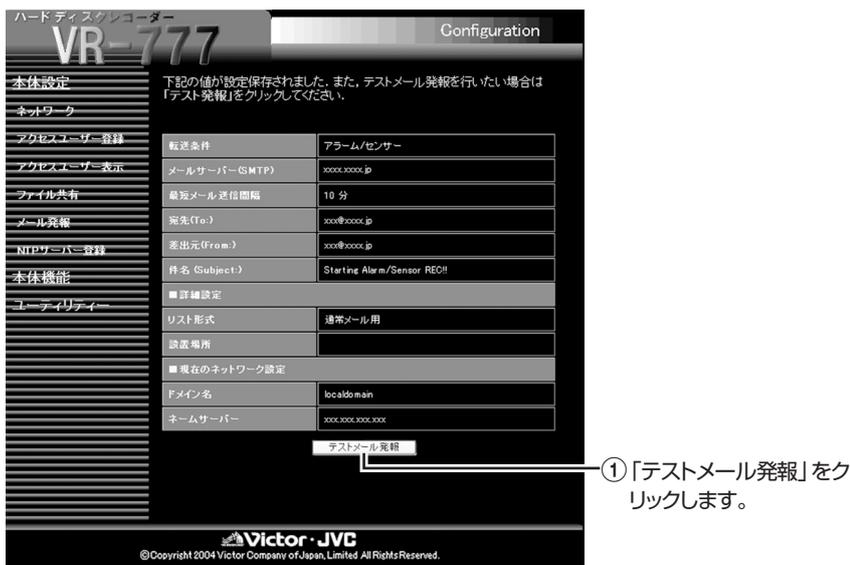
ネットワーク環境内で、メールサーバー(SMTP)がご利用できる場合は、VR-777のメール発報に関する設定を行うことで、アラーム／センサー入力時の発生リストをメッセージとして定期的に通知することができます。

1. 本体設定 → メール発報 をクリックする



■メール発報設定後に、メール発報の動作確認ができます。

- ・メール発報設定で「保存」をクリックすると設定確認画面が表示されます。



- ・「テストメール発報」をクリックすると、テストメール発報が行われますので、指定された宛先でメール受信できたことをご確認ください。
- ・設定、およびネットワーク環境などの障害によりテストメール発報が行えない場合は、エラーメッセージが表示されますので、メール発報設定、およびネットワーク設定をご確認ください。

<①の選択項目>

- ・無効：
メール発報を無効にします。
- ・アラーム／センサー：
アラーム／センサー入力時にメール発報を行います。

メモ

- メール発報をご利用になる場合は、95ページの「ネットワーク設定」も行ってください。
- メール発報をご利用になる場合は、最低でも以下を登録してください。
 - ・転送条件
 - ・メールサーバー (SMTP) (ドメイン名を入力します。)
 - ・差出元メールアドレス
 - ・最短メール送信間隔
 - ・宛先メールアドレス
- 宛先のメールアドレス間を、「,」もしくは「スペース」で区切ることで複数ユーザーにメール発報ができます。(最大入力文字数254文字)
- 件名(Subject:)の工場出荷時は以下のサブジェクトが登録されています。"Starting Alarm/Sensor REC!" (最大入力文字数32文字)
- メッセージ表示内容は『リスト形式』の中から「通常メール用」と「携帯メール用」が選択できます。

ご注意

- メールサーバー側での認証方法によっては、メール発報がおこなえないことがあります。
- メールサーバーの設定値に関してはご利用のネットワーク管理者にご確認ください。
- 携帯電話の受信文字数の設定によっては、全てのアラーム／センサーリストを受信できないことがあります。
- メール発報間隔の設定によらず、最初のアラーム／センサー入力後10分以内にメール発報されますが、受信までにはネットワーク環境によってはさらに時間がかかる場合があります。

■ アラーム／センサー入力時のメール発報メッセージは、以下の内容が送られてきます。

【メールヘッダー内容】

From: xxxxx@xxxxx.co.jp
To: xxxxx@xxxxx.co.jp
Subject: [Starting Alarm/Sensor REC!!]

・ 『件名』 で入力された内容が反映されます。

【メッセージ内容（通常メール用）】

●アラーム/センサー通知

ホスト名: VR-777 [第3工場]

以下のアラーム/センサー記録が開始されました。

2003/08/01 (金)20:15:15 A 3ch[受付], 4ch[エントランス]
2003/08/01 (金)20:15:17 S 9ch[]
2003/08/01 (金)20:18:15 A 13ch[北門], 14ch[], 16ch[]

以上

・ ホスト名にはVR-777のホスト名が反映されます。また、[]には、『設置場所』で登録した内容が反映されます。

・ 指定された最短メール発報間隔内に発生したアラーム／センサー情報をリスト化します。リスト情報には3つの情報を記載します。

・ アラーム/センサー発生時刻

・ 記録モード

A : アラーム記録

S : センサー記録

A(S) : シリアル入力によるアラーム記録

S(S) : シリアル入力によるセンサー記録

・ カメラチャンネル [タイトル]

【メッセージ内容（携帯メール用）】

●記録通知

HOST: vr777
[第1倉庫]

▼リスト表示
2003/10/14

時刻: 20:58:51
Mode: A
CamCh: 3[階段1], 4[中央]
Mode: A
CamCh: 9[]

時刻: 21:00:05
Mode: S
CamCh: 10[非常口], 11[], 12[]

時刻: 21:01:32
Mode: A
CamCh: 3[北門]
Mode: A
CamCh: 16[]

以上

ご注意

・ アラーム発報リストと実際の記録開始時刻には数秒のズレが生じます。

パソコンに接続して使うーWebブラウザ便利な機能ー（つづき）

複数のVR-777の時刻をあわせる（NTPサーバー登録）

VR-777を複数台接続したシステムでアラーム検索などをおこなう場合、すべてのVR-777の時刻の同期がとれていないと、正確な検索ができません。複数接続のシステムの場合は必ず、NTPサーバーの設定を行ない、時刻をあわせてください。

■NTPサーバーの登録

1. 本体設定 → NTPサーバー登録 をクリックする



① [NTPサーバーとの時刻同期]の「有効」を選びます。

② [NTPサーバーアドレス]を入力します。ご使用のNTPサーバーのアドレスを正確に入力してください。

③ 「登録」をクリックします。

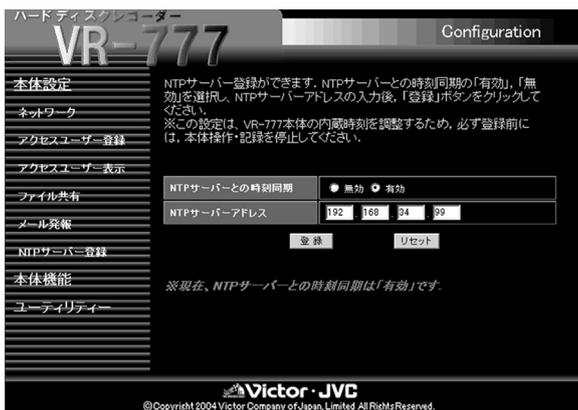
■サーバーに時刻の問い合わせを行います。



① 「確認」をクリックします。

■NTPサーバー登録が完了しました。

登録が完了し、NTPサーバーへの時刻問い合わせが成功すると、画面上に「※現在、NTPサーバーとの時刻調整は『有効』です。」と表示されます。



※現在、NTPサーバーとの時刻同期は「有効」です。

ご注意

- NTPサーバーの登録は必ず、本体の操作、記録を停止してから行ってください。
- [NTPサーバーとの時刻同期]を「有効」に設定した場合、本体メニューでの日付：時刻設定 (15ページ)、フロントディスプレイでの日付：時刻設定 (16ページ)、RS-232Cからの時刻設定はできません。

メモ

- [NTPサーバーとの時刻同期]を「有効」に設定した場合、VR-777は、1時間ごとにNTPサーバーへの時刻問い合わせを行います。
- ◆ NTPとは・・・
111ページ

メモ

- [確認]をクリックしなくても、15秒後、自動的にNTPサーバー登録完了画面が表示されます。

メモ

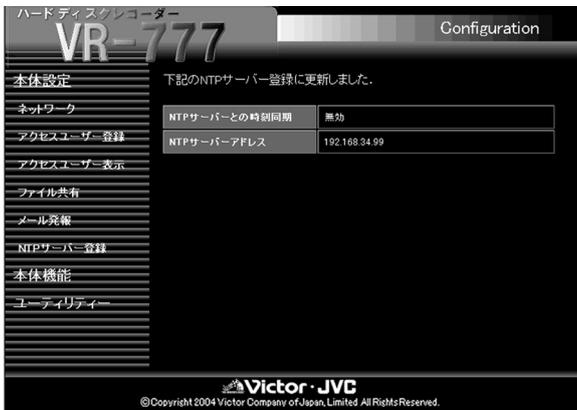
- NTPサーバーへの時刻問い合わせが失敗した場合
画面上に「※指定NTPサーバーへの問い合わせは失敗しました。」と表示されます。
下記手順で再度登録してください。
① NTPサーバーアドレスが正しく入力されているか確かめる。
② [登録]をクリックする。

■ NTPサーバーとの時刻同期の解除

1. 本体設定 → NTPサーバー登録 をクリックする



■ サーバー登録が解除されます。



ご注意

- NTPサーバーとの時刻同期の解除は必ず、本体操作、記録を停止してから行ってください。

メモ

- Windows XP Home Edition, Windows XP Professional は NTP Client 設定を行うことで NTP Server 機能が有効になります。
- Windows 2000 では、以下の設定で NTP Server 機能が有効になります。

1. コマンドプロンプトを起動し (Dos 画面です。)以下のコマンドを入力する。

net time /setsntp:サーバーの IP アドレス

例:

net time /setsntp:192.168.0.1

2. 「コントロールパネル」→「管理ツール」→「サービス」を開く。
3. 「Windows Time」をダブルクリックして、「スタートアップの種類」を「自動」に設定し「開始」をクリックする。

4. 以下のレジストリ値を、1 にする。(デフォルトは 0)

```
HKEY_LOCAL_MACHINE¥SYSTEM¥  
CurrentControlSet¥Services¥W32Time¥  
parameters¥LocalNTP
```

レジストリ編集作業は大変危険を伴う作業です。安全のためレジストリのバックアップを保存するなど、ご自分の責任において編集してください。当社では万一の事故に対する責任は一切負いません。

5. Windows Time Service を再起動 (= 停止から開始) する。「管理ツール」の「サービス」から Windows Time Service のプロパティを開いておこないます。

パソコンに接続して使う—Web ブラウザ便利な機能— (つづき)

検索したイベントの映像を見る (簡易ビューア)

簡易ビューアをご使用の前に添付アプリケーションソフト「VR-777 Player」のインストールを必ず行ってください。インストールしないと検索したイベントの映像を簡易ビューアで見ることができません。

1. イベント検索をする

☞ 90 ページ「見たい日時の映像を探す」

2. 見たいイベントの **再生** をクリックする

ビューアウィンドウが表示されます。

■ ご注意

- ネットワーク送出処理より記録等本体の内部処理を優先しているため、簡易ビューアの再生は、速度が不安定になったり、停止する場合があります。
- VR-777のネットワーク再生は、複数のPCによる同時接続でのご利用はできません。
- 音声ありの記録映像ファイルは、最後まで映像が出ない場合があります。



■ 各部の名称とはたらき

- ① **開始時刻**
記録が開始された日時を表示します。
- ② **終了時刻**
記録が終了された日時を表示します。
- ③ **記録タイプ**
記録された時の記録モード、カメラチャンネルを表示します。通常記録時は白、プリセンサー記録時はピンク、アラーム/センサー記録時はオレンジ、アラーム/センサー入力があった場合は赤で表示します。
(☞ 右図)

■ 記録モード

通常記録	本体側の録画(●)ボタンでの記録
通常記録(連続)	長時間記録のため通常記録映像を自動分割し、記録
プリセンサー記録	本体側のプリセンサー記録が「入」での記録
アラーム記録	本体側の記録モードが「アラーム」での記録
アラーム記録(RS-232C)	※SW-2200からのアラーム記録
センサー記録	本体側の記録モードが「センサー」での記録
センサー記録(RS-232C)	※SW-2200からのセンサー記録

■ カメラチャンネル

「-」:入力なし
1ch~16ch(同時入力の場合は、複数チャンネル表示)

■各部のはたらき(つづき)

④ ALM情報

本体の「動作設定」画面の「RS-232C 接続」項目をSW-2200に設定した場合、SW-2200からのアラームに関する情報を表示します。(SW-2200接続時のみ、③記録タイプと⑤カメラタイトルの間に表示されます。)

⑤ カメラタイトル

登録されたカメラタイトルを表示します。

タイトル未登録	タイトル設定が登録されていない場合
4分割画面	4分割画面表示の場合
登録カメラタイトル	カメラ番号にあったタイトル表示

⑥ 4分割表示と1画面表示を切り替えます。

(4分割画面や単画面、カメラ番号はWeb Viewerが自動的に識別します。)

 : 1画面表示をします。(各カメラチャンネル番号を表示します。)

 : 4分割表示をします。

⑦ 再生中の映像の時刻を表示します。

⑧ 記録映像ファイルの操作ボタンです。

 : スキップ間隔に合わせて逆方向スキップします。

 : 再生映像を停止し、ファイルトップに移動します。

 : 再生を始めます。

 : 再生映像を一時停止します。

 : スキップ間隔に合わせて順方向スキップします。

⑨ Web Viewerの動作状況を表示します。

ファイルオープン	Web Viewerの再生準備完了を表します。
アクセス失敗	Web Viewerの再生準備が失敗したことを表します。
ファイルトップ	ファイル先頭を表します。
ファイルエンド	ファイル最後尾を表します。
再生	再生中を表します。
一時停止	一時停止中を表します。
スキップ	スキップ中を表します。
逆スキップ	逆スキップ中を表します。
ERROR	内部エラーが発生したことを表します。

⑩ 操作ボタンのスキップ間隔です。記録映像ファイルの記録コマ数によって選択できる間隔は変わります。

※記録画質、記録コマ数は本体で確認してください。

記録コマ数	スキップ間隔
30fps ~1fps	1sec, 5sec, 10sec, 20sec, 30sec, 1min, 5min, 10min, 15min, 30min, 1hour
1/2fps	2sec, 4sec, 10sec, 20sec, 30sec, 1min, 5min, 10min, 15min, 30min, 1hour
1/5fps	5sec, 10sec, 20sec, 30sec, 1min, 5min, 10min, 15min, 30min, 1hour
1/10fps	10sec, 20sec, 30sec, 1min, 5min, 10min, 15min, 30min, 1hour

⑪ [リレポート再生]、[音声ミュート]のON/OFFスイッチです。□にチェックすると“ON”になります。

ただし、音声なしの記録映像ファイルは[音声ミュート]のチェックができません。(OFFに固定されます)

⑫ をクリックすると、指定ディレクトリ(デフォルトC:¥)にBMP形式の静止画を保存します。静止画ファイル名は、自動的に記録映像が持つタイムスタンプを以下の形式で表記します。

例) n1_20030224_091035001.bmp

hh mm ss msec (時、分、秒、ミリ秒)を表します。

YY MM DD (西暦、月、日)を表します。

記録モード、入力ブロック番号を表します。
(a:アラーム記録、s:センサー/プリセンサー記録、n:通常記録)

この場合は、通常記録モード、入力ブロック1(カメラ1~4)で記録された映像で記録時刻は、2003/02/24 09:10:35を表します。

※指定ディレクトリを空白にして、再生中に[Enter]ボタンを押すとデスクトップに静止画像を保存することができます。

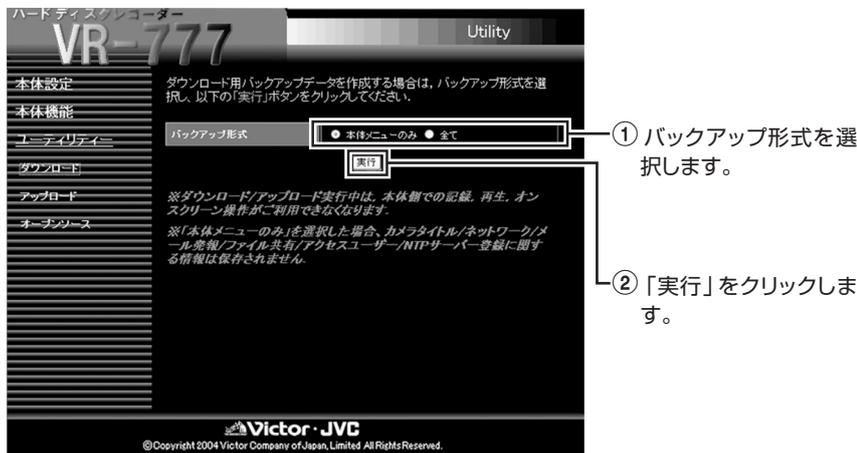
メモ

- 連続したアラーム記録の途中から再生すると開始時刻よりも約2秒早い時刻から再生されます。

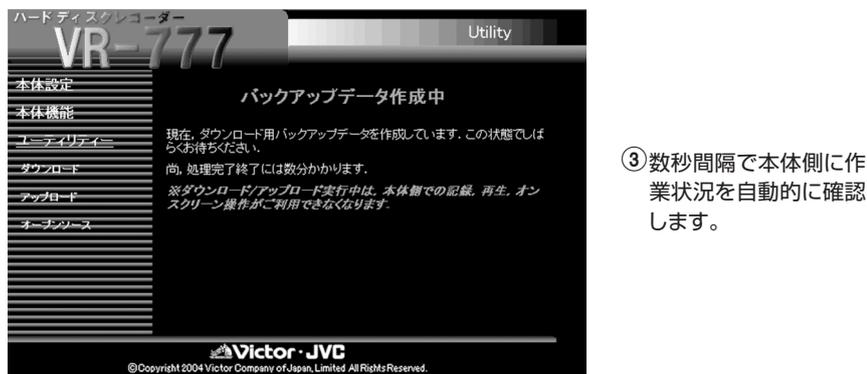
パソコンに接続して使う—Web ブラウザ便利な機能— (つづき)

VR-777の本体設定値をファイルに保存する

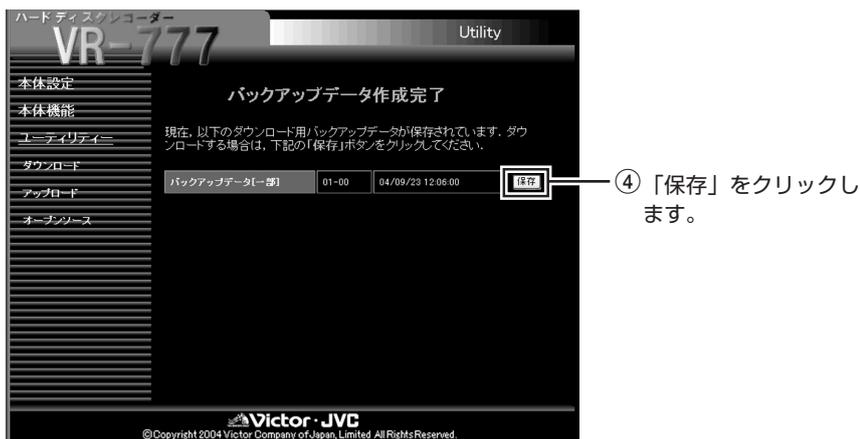
1. ユーティリティ → ダウンロード をクリックする



2. バックアップデータ作成中はしばらくお待ちください。



3. 保存 をクリックし、データファイルをPCに保存する



ご注意

- ユーティリティ機能のため、必ず、実行時には、本体動作を全て停止させてください。
- ユーティリティは Administrators 権限をもったユーザーのみ実行できません。
- ダウンロード実行中は、本体側での記録、再生、オンスクリーン操作などはご利用できません。
- ダウンロード実行時間は数分かかります。
- バックアップ形式“本体メニューのみ”を選択した場合、カメラタイトル/ネットワーク/メール発報/ファイル共有/アクセスユーザー/NTPサーバー登録に関する情報は保存されません。

メモ

- 以前、作成したバックアップデータが本体に保存されている場合、ダウンロード画面も一緒に表示されます。
- 以前、作成したバックアップデータが存在する場合、新規バックアップデータに更新されます。
- ダウンロード実行中、オンスクリーンには以下のメッセージが表示されます。

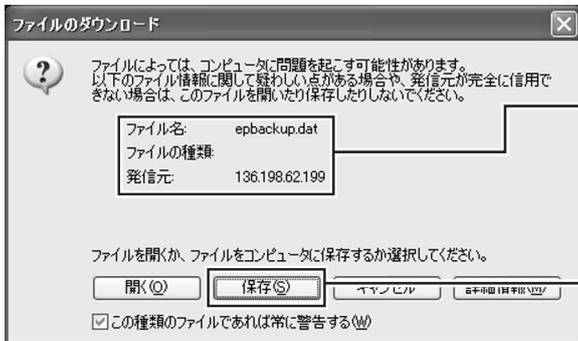
実行中	メニューデータ読み出し中
成功	データ読み出し終了※
失敗	データ読み出しが中断されました※

※ダウンロード終了後、5秒間(約1秒周期の点滅)で表示します。

メモ

- バックアップデータ完了画面ではデータ作成時のVR-777本体のバージョン番号と作成日時(YY/MM/DD hh:mm:ss)の2つの情報が表示されます。
- 手順1.でバックアップ形式“全て”を選んだ場合、画面上には、“バックアップデータ(全て)”と表示されます。

4. 保存(S) をクリックする



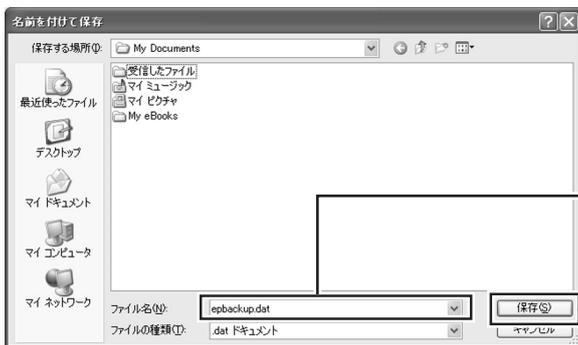
- ⑤ データ名、送信元を確認します。
本体メニュー
: "epbackup.dat"
全項目
: "epbackup.all"
- ⑥ 「保存(S)」をクリックします。

ご注意

● Web ブラウザ経由でのダウンロードのため、セキュリティに関するメッセージが表示されます。

● セキュリティ上、ダウンロードするデータ名が"epbackup.dat"あるいは、"epbackup.all"であり、送信元がご利用されているVR-777のIPアドレスかご確認ください。

5. PC上の保存先を指定する。



- ⑦ 必要に応じてファイル名を変更します。
- ⑧ 「保存(S)」をクリックします。

6. ダウンロードの完了

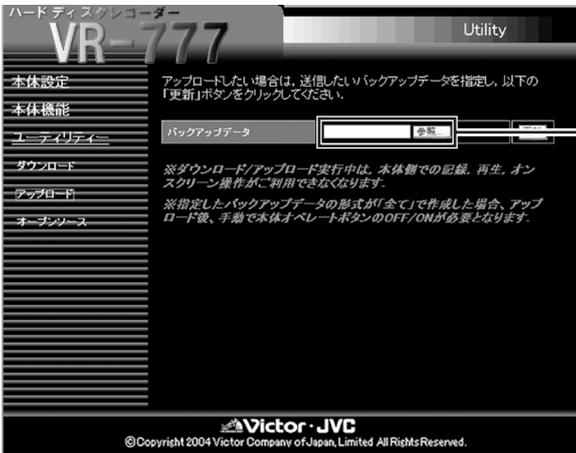


- ⑨ 「閉じる」をクリックし、指定の保存先にデータが保存されたか確認します。

パソコンに接続して使う—Web ブラウザ便利な機能— (つづき)

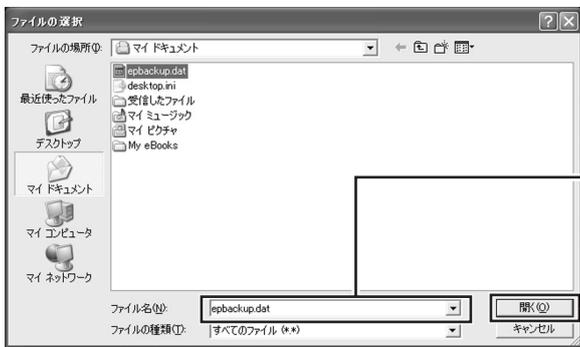
VR-777の本体設定値をアップロードする

1. ユーティリティ → アップロード をクリックする



① PC上に保存バックアップデータを指定するために「参照」をクリックします。

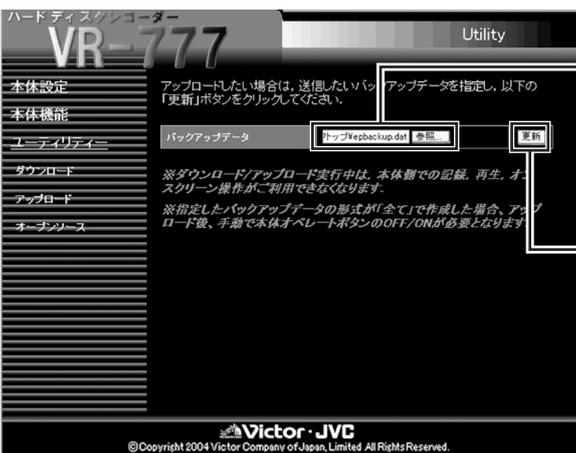
2. パソコン上からアップロードしたいバックアップデータを指定する



② アップロード用ファイル名を入力します。

③ 指定後、「開く(O)」ボタンをクリックします。

3. 更新 をクリックする



④ 指定したバックアップデータ名が記載されているか確認します。

⑤ 「更新」ボタンをクリックします。

ご注意

- ユーティリティ機能のため、必ず、実行時には、本体動作をすべて停止させてください。
- ユーティリティは Administrators 権限を持ったユーザーのみ実行できます。
- アップロード実行中は、本体側での記録、再生、オンスクリーン操作などはご利用できません。
- アップロード実行時間は数分かかります。
- バックアップデータファイルの拡張子が“***.dat”の場合、アップロードでは、カメラタイトル/ネットワーク/メール発報/ファイル共有/アクセスユーザー/NTPサーバー登録に関する情報は更新されません。

メモ

- 以前、作成したバックアップデータが本体に保存されている場合、ダウンロード画面も一緒に表示されます。
- 以前、作成したバックアップデータが存在する場合、アップロードに指定したバックアップデータに更新されます。
- アップロード実行中、オンスクリーンには以下のメッセージが表示されます。

実行中	メニューデータ書き込み中
成功	正常に更新されました※
失敗	更新処理が中断されました※

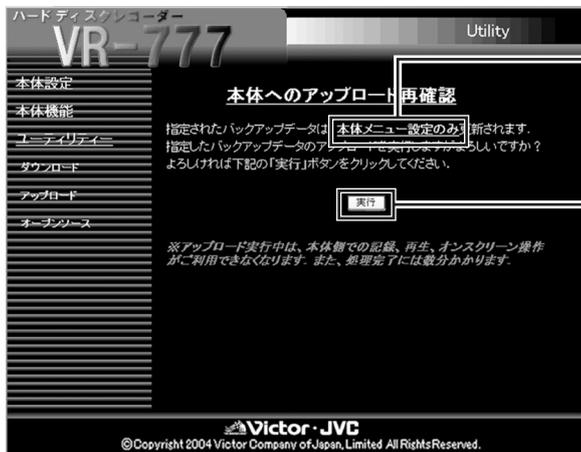
※全ての設定ファイルのアップロードが成功した場合、「正常に更新されました再起動を行なってください」と表示されます。全ての設定ファイルのアップロードを行なった場合は、必ずVR-777を再起動してください。

※アップロード終了後、5 秒間(約1 秒周期の点滅)で表示します。

メモ

- バックアップデータの拡張子が“***.dat”の場合は、本体メニュー設定のみ更新され、“***.all”の場合は、全ての本体設定が更新されます。

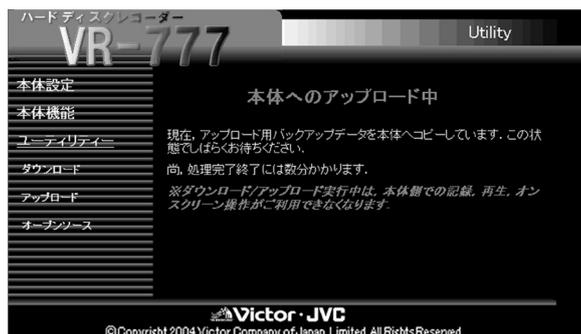
4. 実行 をクリックする



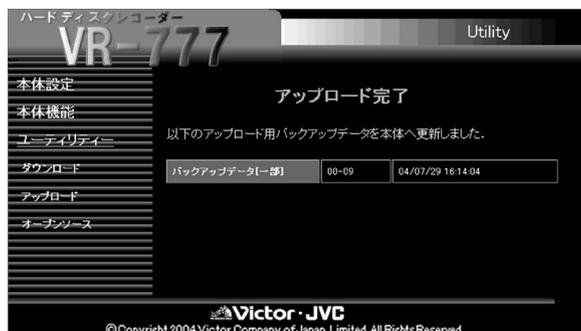
⑥ 更新されるバックアップデータの状態が表示されます。

⑦ 「実行」をクリックします。

5. アップロード中はしばらくお待ちください



6. アップロード完了後、アップロードしたバックアップデータの情報を表示する



メモ

● 手順3.で、拡張子が“*.all”のデータを指定した場合、画面上には、“全ての本体設定が更新されます。”と表示され、画面下に“※アップロード実行中は、本体側での記録、再生、オンスクリーン操作がご利用できません。また、処理完了後には、必ず手で本体オペレートボタンをOFF/ON操作してください。”と表示されます。

ご注意

● EEPROMへのアップロード中に電源などを切りますと、正常に動作しませんので、ご利用に注意してください。
● EEPROMへのアップロードの処理時間は数分かかります。

● 本動作実行中に本体の電源を抜く、または電源断等が発生した場合、本体の設定データは保証できません。

● アップロードの処理が失敗した場合、本体のオペレートを一度OFFにし、本体を再起動させた後に設定をご確認ください。

メモ

● アップロード指定したバックアップデータの情報にはバージョン番号と作成日時(YY/MM/DD hh:mm:ss)の2つの情報が表示されます。

ご注意

● 手順3.で、拡張子が“*.all”のバックアップデータを選び、全ての本体設定を更新した場合は、必ず手で本体オペレートボタンのOFF/ON操作で本体の再起動を行ってください。再起動を行わなかった場合は、動作の保証はできません。

トラブル時の対応

エラーコードまたはオンスクリーン表示の出るトラブル

エラーコード	オンスクリーン表示	原因	処置	参照ページ
E-01 ※1 ※2	"E-01 ハードディスクエラーを検出しました。"	●ハードディスクの動作異常により、再起動しました。	●最寄のビクターサービス窓口にご相談ください。 ●そのまま残ったハードディスクで運転を継続します。 ●マニュアルスキャンディスクを実行すると、切断したハードディスクのデータは復旧できません。	—
E-02	—	●ハードディスクの動作異常です。 (*起動できません)	●最寄のビクターサービス窓口にご相談ください。	—
E-03 ※2	"VIDEO IN** 入力なし(E-03)"	●映像信号の入力がありません。	●停止状態にして接続を確認してください。 ●メニュー[入力記録設定]を見直してください。 *表示がされた状態で記録を続けると、正しく記録できない場合があります。メニュー[入力記録設定]画面の[カメラ]を"切"にするか、すみやかに異常の原因を取り除いてください。	P12
E-05 ※1 ※2	"E-05検出。 ビクターサービスにご連絡ください。"	●ファンモーターの動作異常です。	●最寄のビクターサービス窓口にご相談ください。	—
E-06 ※1 ※2	"E-06検出。 ビクターサービスにご連絡ください。"	●EEPROMの異常です。	●メニュー内容変更にてこのエラーが発生した場合、一度オペレートOFFし、再度オペレートONして内容を確認してください。メニュー内容変更時や、運用中に何度もこのエラーが発生する場合は、最寄のビクターサービス窓口にご相談ください。	—
E-07 ※1 ※2	"E-07検出。 ビクターサービスにご連絡ください。"	●エンコーダーの異常です。	●最寄のビクターサービス窓口にご相談ください。	—
E-08 ※1 ※2	"E-08検出。 ビクターサービスにご連絡ください。"	●デコーダーの異常です。	●最寄のビクターサービス窓口にご相談ください。	—
E-09 ※1 ※2	"E-09検出。 ビクターサービスにご連絡ください。"	●内蔵ハードディスクの片方が動作異常です。	●ミラーリング設定時のみに検出されるエラーです。最寄のビクターサービス窓口にご相談ください。	—
— ※2	"停電履歴を更新しました。"	●停電が起きた時に表示されます。	●故障ではありません。[キャンセル]ボタンで解除してください。	P69
—	"ハードディスクの残量が少量になっています。"	●ハードディスクに記録できるスペースがわずかになっています。	●ハードディスクの記録スペースがわずかになっていますので、必要に応じて、ハードディスクのフォーマットやループ記録設定の変更をおこなってください。 *フォーマットを実施するとイベント記録データはすべて削除されます。	P56 P23
— ※1 ※3	"ハードディスクの残量がありません。"	●ハードディスクに記録するスペースがありません。	●ハードディスクのフォーマットを実施し、記録スペースを確保するか、ループ記録を"切"以外に設定してください。 *フォーマットを実施するとイベント記録データはすべて削除されます。	P56 P23
—	"メンテナンス実行中"	●本体の自己診断中です。	●故障ではありません。	—

エラーコードは、本体のフロントディスプレイ (P11ページ) に表示されます。

※1：エラー発生時にブザーが鳴ります。

※2：エラー発生時にWARNING OUTに信号が出力されます。

※3：ハードディスクに残容量が無いときに、[記録]ボタンを押したり、アラーム入力などで記録開始が指示されると、再生中であっても優先して表示されます。(5秒間の点滅)

エラーコード	オンスクリーン表示	原因	処置	参照ページ
—	“ハードディスクを修復中です”	●ハードディスクの異常や停電のため、ハードディスクの自動修復を行なっています。	●故障ではありません。	P69
—	“NTPサーバー接続エラー”	●NTPサーバー登録が有効になっているのに、NTPサーバーに接続できませんでした。	●NTPサーバー登録をやり直すか、NTPサーバー機能を無効にしてください。	P98
—	“HDD確認のため再起動しました”	●HDDの一時的な不安定動作(増設ハードディスクの一時的な電源ダウンなど)を検出したため、本機を自動的に再起動しました。	●再起動時に、正常な状態に戻っているので、運用上問題はありません。頻繁に起こる場合は最寄のビクターサービス窓口にお問い合わせください。	—

その他のトラブル

症状	原因	処置	参照ページ
電源が入らない。	●電源ケーブルが外れていませんか。	●付属の電源ケーブルを100 Vコンセントに差し込んでください。	—
【記録】【再生】を押しても操作できない。	●オペレーションロックになっていませんか。 ●[タイマー]表示灯は点灯していませんか。	●オペレーションロックを解除してください。 ●[タイマー]ボタンを押し、タイマー予約を解除してください。	P3 P6、P10
再生映像がモニターに表示されない。	●モニターは正しく接続されていますか。 ●[カメラ選択]で選んでいるカメラの記録映像はありますか。	●モニターを正しく接続してください。 ●記録映像のあるカメラを選択してください。	P12、13、 P31
プログラムタイマーで記録予約ができない。	●日付・時刻設定はしてありますか。 ●[タイマー]表示灯は点灯していませんか。 ●タイマープログラムは正しく設定されていますか。	●日付・時刻設定を確認してください。 ●[タイマー]ボタンを押し、プログラムタイマースタンバイ状態にしてください。 ●プログラムタイマーの記録予約を見直してください。	P15、P16 P44~P52
メニュー画面が表示されない。	●[タイマー]表示灯は点灯していませんか。 ●オペレーションロックになっていませんか。	●[タイマー]ボタンを押し、タイマー予約を解除してください。 ●オペレーションロックを解除してください。	P6、P10、 P3
日付・時刻および、タイトルがオンスクリーンに表示されない。	●メニュー[オンスクリーン表示設定]画面の設定項目が“切”になっていませんか。	●メニュー[オンスクリーン表示設定]画面の表示させたい設定項目を“入”にしてください。	P21
タイムデートが記録されない。	●日付・時刻は正しく設定してありますか。	●日付・時刻を設定してください。	P15、P16
[TIMER]表示灯が点滅する。	●プログラムタイマーが予約されていないか実行できる記録予約がありません。 ●ハードディスクの残容量はありますか。	●プログラムタイマーの記録予約を見直してください。 ●ハードディスクのフォーマットをして記録スペースを確保するか、ループ記録を“切”以外に設定してください。	P44~P52 P56
音声再生できない。	●メニュー[入力記録設定]画面の[音声記録]は“入”で記録しましたか。	●メニュー[入力記録設定]画面の[音声記録]は“入”で記録してください。 ※メニュー[入力記録設定]画面の[記録コマ数]が“5秒に1コマ”、“10秒に1コマ”の記録では音声記録ができません。	P22
スキップジャンプ、ダイレクトジャンプができない。	●日付・時刻は正しく設定してありますか。 ●ジャンプ設定はありますか。	●日付・時刻を設定してください。 ●目的に応じてジャンプ設定をおこなってください。	P15、P16 P38~41
カメラ表示灯の全てが赤点灯している。	●システムに異常が発生しました。	●電源コードの抜き差しを行なってください。	—

解説 (つづき)

トラブル時の対応 (つづき)

Web ブラウザ使用時のトラブル

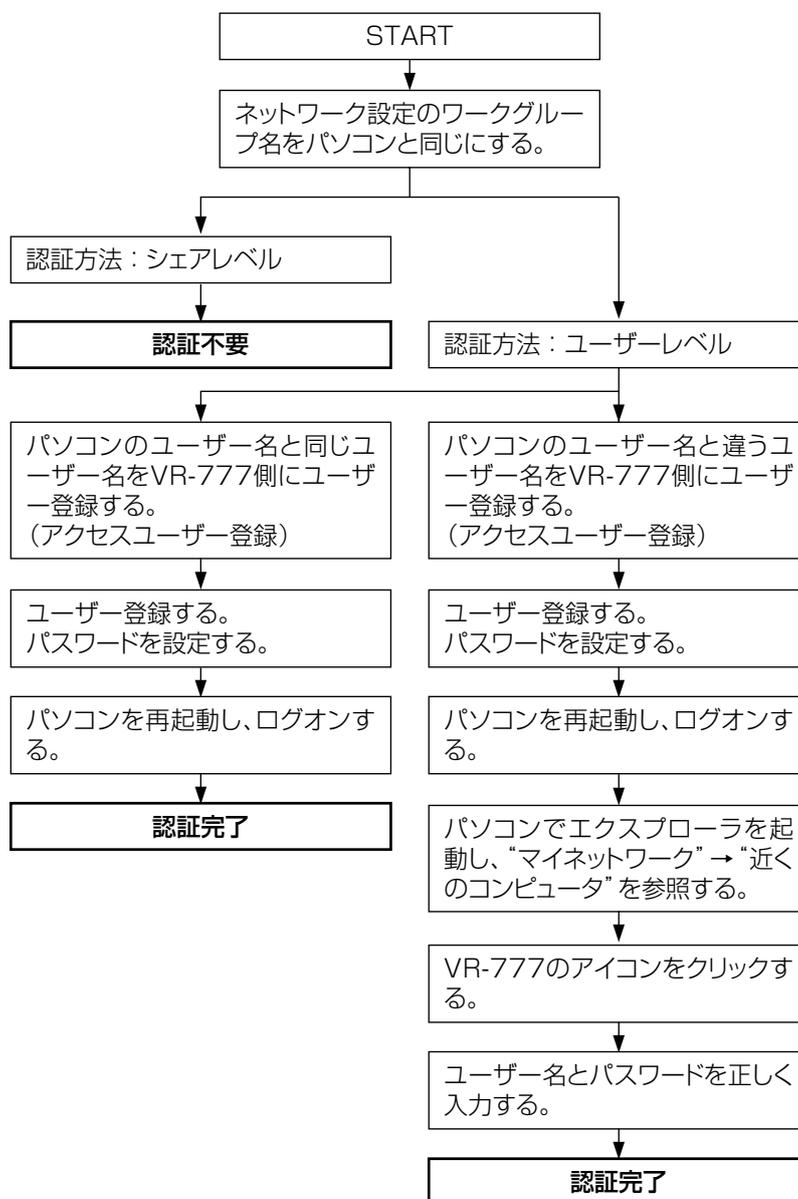
症状	原因	対処
"利用制限(5××1):オペレーションロック中"が表示された。	VR-777でネットワークからの操作を禁止されています。	VR-777の各本体動作を停止、終了させてからWebブラウザ操作をおこなってください。
"利用制限(5××2):通常記録中"が表示された。	VR-777で通常記録が行われています。	
"利用制限(5××3):タイマー記録中"が表示された。	VR-777でプログラムタイマーによるタイマー記録が行われています。	
"利用制限(5××4):タイマーセンサー記録中"が表示された。	VR-777でタイマー記録中にセンサー記録が行われています。	
"利用制限(5××5):アラーム記録中"が表示された。	VR-777でアラーム記録が行われています。	
"利用制限(5××6):センサー記録中"が表示された。	VR-777でセンサー記録が行われています。	
"利用制限(5××7):オンスクリーン/メニュー操作中"が表示された。	VR-777でオンスクリーン/メニューが表示されています。	
"利用制限(5××8):タイマーモードスタンバイ中"が表示された。	プログラムタイマーがスタンバイ状態です。	
"利用制限(5××9):記録映像再生中"が表示された。	VR-777で記録映像ファイルが再生中です。	
Webブラウザに指定のURLを入力してもアクセスできない。	ローカルアドレスを設定しています。	Webブラウザの [インターネットオプション] でプロキシサーバーを使用しないように設定してください。
"警告:Java Script使用許可が無効"が表示された。	ご使用のWebブラウザでは、Java Scriptが禁止されています。	Webブラウザの [インターネットオプション] でセキュリティーのレベルを変更してください。
"Authorization Required"が表示された。	VR-777へのアクセス時のユーザー名、パスワード認証が失敗しています。	VR-777に再度アクセスし、ユーザー名、パスワードを正確に入力してください。
"本体設定"、"タイマー記録予約"を選択するとユーザー名とパスワードが要求された。	現在、ご使用中のアクセス権限の設定レベルが異なります。 (☎93ページ)	登録したアクセス権限の高いユーザー名、パスワードを入力し、ログインしてください。
Administrator権限のパスワードを忘れたため、Webブラウザ操作のメニュー画面が表示できない。	パスワードは大切な情報なので、お客様で管理してください。	パスワードの解除作業は、機密保護も含めて修理扱いとなります。お手数ですがその場合は、お近くのサービスセンターにお問い合わせください。
"タイマーモードのスタンバイできません"が表示された。	週間タイマー設定、日付タイマー設定の中で1つも実行されるプログラムタイマーがありません。	週間タイマー設定、日付タイマー設定を見直してください。
タイマーモードスタンバイ解除後、通常記録中のため、他のWebブラウザ操作ができない。	VR-777の本体側での「タイマー解除動作」が通常記録に設定されているためです。タイマーモード解除後、通常記録が開始されます。	Webブラウザ操作による記録停止はおこなえません。VR-777本体の「停止」ボタンで記録を停止してください。
週間タイマー設定のデイリーモードが選択できない。	週間タイマー設定で選択した番号の開始曜日が「毎日」に登録されていません。	タイマー記録予約(週間)の中から開始曜日が [毎日] で登録された部分の「変更」ボタンをクリックし、デイリーモードのみ再設定してください。
週間タイマー設定/日付指定タイマー設定で新しいプログラムを追加できない。	週間タイマー設定では最大8件まで、日付指定タイマー設定では最大16件まで登録可能です。	別のタイマー記録予約をおこないたい場合は、タイマー記録予約リストの中から「変更」「削除」ボタンを使って変更してください。
"ERROR(4xxx):***"が表示された。 "警告(xxxx):***"が表示された。	Webブラウザからの設定要求に対する動作処理が失敗しました。	再度メニューボタンから設定項目を選んで要求するか、URLを更新して、もう一度Webブラウザ操作を行なって下さい。
"本体エラー発生(E_xx):***"が表示された。	本体側のシステムエラーを検出しました。	本体側の動作状況を確認して下さい。
ファイル共有設定の中でブラウジング機能を有効にしても、ファイル一覧を参照できない。	VR-777とPCクライアントのネットワーク設定が正確に行われていません。	VR-777とPCクライアントの設定したIPアドレスを同じネットワークドメインにし、ワークグループも同じ名前にしてください。
ブラウザで期間検索を実行し、「次の15件」を押したら「データベースエラー」と表示された。	VR-777では、Webブラウザ経由の検索よりも、本体記録を最優先に実施します。	再度、検索を実行してください。

下記症状の場合、パソコンの認証をおこなってください。

- “ブラウジング機能” を有効にしているのに、エクスプローラで記録映像ファイルを参照できない。
- イベント映像の再生をおこなおうとすると、以下のメッセージが出て、再生できない。

指定したファイル【¥¥192.168.0.10¥normal_h2¥n1_030110_18023600.mpg】（例）を開くことができません。共有フォルダのアクセスユーザー権限がないか、または、このフォルダへ接続が最大数になっているためアクセスできません。

〈認証手順〉



以後、記録映像ファイルにアクセスし、再生をおこなったり、“ブラウジング機能” が有効な場合はエクスプローラで記録映像ファイルを表示させることができます。一度認証に成功すれば、ユーザー名、認証方法などを変更するまで有効です。

※ 上記の手順通りに操作しても記録映像ファイルにアクセスできない場合は、一旦使用パソコンの電源を切り、立ち上げ直してください。

※ 認証をおこなっても、上記のエラーメッセージが表示される場合は、ご使用のパソコンのOSを確認してください。（※73ページ）

解説 (つづき)

トラブル時の対応 (つづき)

■その他のメッセージ

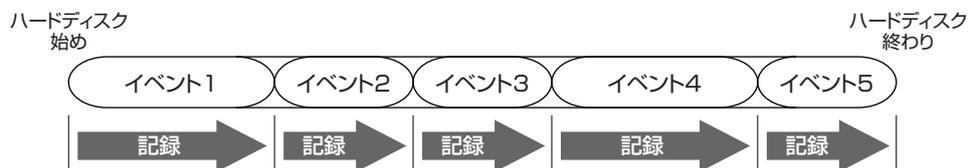
表示メッセージ	原因	対処
ご使用のPCに添付アプリケーションソフト「VR-777 Player」のインストールが行われていないか、「VR-777 Player」が起動しているため実行できません。	アプリケーションソフト「VR-777 Player」がインストールされていないか、VR-777 Playerと簡易ビューアの2重立ち上げです。	インストールされていない場合は、添付CD-ROMからインストールしてください。2重立ち上げの場合は、VR-777Playerを終了してください。
指定したファイル【****】を開くことができません。 共有フォルダのアクセスユーザー権限がないか、このフォルダへの接続が最大値になっているためアクセスできません。	VR-777が公開している共有フォルダを、他のユーザーがすでにアクセスしているか（最大1名まで）、共有フォルダの認証が行われていません。	認証をおこなってください。 (☞109ページ<認証手順>) また、アクセスユーザーが共有フォルダに対し、無活動の状態を1分以上続けると、接続可能となります。
記録映像ファイルの読出ができません。VR-777の共有フォルダが参照できるか確認してください。	VR-777本体側での記録映像ファイル再生中か、トラフィックにより記録映像ファイルの読出に不具合が発生しました。	VR-777本体側の再生を停止した後、ネットワーク経由で共有フォルダが参照できるか確認してください。参照できても接続できない場合は、Webブラウザを再起動させてください。
・サポートしていないファイル形式のため、オープンできません。 ・障害エラーが発生しました。 ・メモリー不足のため再生することができません。 ・例外処理が発生しました。	Active Xの内部エラーが発生しました。	ビューアウィンドウを再起動してください。

Webブラウザ用語解説

ドメイン名	ネットワークに接続されたパソコンの所属するネットワーク名。
ホスト名	ネットワーク上でのパソコン（またはVR-777）の名前。 ネットワークに接続されたパソコンの名前は、DNS（Domain Name System）と呼ばれるデータベースによって管理されます。DNSは各パソコンに割り当てられたIPアドレスと、ドメイン名を関連付け、ユーザがアクセスしたいパソコンを指定できるようにします。
IP アドレス	<p>ネットワークに接続されたパソコン1台ずつに割り振られた識別番号。 ネットワーク機器がお互いに通信するために使用します。 IP アドレスには、「グローバルIP アドレス」と「ローカルIP アドレス」（プライベートIP アドレス）があります。</p> <p>グローバルIP アドレス：ネットワーク上で別々のIP アドレスが必要であるように、インターネットを利用する世界中のすべてのパソコンがそれぞれ別々のIP アドレスを使用する必要があります。このIP アドレスがグローバルIP アドレスです。通常、プロバイダより割り当てられます。</p> <p>ローカルIP アドレス：インターネットに接続されていない環境（家庭内のみ、会社内のみ等）では、ネットワーク内で別々の自由なIP アドレスを使用することができます。このIP アドレスがローカルIP アドレスです。</p> <div style="text-align: center;"> <p>IPアドレス ホスト名 ドメイン名</p> <p>192.168.0.10 ↔ vr777 . jvc-victor.co.jp</p> <p>変換</p> </div> <p>パソコンに割り当てられたIPアドレスは、DNSサーバによってホスト名・ドメイン名に変換されます。</p>
DHCP (Dynamic Host Control Protocol)	ネットワーク上のIP アドレスを自動割り当てする方法のこと。 パソコンがネットワークに接続されると、DHCP サーバーがIP アドレスを自動割り当てします。
サブネットマスク	1つのネットワーク内で仮想的に複数のネットワーク（サブネット）に分けて管理するしくみ。 サブネットマスクは、IP アドレスのうち何ビットをサブネット識別に使用するのかを定義した32 ビットの数値の事です。
LAN (Local Area Network)	1つの建物や企業のオフィス内など比較的に狭い範囲で構築するネットワークのことです。
デフォルトゲートウェイ	コンピュータが属するネットワーク外のコンピュータと通信をする際に、互いに異なるプロトコルの翻訳作業を行うハードウェアとソフトウェアのことです。 Windows では、IPアドレスを設定するときにデフォルトゲートウェイのIPアドレス設定も必要です。
プロトコル	ネットワーク等を使ってパソコンや機器が通信を行うための取り決めのことです。
TCP/IP	Transmission Control Protocol/Internet Protocol の略で、ネットワークで使われるプロトコルの1つです。
ログイン	パソコンなどの端末を、オンラインデータベースやサーバに接続し利用を開始することです。
ピアツーピア	パソコン同士を対等(1対1)に接続する小規模ネットワークのことです。
ワークグループ	職場単位などの少台数のパソコンで、他のパソコンを参照しやすいように設定するグループのことです。Windowsパソコンでネットワークを共有する場合は、数百台ものパソコンがつながっていると管理しづらいため、ワークグループを設定し、管理する必要があります。
ブラウジング機能	ワークグループやドメイン内のコンピュータや、リソースの一覧を表示するサービスの事です。
NTP	ネットワークに接続されている機器の時刻を自動的に同期させるしくみです。 WindowsXP Windows 2000 には標準でNTPサーバーの機能が備わっています（ 99ページ ）。また、インターネット上のNTPサーバーを利用することも可能です。

記録のしくみ

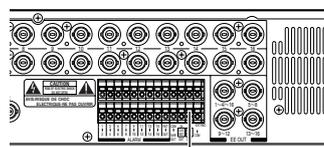
通常記録について



- 通常記録では、ハードディスクの始めから終わりまで順に記録していきます。
- ひとつの記録開始から停止までをイベントと呼びます。
- ハードディスクの終わりまで記録すると停止し、それ以上の記録はできなくなります。
- 上図の様に記録されたイベントの再生を行うと、各イベントが切り換わるさかい目で、再生（画像と音声）が一瞬とまります。

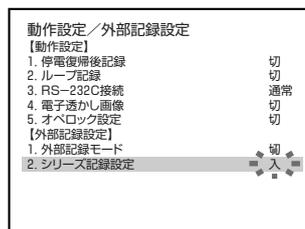
メモ

- ハードディスクの記録残容量が1%以下になると、背面の[SERIES REC OUT]端子から信号を出力します。(P.59 ページ)



[SERIES REC OUT]端子

- ※ [SERIES REC OUT]端子から信号を出力するときのメニューは次のように設定してください。

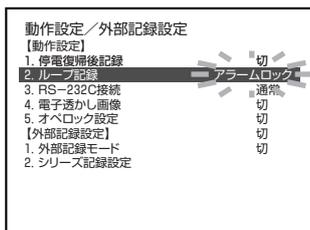


- 一度記録を停止すると、再び記録が再開できるまで数秒かかることがあります。

ループ記録について

ハードディスクの終わりまで記録し、記録残容量がなくなると、ハードディスクの始めに戻りオーバーライトをしていく動作をループ記録といいます。設定は20ページ「メニューの設定を変える」の操作で「動作設定／外部記録設定画面」を表示させ「ループ記録」項目で行います。

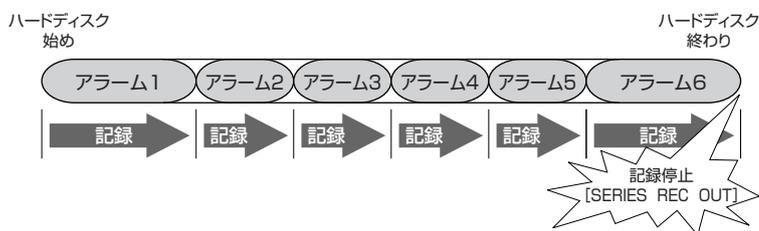
■ アラームロックを選んだとき



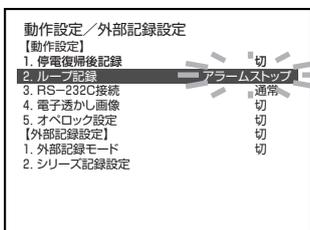
- アラーム記録データ以外の通常記録エリア(空き領域)でループ記録を行います。



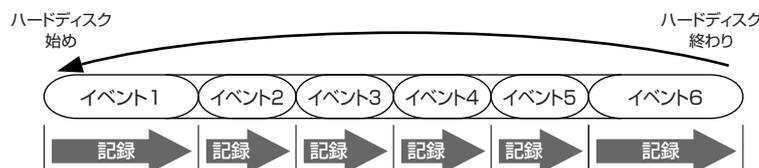
- アラーム記録が多くなり、通常記録エリアがなくなると停止します。



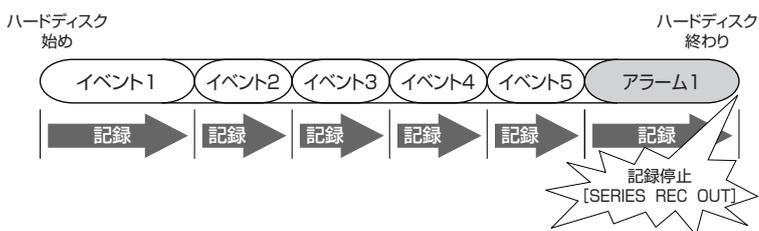
■ アラームストップを選んだとき



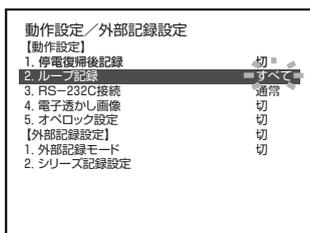
- アラーム記録がないときにループ記録を行います。



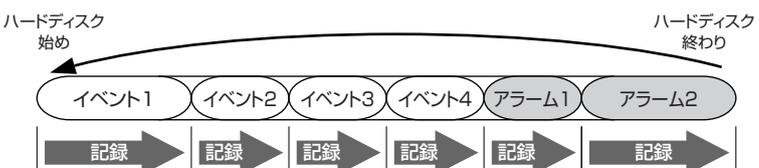
- アラーム記録が1つ以上あるときはループ記録をしません。



■ すべてを選んだとき



- アラーム記録／通常記録エリアに関係なくループ記録を行います。[停止]を押すまで、エンドレスに記録をつづけます。



ご注意

- 記録モデルのイラストはイメージ図です。実際の記録方式とは異なります。
- ループ記録は古いイベントからオーバーライトしていきます。オーバーライトされると、元の記録データは消去されます。

解説 (つづき)

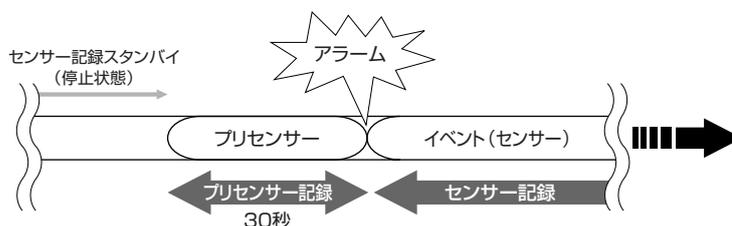
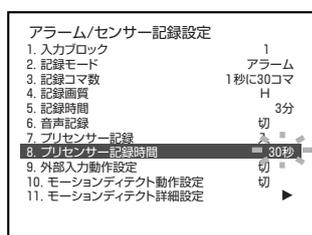
記録のしくみ (つづき)

プリセンサー記録について

プリセンサー記録は、センサー記録に連動し、アラームが入る前にさかのぼって自動記録する機能です。設定は20ページ「メニューの設定を変える」の操作で「アラーム／センサー記録」画面を表示させ「プリセンサー記録」項目、「プリセンサー記録時間」項目で行います。

<設定例>

センサー記録時に、30秒間のプリセンサー記録を行う。



- アラーム信号が入ると、同時にセンサー記録が始まります。センサー記録が始まると、30秒間のプリセンサー記録を自動で記録します。

<プリセンサー記録の設定値と実際の記録時間>

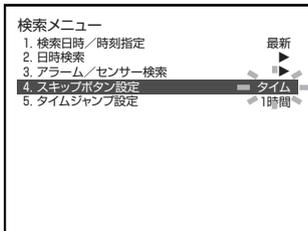
設定値	実際の記録時間
10秒	10秒～20秒
20秒	20秒～30秒
30秒	30秒～60秒

- プリセンサー記録とセンサー記録のあいだで、数フレームの抜けが発生します。
- プリセンサー記録部分は、アラーム／センサー検索で呼び出すことができません。
- アラーム信号の入カタイミングによって、プリセンサー記録部分が2つに分かれる場合があります。その場合、web上の検索では1つのセンサー記録に対して、プリセンサー記録が2つ存在することになります。また、2つのプリセンサー記録のつなぎめ部分で、映像が一瞬停止する場合があります。

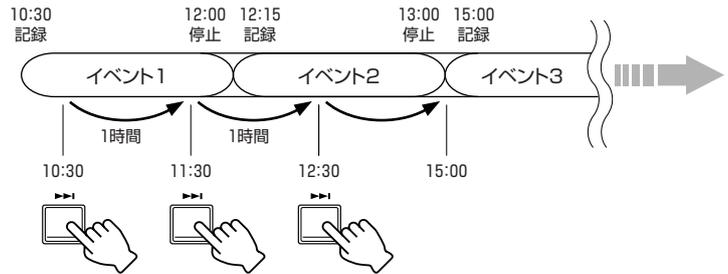
スキップジャンプについて

スキップジャンプは、検索メニューの設定でタイム、アラーム、イベントの3種類が選べます。設定は41ページ「記録映像をスキップして見る」の操作で「検索メニュー」画面を表示させ「スキップボタン設定」項目で行います。

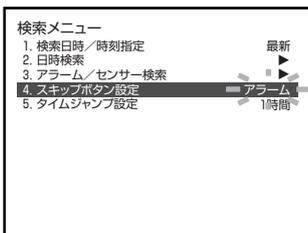
■ タイムを選んだとき



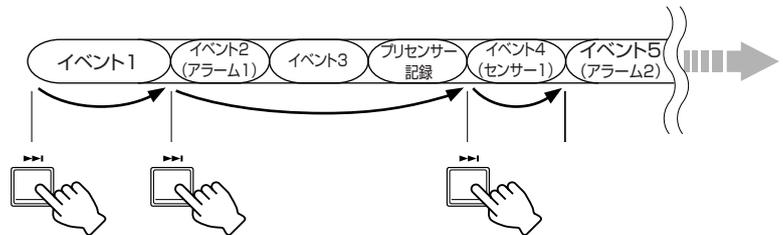
- タイムジャンプ設定を“1時間”にしたとき、[スキップ]を押すたびに”1時間”ずつジャンプします。ジャンプ先の時間が記録されていないときは、指定時間の一番近い位置へジャンプします。



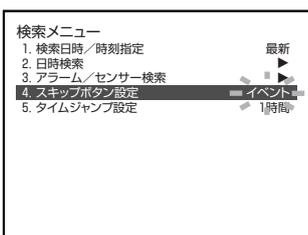
■ アラームを選んだとき



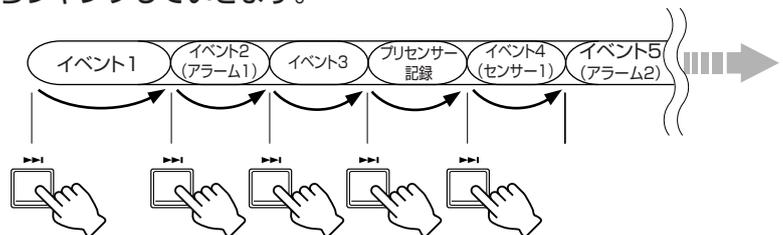
- [スキップ]を押すたびにアラーム記録か、センサー記録の始まりを探しながらジャンプしていきます。



■ イベントを選んだとき



- [スキップ]を押すたびに記録を始めた位置(イベントの先頭)を探しながらジャンプしていきます。



メモ

- イベント数が多いと、ジャンプするまでに、時間がかかる場合があります。

ご注意

- ハードディスク内に記録データがある状態で日付・時刻の変更を行うと記録日時の重複や逆転が発生する場合があります。その場合、再生動作やスキップ、ジャンプ、日時ダイレクトジャンプが正しく行われません。

解説 (つづき)

記録時間について

実際の記録時間は、入力映像の内容や、ハードディスクの条件により異なります。下表は、記録画質の各モードによる記録時間を知るための対応表で、細かい映像(パチンコ店内の映像など)を記録した一例です。細かい映像を記録する場合は、下表を参照してください。

条件：標準HDD構成時 (320 GB)、1ブロック4入力

画 質	音 声	各設定時の記録時間 (単位：時間)									
		1秒に30コマ	1秒に15コマ	1秒に10コマ	1秒に5コマ	1秒に3コマ	1秒に2コマ	1秒に1コマ	2秒に1コマ	5秒に1コマ	10秒に1コマ
HIGH	有	19	33	42	61	72	85	95	176		
	無	20	34	43	65	77	92	102	206	570	1146
NORMAL	有	25	42	51	69	90	106	258	427		
	無	26	43	53	73	98	116	326	651	1618	3188
BASIC	有	39	58	72	89	115	133	307	491		
	無	40	61	77	96	127	149	408	813	2013	3953
LONG	有	50	79	98	126	143	159	350	546		
	無	52	84	107	141	162	183	488	975	2400	4681

条件：標準HDD構成時 (320GB)、1ブロック1入力

画 質	音 声	各設定時の記録時間 (単位：時間)									
		1秒に30コマ	1秒に15コマ	1秒に10コマ	1秒に5コマ	1秒に3コマ	1秒に2コマ	1秒に1コマ	2秒に1コマ	5秒に1コマ	10秒に1コマ
HIGH	有	19	35	48	64	76	88	105	195		
	無	20	36	50	68	81	95	114	232	582	1170
NORMAL	有	25	48	60	97	107	134	410	616		
	無	26	49	64	105	118	151	612	1221	3015	5905
BASIC	有	38	67	91	152	188	222	492	704		
	無	39	71	98	173	222	271	815	1625	3997	7784
LONG	有	50	93	121	220	224	277	547	758		
	無	52	101	135	268	273	357	979	1946	4780	9275

- * ハードディスクの状態および映像により、記録時間が10%程度短くなります。
- * ループ記録が設定されているときに、ハードディスクの記録残量がなくなると、記録容量を確保するため古い記録から順次消去されます。そのため、ループ記録が「切」のときに比べて記録時間はさらに、10%程度少なくなることがあります。
- * ハードディスクの継年変化により、記録時間が短くなることがあります。
- * ハードディスク増設時は、増設した容量に比例して記録時間が伸びます。
- * ミラーリング設定時は、約半分の記録時間になります。(標準HDD構成時)

RS-232C接続について

VR-777 背面の [RS-232C] リモート端子に、VR-777 本体と外部機器を接続することによって、VR-777 の外部制御ができるようになります。

詳しい説明は、VR-777 添付の CD-ROM (VR-777 PLAYER) 「RS-232C MANUAL」 中の 「RS-232C MANUAL.PDF」 をご覧ください。

その他

保証とアフターサービスについて

1. 保証書の記載内容ご確認と保存について

この商品には保証書を別途添付しております。保証書はお買い上げ販売店でお渡ししますので所定事項の記入および記載内容をご確認いただき、大切に保管してください。

2. 保証期間について

保証期間は、お買い上げ日より1年間です。保証書の記載内容により、お買い上げ販売店が修理いたします。その他詳細は保証書をご覧ください。

3. 保証期間経過後の修理について

保証期間経過後の修理については、お買い上げ販売店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合はお客様のご要望により有料にて修理いたします。

4. アフターサービスについてのお問い合わせ先

アフターサービスについてのご不明な点はお買い上げ販売店、または別紙サービス窓口案内をご覧くださいのうえ、最寄のサービス窓口にご相談ください。

● 修理を依頼されるときは

お買い上げ販売店に次のことをお知らせください。

- ハードディスクレコーダー
VR-777DX
- お名前とおところ
- 電話番号
- 故障症状(詳しく)

5. 廃棄について

この商品を廃棄する場合は、法令や地域の条例にしたがって適切に処理してください。

その他 (つづき)

仕様

<一般>

画像圧縮	: MPEG-2 (準拠)
記録容量	: 160 GB × 2
インターフェース	: Ultra Wide SCSI RS-232C UPS LAN
電源	: AC 100 V 50 Hz/60 Hz
消費電力	: 90 W
許容動作温度範囲	: 5 °C~40 °C
許容保存温度範囲	: -20 °C~60 °C
許容動作湿度範囲	: 30 %~80 %
質量	: 約7.0 kg

<映像信号系>

映像入力	: 16系統 (非同期入力対応)
映像出力	: スルー16系統 ビデオ出力×3系統 (前面×1、背面×2) 分割EE出力4系統
ライン入力	: 1.0 V (p-p)、75 Ω (BNC不平衡)
ライン出力	: 1.0 V (p-p)、75 Ω (BNC不平衡)
有効画素数	: 720×480 (フル画面記録時最大) : 360×240 (4分割画面記録時)

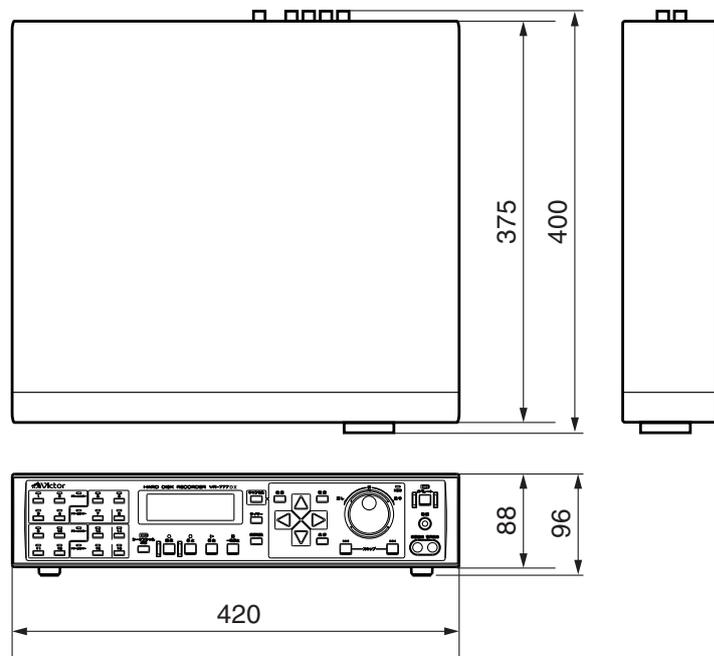
<音声信号系>

音声入力	: 1系統
音声出力	: 3系統 (前面×1、背面×2)
ライン入力レベル	: -8 dBs、50 kΩ (不平衡)
ライン出力レベル	: -8 dBs、1 kΩ (不平衡)
周波数特性	: 100 Hz ~ 10 kHz
音声圧縮方式	: 48 kHz サンプリング、 MPEG1 レイヤ2準拠

<付属品>

取扱説明書	× 1
インストールマニュアル	× 1
保証書	× 1
安全上のご注意	× 1
ビクターサービス窓口	× 1
電源コード	× 1
ラックマウント金具	× 2
ネジ(M4)	× 4
ネジ(M5)	× 4
CD-ROM	× 1

<外観図>



[単位 : mm]

※本機の仕様および外観は、改善のため予告なく変更することがあります。

お客様ご相談センター

フリーダイヤル



0120-2828-17

携帯電話・PHS・FAXなどからのご利用は

電話 **(03)5684-9311** [代表]

FAX **(03)5684-9317**

〒113-0033 東京都文京区本郷3丁目14-7 ビクター本郷ビル

日本ビクター株式会社

プロシステムカンパニー

〒192-8620 東京都八王子市石川町2969-2

電話(0426)60-7203